

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
岸和田市	子育て支援促進事業	R6・R7	民間教育・保育施設において、教育・保育を通じて蓄積された子どもの育ちや子育てに関する豊富な知識・ノウハウを生かし、地域の子育て家庭に対し必要な相談・指導・助言等を行い、子育て家庭が抱える子育ての不安の解消や負担の軽減を図ることにより、地域における子育て支援を充実する。地域の住宅で子育てを行う家庭を支援し、地域全体の子育て力の向上を図るための取組みを支援する。また、創意工夫が発揮された教育・保育の質の向上につながる特色ある取組みを支援する。	市内の認可民間保育施設で子育て支援の実施ができたため。	地域によって、子育て支援の格差が生じないように、財政状況を考慮しながら今後も継続して本事業を行っていく。	【令和6年度】 44,565,000円 【令和7年度】 42,016,000円
岸和田市	1歳児配置改善加配補助事業	R6	公定価格基準分により措置される保育士配置数及び「3歳児配置改善加算」等により措置される保育士配置数を満たし、更に保育士を加配することにより、1歳児対応保育士数が1:5以上の配置を行うことで保育の質の向上を図るもの。	市内の多くの民間保育施設において、1歳児保育の手厚い職員配置ができたため。	手厚い職員配置が可能となり、質の高い教育・保育の総合的な提供が可能となった。待機児童が集中している1歳児の受け皿を拡大し、待機児童の解消及び保育の質の向上につながった。	【令和6年度】 40,450,000円
岸和田市	アレルギー対応・食育推進事業	R7	民間教育・保育施設において、公定価格基本部分で措置される調理員配置基準を満たしており、更に非常勤の調理員を配置している施設に対して非常勤調理員の人件費を補助する。公定価格上の配置基準を超えて調理員を配置することにより、児童が安心・安全な給食を喫食し、質の高い食育を受けることができる環境を確保する取組みを支援する。	実施を希望する園に対し、補助を行うことにより、児童が安心・安全な給食を喫食し、質の高い食育を受けることができる環境を確保する取組みを支援することができた。	未実施の園に対し、利用の拡大を図っていく。	【令和7年度】 24,984,000円
岸和田市	ブックスタート事業	R6・R7	岸和田市に生まれたすべての赤ちゃんへ「絵本」と「読みきかせ読書手帳」を配布するブックスタート事業を行っている。5冊の絵本の中から好きな本を一冊選んでもらい、それとあわせて、「読みきかせ読書手帳」と「子育ての関連誌」を同封したものを「ブックスタートセット」として、4か月健診の乳児を対象に保健センターで配布している。	赤ちゃんとその保護者に絵本を配布するだけでなく、幼い頃からの読書習慣を身に付けていくことの大切さを伝えた。	4か月児健康診査で配布した絵本をきっかけにし、今後どのように読書推進に繋げていくかが課題である。	【令和6年度】 1,028,500円 【令和7年度】 1,041,700円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
池田市	子育て情報発信事業	R6・R7	子育て応援WEBサイト「kodomotoいけだ」において、池田市に限定した子育てに関するローカルな情報を市民目線で効果的に情報発信し、SNS等での交流の場を設けることで、子育ての悩みや不安の解消につなげる。 また、令和7年度からは、市HPに子育て情報特設サイトを設け、子育て情報サイト・パンフレット、kodomotoいけだを活用し一元的な子育て情報の発信を行っていく。	ウェブサイト・SNS・パンフレット等様々な媒体の活用により、情報を必要としている保護者へ発信することができた。	今後も各媒体での情報発信の連携をさらに強化し、ニーズに即した情報発信に努める。	【令和6年度】 2,380,800円 【令和7年度】 1,914,440円
池田市	こども食堂開設支援事業	R6	市内のこども食堂を開設する団体に対し、こども食堂の開設及び運営に要する費用の一部を補助することにより、子どもの居場所づくりの推進を図ることを目的とする。	新規開設及び既存団体に、こども食堂の開設及び運営に関する費用の一部を補助することにより、継続的な子どもの居場所づくりの推進を図ることができた。	引き続き、「こども食堂」の開設・運営を支援し、子どもの居場所づくりの促進を図っていく。	【令和6年度】 1,354,759円
池田市	池田市子育て一時預かり利用券給付事業	R6	保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児の疲れをリフレッシュすることで育児に前向きに取り組めるように、池田市子育て一時預かり利用券を配布し、家庭で子育てしている世帯への子育て支援の充実を図ることを目的とする事業。	保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児の疲れをリフレッシュすることで育児に前向きに取り組めるよう支援した。	池田市出産・子育て応援交付金給付事業の創設に伴い、本事業は令和4年度末をもって終了。前出の交付金の支給対象外となる令和6年度に満3歳を迎える児童がいる世帯については経過措置として配布を継続していたが、令和6年度をもって経過措置も終了。	【令和6年度】 307,000円
池田市	親子ふれあいDAY助成事業	R6・R7	親子や地域とのふれあい等の推進を図るため、毎週土曜日に本市在住者が小学生以下の子どもと同伴で公衆浴場(市内4か所)に入浴する場合、当該2人の入浴料金の合計額から割引を実施する事業。	親子や地域とのふれあい等の推進を図った。	入浴料の割引制度を実施することで、親子や地域とのふれあい等を推進を図ることができた。今後も継続していく。	【令和6年度】 618,820円 【令和7年度】 613,780円
池田市	子育て支援活動推進補助金	R6・R7	市内で子育て支援活動を行う団体(育児サークルなど)に対し、当該活動に要する費用の一部を補助(年間上限額:10,000円)することにより、地域における子育て支援活動を推進し、児童及び保護者の心身の健全育成及び地域で子どもを育む風土醸成の実現を図るもの。	子育て自主サークルの育成と活動の支援を行うことにより、子育て中の保護者同士が情報交換や地域の仲間づくりを行うことができるよう支援した。	保護者が参加しやすい環境作り、地域子育て支援拠点において子育て支援サークルの周知に努める。	【令和6年度】 10,000円 【令和7年度】 10,000円
池田市	特別支援保育加配事業	R6・R7	障がい児に対する適切な保育を行うことで障がい児の福祉の増進を図るため、池田市特別支援保育実施要綱に基づき、特別支援保育を実施する民間保育所等に対し、補助を行う。	加配職員を配置することにより、特別支援保育を必要とする児童に対し、保育を実施することができた。	保育ニーズの高まりと併せて障がい児保育のニーズも高まっており、今後も障がい児一人一人の発育状況に応じた保育の実施のため、本事業の継続に努める。	【令和6年度】 68,366,060円 【令和7年度】 68,948,733円
池田市	私立保育所に対する基本助成事業	R6・R7	私立保育所等に対して、児童福祉の増進及び児童の健全な育成を図ることを目的として、受入児童数に応じて助成金を交付する。	物価高騰の状況において、施設運営の下支えとなった。	各施設の安定的な運営のため、今後も本事業の継続に努める。	【令和6年度】 84,441,000円 【令和7年度】 152,754,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
池田市	児童虐待発生予防事業 (ノーバディズパーフェクト・プログラム)	R6・R7	親支援プログラムを通して、親が子育て仲間を作り、自身の子育てを振り返る機会を持つことで育児負担の軽減及び本来持っている力を発揮し、前向きに子育てができるようにサポートすることで、児童虐待発生予防に努める。	【令和6年度】1クール6回 【令和7年度】1クール6回	親が本来持っている力を発揮し、前向きに子育てができる子育て力の向上につながった。また、プログラム終了後も参加者同士が支え合って子育てができる仲間づくりができた。	【令和6年度】 105,000円 【令和7年度】 125,000円
池田市	2歳6か月児歯科健康診査事業	R6・R7	1歳6か月児健診から3歳6か月児健診まで2年間の空白期間が存在し、その間に3歳児のう蝕有病率が高まる傾向がある。乳歯列の完成期でもある2歳6か月児において月に1回、歯科検診・歯科相談・ブラッシング指導及びフッ化物塗布の実施によりう蝕予防に努め、噛むことの大切さなど歯や口腔の健康の基礎を築く。	【令和6年度】受診率66.6%、う蝕罹患率1.2% 【令和7年度】受診率55.5%、う蝕罹患率1.3%	受診率の向上が課題。歯やお口の健康チェック・個々に応じたう蝕予防のアドバイス及びフッ化物塗布を実施し引き続き、う蝕罹患率の低下に努める。	【令和6年度】 2,953,000円 【令和7年度】 2,892,000円
池田市	3歳6か月児健康診査事業	R6・R7	幼児期の節目である3歳児を対象に年18回、問診、身体計測、歯科診察、小児科診察、心理相談、保健指導等を実施。視力検査機器も導入し屈折異常等の早期発見に努め、歯科診察時にう蝕活動性試験を追加し、子どもの口腔環境に保護者が関心を持ち、う蝕を予防する意識の向上につながる口腔管理指導に努める。	【令和6年度】受診率98.7%、う蝕罹患率6.4%、眼科精検票216枚発行 【令和7年度】受診率98.1%、う蝕罹患率5.7%、眼科精検票152枚発行	視力検査機器導入により検査時間が短縮され見落としも減少。屈折異常等の早期発見に努め、早期治療に繋がるよう受診勧奨を促す。う蝕活動試験実施によりう蝕リスクを認識し予防意識の向上に努める。	【令和6年度】 2,037,085円 【令和7年度】 488,327円
池田市	児童虐待発生予防事業(オレンジリボン運動)	R7	オレンジリボン運動を中心に広く市民に啓発活動を行い、児童虐待の発生予防に努める事業である。関係機関に向けたオレンジリボン、虐待防止を啓発するリーフレットの配布、ポスターの掲示等を通じて、虐待防止についての市民の関心を高めている。	啓発物品を庁内全89課、市内学校園全57校に配布	市民の虐待防止についての関心を高め、身近な課題の1つとして虐待発生予防への意識を高めることができた。	【令和7年度】 26,400円
池田市	児童虐待発生予防事業(親子の絆づくりプログラム)	R6・R7	生後2～5か月の子を持つ初めて子育てをしている母親を対象に、プログラムを通じて子育て仲間を作り、育児負担の軽減を図る中で、虐待発生予防に努める。	【令和6年度】9クール36回(77組) 【令和7年度】9クール36回(105組)	第一子の子育てスタート時期に子育て仲間を作ること、保護者の育児負担が軽減されるとともに、子育て環境を整え、子育てを支える効果が得られた。	【令和6年度】 566,954円 【令和7年度】 587,499円
池田市	成人歯科検診(妊婦歯科検診)事業	R6・R7	成人期の歯の保有や歯の喪失予防のため、医療機関による個別方式で通年実施。対象は18～74歳と75歳以上の生活保護世帯と妊婦。ホルモンバランスにより口腔環境がくずれやすい妊婦において歯科疾患による早産、低体重児などリスクを回避するため口腔内診査、歯周組織検査、口腔保健指導を実施する。	【令和6年度】成人歯科検診受診者401人中、妊婦は202人 【令和7年度】成人歯科検診受診者401人中、妊婦は209人	母子健康手帳発行時に無料受診券配布及び受診勧奨することが受診者数維持に繋がった。歯科疾患による早産、低体重児などのリスクを回避するため検診受診を勧奨し受診率向上に努める。	【令和6年度】 1,484,670円 【令和7年度】 1,552,870円
池田市	不育症治療助成事業	R6・R7	不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るために保険適用外の治療費用の一部を助成。1治療期間につき、助成対象費用の2分の1の額を30万円を上限に、1夫婦に対し、3回まで助成。	【令和6年度】2件申請:2件決定 【令和7年度】5件申請:5件決定	不育症の治療を受けている夫婦に対し治療費用の一部を助成することで経済的負担の軽減に効果的であった。引き続き市民及び医療機関への広報に努め、必要者全てに周知する必要性があると考える。	【令和6年度】 170,000円 【令和7年度】 357,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
池田市	食育推進事業 プレママ&プレパパのための食育講座	R6・R7	妊娠期の食事について管理栄養士より講話を実施。また、実際の試食やすりつぶしなどの離乳食づくりの実技を通し、バランスの取れた食生活や離乳食についての知識を深める。	【令和6年度】実施回数:3回、延べ参加者数:39人 【令和7年度】実施回数:4回 延べ参加者数:36人	実食や実技については体験型であり、参加者の知識・技術定着には効果的である。参加者が目標値に到達しなかった点については、引き続き事業周知、参加勧奨に努める予定。	【令和6年度】 118,450円 【令和7年度】 175,020円
池田市	こども食堂支援事業	R7	市内のこども食堂を開設する団体に対し、こども食堂の開設及び運営に要する費用の一部を補助することにより、子どもの居場所づくりの推進を図ることを目的とする。	新規開設及び既存団体に、こども食堂の開設及び運営に関する費用の一部を補助することにより、継続的な子どもの居場所づくりの推進を図ることができた。	引き続き、「こども食堂」の開設・運営を支援し、子どもの居場所づくりの促進を図っていく。	【令和7年度】 2,450,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
泉大津市	民間認定こども園 子育て支援保育士事業	R6・R7	保育・教育を通じて蓄積された豊富な知識・ノウハウを生かし、民間認定こども園等において、地域の子育て家庭に対する支援(施設内外で)を定期的に行う。	園庭開放や行事体験など、保育士との関わりで子ども同士及び保護者間の交流を深めることができた。また、子育ての悩みや不安を話す場を提供することができた。	今後も継続的に実施する必要がある。	【令和6年度】 10,940,000円 【令和7年度】 10,940,000円
泉大津市	こどもの居場所づくり事業	R6・R7	家庭的、経済的に様々な事情を抱えた子ども達が、自己肯定感を高め、将来に希望が持てるようにする為、食事や学習支援、団らんの場の提供による地域での居場所をつくる事業	市も積極的にこどもの居場所づくりの活動を支援したことによって目標数値を達成することができた。	一部に残る未設置区域の解消と活動の継続性を課題と捉え、今後も引続き市内全ての小学校区での活動を目指すとともに、安定的な運営についても支援を行う。	【令和6年度】 2,881,710円 【令和7年度】 2,553,988円
泉大津市	泉大津市子育てサークル活動支援補助金交付事業	R6・R7	子育てサークルは乳幼児とその保護者が定期的に集まり、親子で自由に遊んだり、子育ての情報交換や悩みを相談しあうなど、子育て中の親子が孤立しないよう地域で活動しているグループのことで、地域で気軽に集える場として重要な役割を有しており、子育てサークルが円滑に活動することができるよう支援を行う。	子育てサークルに対する補助金を活用することで、場所の確保が容易となるなどサークル活動の支援を行うことができた。	補助金の活用により拠点の確保等は進んだが、目標値に達しなかったため今後も引続き事業の周知を行い、地域で子育てサークルが円滑に活動することができるように支援を行う。	【令和6年度】 63,835円 【令和7年度】 50,670円
泉大津市	マタニティ応援プロジェクト	R6・R7	妊婦に対し、妊娠届の翌月から出産予定月までの間、栄養価の高い米を毎月10kgを自宅に配送する。(令和5年度実証実験として実施。令和6年度から予算化。)	米価の値上がりが懸念される昨今において、妊婦に栄養価のある米を配送する事業は大変好評で、出生乳児の体重増加も示唆した。	米が高騰し、安定供給も不安視される中で、米をどう確保していくかについて委託業者とも対策を講じていく必要がある	【令和6年度】 14,960,395円 【令和7年度】 33,698,620円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
貝塚市	子育て支援保育士事業	R6・R7	保育所等の児童福祉施設が、子育て不安を解消し、負担を軽減するため、地域の在宅子育て世帯を対象に、子育て相談・指導、定期的な印刷物の発行やホームページ作成を通して、子育て情報の発信、その他子育て支援事業を行い、その経費を、1施設あたり100万円を限度額で補助する。対象施設は15施設。	全ての対象施設において子育て世帯への積極的な情報提供や子育て相談・指導を行うことにより、保護者の子育てに対する不安を取り除き、孤立化を防いだ。	14施設において実施。各施設で地域の特色に合わせた取り組みを行うことで地域の子育て世帯の不安解消に寄与することができた。今後も多様化するニーズに応えるためにも、より幅広く地域のニーズを汲み取った事業を実施する。	【令和6年度】 14施設 13,070,000円 【令和7年度】 14施設 13,143,000円
貝塚市	ブックスタート事業	R6・R7	乳児家庭全戸訪問事業で乳児家庭訪問時に、子育てマップとともに赤ちゃん絵本を手渡すことで、子どもの健やかな成長を促し、子育て家庭と地域を結びつける働きをする。	訪問時に対象乳児すべてに冊子を配布した。	訪問時に保護者とスムーズな交流が図れたとともに、ブックスタートの大切さを早い時期に保護者に伝えることができるなどの成果がある。	【令和6年度】 302,500円 【令和7年度】 210,375円
貝塚市	子育て情報誌作成事業	R6・R7	子育て支援課、公民館、子育て支援センター等、市内で実施される子育て支援情報を記載した情報誌を作成する。発行部数8, 000。	子育て支援情報誌を年4回発行し市内で配布した。	8,000部を配布することにより情報発信に一定の効果が得られたと評価できる。市内で配布することにより地域全体の子育て機能の向上を図り、子育て世帯と地域を結びつけた。今後は、子育て世代向けウェブアプリ内に子育て情報誌を掲載し、子育て世帯に広く閲覧していただけるように宣伝していく。	【令和6年度】 380,000円 【令和7年度】 449,600円
貝塚市	「“ほん”のひととき わたしタイム」事業	R6・R7	子育て中の親子に絵本の読み聞かせや本の紹介を行うとともに、保育も行い保護者がゆっくり本を選べる時間を設ける。 本事業を実施することにより、子育てにより遠ざかりがちな保護者の読書のきっかけとし、絵本を媒介とした親子の時間の共有や読書環境の整備につなげる。また、乳幼児を持つ親子の交流の場を提供する。	【令和6年度】年間開催回数4回、参加親子数9組 【令和7年度】年間開催回数3回、参加親子数5組	参加者からは、「子ども連れだと本が探せないので助かった」、「普段読まない本に出会えた」などの感想があり、読書の幅の広がりや図書館利用のきっかけにもなっていることに加え、なかなか自分のための時間をとれない保護者にとって、小さなストレス発散の場にもなっている。今後も継続して取り組みたい。	【令和6年度】 40,000円 【令和7年度】 30,000円
貝塚市	英語指導助手(NET)配置事業	R6・R7	小中学校に英語指導助手を派遣し、小学校外国語科や外国語活動、中学校英語科の授業において、児童・生徒の実践的なコミュニケーション力の素地、基礎、資質を育成するとともに、外国語学習に対しての動機付けや国際理解についての力を養う。	【令和6年度】 NET派遣回数 (小学校702.5回、中学校435.5回) 【令和7年度】 (小学校735回、中学校436回)	NETに関する教職員対象アンケート「児童生徒は授業中に講師とのコミュニケーションを積極的にとろうとしているか」という質問に対する肯定的評価が令和6年度は全体で86. 5%、令和7年度は、95. 83%と高い数値となっている。この結果から、NETを配置することにより、英語で目的や場面、状況に応じた会話をする機会が増え、コミュニケーション能力の向上に大きく寄与している。	【令和6年度】 17,773,250円 【令和7年度】 18,595,500円
貝塚市	難聴児に対する補聴器交付事業	R6・R7	軽度難聴児(30～60dB)の言語及び生活適応訓練を促進し、障害を抱える子どもの健やかな発達を支援するため、補聴器の交付及び修理・交換に要する費用の一部を助成する。	これまで補聴器利用に至らなかった難聴児に対し、補聴器を交付することで、言語及び生活適応訓練を促進し、障害を抱える子どもの健やかな発達支援につながった。	今後も事業継続が必要である。	【令和6年度】 74,948円 【令和7年度】 99,536円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
貝塚市	子ども食堂支援補助金交付事業	R6	食事の提供などを通じて、子どもや保護者の居場所作りを行い、地域ぐるみで子どもを守る環境を推進するため、貝塚市内で運営されている子ども食堂に対して、1か所あたり、年額20,000円の補助金を交付する。	事業実施により子ども食堂の開設数は増加した。	補助金の額も含めた子ども食堂への支援の在り方について、運営者の意見も踏まえながら検討していく必要がある。	【令和6年度】 260,000円
貝塚市	子どもの入院時食事療養費の助成事業	R6・R7	貝塚市に居住する18歳到達の年度末までの児童の健全な育成に寄与することを目的とし、入院時食事療養費を助成する。制度開始時は、就学前児童に対して助成していたが、平成23年度以降、順次対象児童の年齢を引き上げ、令和3年度時点で18歳到達の年度末までに拡大した。	小学生以上18歳到達の年度末までの児童の入院時食事療養費を助成することで、児童の健全な育成に寄与することができた。	今後も引き続き、児童に係る入院時食事療養費を助成することで、児童の健全な育成に寄与していく。	【令和6年度】 2,161,790円 【令和7年度】 1,954,540円
貝塚市	新生児聴覚検査事業	R6	妊娠届出時、妊婦に対して新生児聴覚検査受験票を発行。受験票を提出することで、市の一部補助のもと、委託医院において聴覚検査を受診することができる。聴覚検査に係る経済的負担の軽減を図り、もって新生児の聴覚障がい早期発見と早期支援につなげる。	経済的な負担が軽減することで、積極的に検査を受診することができた。	受験票を利用し、多くの出生児が新生児聴覚検査を受診する機会ができた。難聴等の聴覚障害の早期発見のためにも、今後も検査の必要性を説明し対象者が受検できるように務める。	【令和6年度】 1,667,000円
貝塚市	不育症治療費助成制度	R6・R7	子どもを持つことが困難な夫婦に対し、不育症治療に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、もって少子化対策に資する。	不育症治療に要する費用の一部を助成することで、経済的負担を軽減することを目指していたが、令和6年度の利用者は1名、令和7年度は申請がなかった。	対象となる市民に対し周知できるよう、ホームページ等で広報していく。	【令和6年度】 50,000円 【令和7年度】 0円
貝塚市	子育て支援サービス利用券（子育て応援券）給付事業	R6・R7	子育て応援券を利用したサービスにより、保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児の疲れをリフレッシュし育児に前向きに取り組めるようにし、子育て支援の充実を図る。毎年4/1現在満1歳と満2歳の乳幼児に対して、1枚500円分の子育て応援券を、保育サービスの有無により10～20枚配布。利用できるサービスは、一時預かり事業、病児病後児保育事業、任意の予防接種、ファミリーサポートセンター事業、家事援助、子育て講座、その他サービス。	対象者に子育て応援券を配布することによって、保護者の負担を軽減した。	広報や妊産婦全戸訪問相談事業での周知により認知度は上がったと思われる。結果として利用率は、増加した。今後、利用が進むよう新たなサービスの追加等充実を図る。	【令和6年度】 2,235,915円 【令和7年度】 2,011,065円
貝塚市	妊婦歯科健康診査事業	R6・R7	妊娠届出時、妊婦に対して妊婦歯科健康診査無料受診券を発行。受診券を提出することで、委託歯科医院において無料で歯科健康診査を受診することができる。妊娠中の歯周疾患を早期に発見し、適切な歯のセルフケアを身につけられるよう支援することにより、妊娠中に悪化しやすい歯周疾患や歯を予防する。	無料受診券を配布し、妊娠中の歯科健診の受診を促すことで、妊婦の歯の健康について啓発することができた。受診者数は令和6年度が90人、令和7年度が71人であった。	受診をさらに促すため、配布時だけでなく、妊娠中の訪問時にも歯科健診の必要性について説明していく。	【令和6年度】 367,290円 【令和7年度】 294,437円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
守口市	認定こども園等給食費補助事業	R6・R7	本市民で特定教育・保育施設に在籍する1号認定子ども及び2号認定子ども並びに子ども・子育て支援新制度に移行していない未移行幼稚園に在籍する児童の副食費相当額について支援を行い、子育て世帯の経済負担の軽減を目的とする。 一部、「子ども・子育て支援交付金」にて申請しているため、本事業の対象者からは、子ども・子育て支援交付金の対象である「低所得で生計が困難である者等のこども」を除いている。	本市民で認定こども園、保育所及び幼稚園を利用する1号認定子ども及び2号認定子どもの保護者の経済的負担を緩和することができた。	令和8年度についても、引き続き同様の支援を行う。	【令和6年度】 118,812,573円 【令和7年度】 121,199,109円
守口市	待機児童受入促進事業	R6・R7	0歳から2歳児までの子どもについて、定員以上の受入れを行っている私立認定こども園、保育所に対して補助を行うことで、本市における待機児童の解消に向けた就学前児童の受入れを促進する。	当該補助事業を実施することで、目標数値には及ばなかったものの多くの受入れを行ってもらうことができ、受入れ促進に大きく寄与することができた。	次年度において待機児童数(厚生労働省定義)ゼロを達成するため、当該事業については継続して実施していく。	【令和6年度】 7,491,000円 【令和7年度】 7,315,000円
守口市	保育人材育成研修参加支援事業	R6・R7	本市における教育・保育の質の維持・向上を図るため、私立認定こども園、保育所、小規模保育事業者等に勤務する保育教諭等が本市主催の「守口市教育・保育合同研修」を受講した場合に、施設に対して補助を行う。	補助対象となる施設の事情等により当初見込んでいた出席者数の出席がかなわず、目標の数値には及ばなかった。	当該研修については、本市の保育教諭等の教育・保育の質の向上に大きく寄与するものであることから、今後もより多くの保育教諭等が研修を受講しやすい環境の構築を行っていく。	【令和6年度】 1,202,000円 【令和7年度】 1,446,000円
守口市	保育士確保就職フェア開催支援事業	R6・R7	待機児童解消に大きく関わる保育教諭等の確保は喫緊の課題であり、本市にある施設の保育教諭等の確保に係る取り組みを支援するため、私立認定こども園及び保育所が、自園の保育教諭等の確保を目的に就職フェア等を開催若しくは参加する場合に、その経費の一部を補助する。	目標数値を達成することができなかったが、それに近い数の施設に対して就職フェア等への参加を促すことが出来た。	次年度においては、目標数値を達成できるよう、当該事業については継続して実施していく。	【令和6年度】 1,272,000円 【令和7年度】 1,265,000円
守口市	保育環境充実事業	R6・R7	【令和6年度】 待機児童解消に向けた保育の受け皿を拡大するため、軽微な施設整備を実施し、就学前児童の受入れを行おうとする施設に対し、その費用の一部を補助する。 また、認定こども園、保育所における保育環境を整備するため、保育内容の充実に要する費用の一部を補助することで、本市における子どもを安心して育てることができる環境の充実を図る。 【令和7年度】 待機児童解消に向けた保育の受け皿を拡大するため、私立認定こども園・保育所を対象に軽微な施設整備を実施し、就学前児童の受入れを行おうとする施設に対し、その費用の一部を補助することで、本市における子どもを安心して育てることができる環境の充実を図る。 (国や大阪府の施設整備補助金の対象とならない小規模な工事に要した費用に対するもの)	【令和6年度】 保育の質の確保に係る補助については、対象の全27施設が活用し、本市として保育内容の充実に努めることができた。 【令和7年度】 補助対象となる施設から当初見込んでいた交付申請がなく、目標の数値には及ばなかった。	次年度においては、市内教育・保育施設の保育環境の充実に努めるため、受け皿拡大について継続して実施していく。	【令和6年度】 12,948,000円 【令和7年度】 0円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
守口市	「3歳の壁」対策事業	R6・R7	地域型保育事業の連携先として卒園後の受入れを行う認定こども園、保育所に対して補助を行うことで、地域型保育事業における連携施設の確保を促進し、地域型保育事業を利用する児童の認定こども園等への円滑な接続を図る。	目標数値には至らなかったものの、地域型保育事業から認定こども園、保育所への円滑な接続ができていた。	しかしながら、現在においても、すべての地域型保育事業が連携枠を確保している状況には至っておらず、すべての施設が連携枠を確保できるよう市として継続して支援を行っていく必要がある。	【令和6年度】 14,690,000円 【令和7年度】 17,030,000円
守口市	守口市不妊検査・治療費助成金事業	R6・R7	不妊治療を開始する時期はさまざまであるが、一般的に高年齢での妊娠、出産はリスクが高まり、出産に至る確率も低いことが医学的に明らかとされている。こうしたことから、不妊に悩む夫婦を対象に適切な不妊治療の早期開始を促すため、経済的な支援を実施する。	2か年とも目標数値(申請件数)を上回る結果となった。 【令和6年度】 目標:120件 実績:134件 【令和7年度】 目標:120件 実績:160件	引き続き、子どもが欲しいと望んでいる夫婦に対して、適切な不妊検査、治療の受診を促すため、経済的支援を実施する。 また、申請方法を従来の紙申請に加え、オンライン申請を導入し、申請手続きの利便性向上を図る。	【令和6年度】 4,740,767円 【令和7年度】 5,257,255円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
茨木市	(R6)小中学校スクールサポーター配置事業 ⇒ (R7)小中学校まなびサポーター配置事業	R6・R7	サポーターは、学校における学習指導や生活指導の取組を支援するため、授業中の学習支援、児童・生徒の学習及び学校生活等への個別支援を行う。また、個別の指導計画を作成している児童・生徒については、支援教育コーディネーターと連携して、個別の指導計画に基づき支援を行う。 【R6配置数】小学校125人、中学校77人 【R7配置数】小学校65人、中学校36人	日々の学習支援や生活支援により、全国学力・学習状況調査の正答率20%以下層は全国比で小学校は令和6年度の0.972から令和7年度は0.828と昨年度に引き続き着実に成果があがっており、中学校においても、令和6年度の0.862から令和7年度は0.788と良好な結果を維持することができた。個別のニーズの多様化等により、より支援教育の専門的な知識や対応が求められるようになってきた。	まなびサポーターが教員と連携し、小中学校の児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを正確に把握するために、校内サポーター会議の開催や研修の実施等によりサポーターの資質を向上させ、日々の支援の質を充実させていく。	【令和6年度】 321,394,712円 【令和7年度】 101,500,118円
茨木市	子育てサポート保育士事業	R6・R7	保育所、認定こども園に預けていない子育て家庭などを含む地域全体の家庭に対する子育て支援を推進することを目的に、市内の私立保育所で、保育を通じて蓄積されたこどもの育ちや子育てに関する豊富な知識、ノウハウ等を生かし、園庭開放や遊戯室での親子教室などの実施時に、あわせて保育士による子育て相談等を行う事業所に対し、職員人件費を補助する。	子育て家庭が安心して育児ができるとともに、地域社会の子育て力の向上を図ることができた。	目標数値の達成はしたが、十分に行うことができなかった施設があった。保育士の待遇改善により、離職する保育士数を減らすためには、市として保育園等が適切に保育士に対する処遇の改善が行っているのかという確認を重ねることが必要である。そうすることで、地域全体の子育て支援を充実させることが可能となる。	【令和6年度】 75,351,372円 【令和7年度】 76,451,831円
茨木市	妊婦歯科健康診査事業	R6・R7	妊婦に対して歯科健康診査を実施することにより、妊娠期の口腔の健康維持を通して、安心して出産できる環境を整備することを目的とする。	妊婦に対して、妊娠中の口腔管理を通して、安全・安心な出産をサポートすることができた。	今後も継続的に実施	【令和6年度】 8,001,539円 【令和7年度】 7,930,838円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
泉佐野市	地域子育て応援事業	R6・R7	民間保育園・認定こども園において、保育を通じて蓄積された子どもの育ちや子育てに関する豊富な知識・ノウハウを生かし、地域の子育て家庭に対し必要な相談・助言等を行い、子育て家庭が抱える子育ての不安の解消や負担の軽減を図る。また、地区福祉相談員による子育てサロン等への保育士・保育教諭派遣等で関係期間との連携を図り、地域における子育て支援を充実する(民間保育園・認定こども園に対する補助事業1,200,000円/園×14園)。	子育てサロン等への保育士派遣等で関係機関との連携を図り、地域における子育て支援を充実した。また、地域の子育て家庭に対し必要な相談・助言等を行い、子育て家庭が抱える子育ての不安の解消や負担の軽減を図った。	感染症への感染リスクの軽減を図り、子育てサロンの開催ができるように支援が必要である。	【令和6年度】 16,800,000円 【令和7年度】 16,800,000円
泉佐野市	家庭支援推進保育所事業	R6・R7	入所児童及びその家庭に対し、家庭環境に配慮したきめ細やかな保育の実施を行うとともに、支援が行き届きにくい在宅の子育て家庭への支援として、家庭訪問・出前訪問・出前保育・出前育児相談等を地域に出向いて行う(民間認定こども園に対する補助事業:下瓦屋こども園3,000,000円×1園)。	保育士が家庭訪問をし、保護者の悩んでいることや心配事を聞き、適切なアドバイスをすることで子育ての悩み負担を軽減した。また、各機関と連携をとり、その後も聴き取りや見守り訪問で確認をとった。	引き続き、配慮を必要とする児童への家庭訪問等の支援を行うことにより、少しでも家庭環境が改善されることを期待している。	【令和6年度】 3,000,000円 【令和7年度】 3,000,000円
泉佐野市	泉佐野市小地域ネットワーク活動推進事業(子育てサロン、世代間交流会分)	R6・R7	子どもや子育てで悩む親など支援を必要としている人が地域で安心して生活できるように、ボランティアの協力による支え合い・助け合いのネットワークを小学校区ごとに張り巡らした重層的な支援を行う。校区・支部ごとに個別支援活動及びグループ支援活動を実施している。 ●地区福祉委員会(小地域ネットワーク活動の実施組織)設置数…14カ所 ●個別支援活動…小ネット連絡会、見守り等 ●グループ支援活動…世代間交流会、子育てサロン等 ●その他…泉佐野市社会福祉協議会への補助事業。コミュニケーションワーカーを3名配置	子育てサロン活動実施地区割合:市町村域の100%(14地区中14地区) 世代間交流会活動実施地区割合:市町村域の100%(14地区中14地区)	感染拡大防止をしながら活動が実施できるひとつの形としてICTツールの活用を継続。Instagramのインスタライブ機能を使用し、子育てサロンの中継を行うことでサロンの雰囲気を知っていただく機会となり、参加の促進につながる結果となった。	【令和6年度】 5,043,925円 【令和7年度】 6,500,944円
泉佐野市	泉佐野市ブックスタート事業	R6・R7	赤ちゃんの幸せを願い、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする事業。4か月児健診時にボランティアが絵本を5冊読み、親子と一緒に読み聞かせを体験し、子供の反応を見るなど保護者に読み聞かせの大切さを実感してもらう。また、保護者がその絵本5冊の中から1冊を選択し、プレゼントする。	4か月児健診時にボランティアが絵本を5冊読み、親子と一緒に読み聞かせを体験し、子供の反応を見るなど保護者に読み聞かせの大切さを実感し必要性も感じてもらった。本市で健診されなかった親子には、訪問をして対応することができた。	絵本を通して楽しいひとときが過ごせるよう、4か月児健診時に絵本の読み聞かせを行い、絵本を配布している。今後は、新規のボランティアの育成やそのボランティアへの支援をしていながらボランティアのスキルアップにも努める。	【令和6年度】 654,049円 【令和7年度】 648,885円
泉佐野市	妊産婦等歯科健診事業	R6・R7	虫歯や歯周疾患になりやすく、悪化しやすい妊産婦や妊娠を希望する女性に対して、お口の中の健康づくりを推進するために歯科健診を実施。 対象者は、①妊婦②産婦(産後1年未満)③妊娠を希望する女性(妊娠中又は産婦を除く)。 実施回数は、①妊娠期間中に1回 ②産婦期間中に1回 ③妊娠を希望する女性は一生涯に一回(妊産婦歯科健診は受診可)。	虫歯や歯周疾患の予防・早期発見・早期治療、また妊産婦の口腔ケアに対する意識の向上に寄与することができた。	対象者、医療機関への制度周知により目標数値を上回る助成をすることができたため、今後も周知を徹底し、継続した事業を実施する。	【令和6年度】 1,360,000円 【令和7年度】 1,387,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
富田林市	子育て支援保育士事業	R6・R7	地域の保育を通じて蓄積された子どもの育ちや子育てに関する知識、技術等を生かし、地域の子育て世帯に対し必要な相談、指導、助言等を行い、子育て世帯が抱える子育てへの不安の解消や負担の軽減等を図ることにより地域における子育て支援を充実する。本事業は、次の各号に掲げる事業のうち3つ以上を実施し、子育て支援保育士1名を配置する市内民間保育所等を対象とした補助事業。 ①施設内で、原則として定期的に行う子育て相談・指導等。 ②施設の外で、原則として定期的に行う子育て相談・指導等。 ③地域の子育て親子や子育て支援関係者等が参加する地域交流事業(おおむね年2回以上)。 ④定期的な印刷物の発行等の情報提供。 ⑤市が行う事業への協力。 ⑥その他地域の子育て家庭を対象とした事業で市が認める事業。	子育て家庭が抱える育児の不安等を相談できる場を提供することで、安心して育児ができる手助けができた。	保育所等への所属のない子育て家庭にとって、気軽に相談等ができる人や場所との関係づくりが大切だと考える。そのため、これまで以上に、事業について広く知ってもらうことが必要。地域の保育所等との関わりの中で、子育ての悩みについて相談を受け、必要な場合は専門機関へ取り次ぐ等、関係機関との連携も重要となる。	【令和6年度】 26,019,516円 【令和7年度】 28,112,572円
富田林市	親子居場所支援事業	R6・R7	子育ての孤立化、密室化を防ぐため、気軽に集い交流・相談できる事業や親子のふれあいや子どもたちがともに学び遊ぶ機会を提供する事業を実施する。 乳幼児に対して、親子ふれあい遊び、ワークショップなど多様な活動を提供する。小学生に対して、親子で参加することを基本として参加者を募り、講座・講習を開催する。	親子居場所支援事業は、乳幼児や小学生とその保護者が児童館等集まり実施しており、各種教室や講座を開催し、利用者からは居場所ができて良かったとの声をいただいた。	各実施場所までの来所が難しい家庭への対応は考えていかなければならない。	【令和6年度】 10,650,244円 【令和7年度】 11,754,308円
富田林市	2歳6か月児歯科健康診査	R6・R7	2歳6か月から3歳未満児を対象とした歯科健診。内容は、歯科医師による診察、歯科衛生士による正しい歯ブラシの使い方などを含めた個別相談・フッ素塗布(虫歯予防処置)に加え、保健師による問診と育児相談、心理相談員による精神発達面に関する相談、看護師による身体計測を行い、歯科健診のみならず、発育及び精神発達面の確認と育児相談を兼ねた全体的な健診の機会を確保。母子保健法上の健康診査は1歳7か月児から3歳6か月児の間が2年空いてしまいが、子どもの発達面及び養育環境面、虐待の疑い等において経過観察が必要となる件数・割合が年々増加している現状では、ケースに応じた継続的な支援ができる機会となる。年間18回開催。	健康な口腔環境を保つことへの保護者の関心が高まるように働きかけることが出来ていたと考える。本健診は子どもの健全な発育発達の確認及び保育園や幼稚園などの集団を見据えた子育て情報の提供、健やかな親子関係の構築に関する相談等必要な支援につなぐ機会となる。	今後も積極的な受診勧奨を行う。	【令和6年度】 3,435,183円 【令和7年度】 3,524,392円
富田林市	障がい児(者)ライフサポート推進事業	R6・R7	より身近な生活圏において、障がい児(者)の通学・通所のサポートならびに24時間体制による緊急・突発的なサポート等を支援することにより保護者の就労保障、障がい児(者)の地域生活を支援する。	宿泊は個別給付があるものの、障がい特性により利用が困難なケースや突発的な利用の受け皿になれたと考える。	今後も保護者、障がい児(者)双方の地域生活の支援をより充実させるため、広報及び機関連携を推進していきたい。	【令和6年度】 1,668,500円 【令和7年度】 1,715,500円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
富田林市	こども食堂運営支援事業	R6・R7	地域で子どもに食事を提供し、子どもの居場所として見守りや支援を行っている「こども食堂」を運営する団体に対して、またこれから始めようとする団体に対して、その運営支援を行うとともに、ボランティアの育成や、団体間のネットワークを構築することで団体間の情報共有や育成・運営支援を行う。	・令和6年度に3か所の子ども食堂が新規開設し、新たな中学校区(合計7校区)への子ども食堂の設置ができた。 ・令和7年度に2か所の子ども食堂が新規開設し、すべての中学校区(8校区)への設置ができた。	・残り1か所の中学校区への設置に向けて、引き続き子ども食堂の周知や運営支援を実施していく。(R6) ・未開設小学校区への設置に向けて、引き続き子ども食堂の周知や運営支援を実施する。(R7)	【令和6年度】 4,013,400円 【令和7年度】 3,720,733円
富田林市	市民限定発達障がい児等療育支援事業	R6・R7	自閉症スペクトラム等の発達障がいのある児童及びその保護者を対象に、南河内圏域拠点施設で広域実施している事業(個別の療育プログラムに基づく療育の実施並びに保護者に対する研修)とは別に、ニーズの増加に対応するため、市民限定の同事業(定員20人、月2回、年間療育20回)をこども発達支援センターSunに委託して実施する。	市民限定の実施により保護者 ニーズに対応できた。2年連続参加などのニーズも高く、リピーターの保護者にはペアレントトレーニングを実施することで、関わり方への理解を深めることができた。	こども発達支援センターSunの利用に至らなかった市民の受け皿として、適宜利用等のニーズに対応していく。	【令和6年度】 4,400,000円 【令和7年度】 4,400,000円
富田林市	幼児健全発達支援事業	R6・R7	1歳7か月児健診・3歳6か月児健診などで、集団の場においてフォローが必要と思われる幼児と保護者を対象に、年齢に応じた教室を開催し、また、卒室児のフォローを目的としたチューリップ広場を開催している。 遊びを通して、親子のふれあいを大切にし、幼児と保護者が楽しく過ごせるように援助したり、育児不安や子どもの発達などさまざまな相談に応じたりしている。 フォローが必要な子どもと保護者の早期受け入れが可能となり発達支援を継続的に行之い、教室卒業後の進路を考えるなど、よりきめ細やかな指導・相談に応じることができる。	教室開催は目標回数と同じ回数を、広場開催も目標に近い回数を達成した。 発達等に課題がある幼児とその保護者を継続的にフォローすることができた。	少子化や幼稚園等の所属の低年齢化により、利用の減少が懸念されるが、今後も入室経路の保健センターとの連携をより密にし、援助を必要とする親子に繋がれるように努めていく。	【令和6年度】 16,102,320円 【令和7年度】 16,396,447円
富田林市	妊婦歯科健診	R6・R7	歯周疾患に罹患しやすい妊娠期に歯科健診を実施することで、早産等を予防し、妊婦の健康管理に役立てると共に、将来的な歯周疾患予防に繋げることを目的とする。また、妊娠期から正しい知識の普及や歯の健康意識を高めることにより、妊婦及び生まれてくる子どもの口腔衛生の向上を図ることに寄与することを目的とする。	早産等を予防し、妊婦の健康管理に役立てると共に、将来的な歯周疾患予防に繋げることが出来た。	受診者が増加するよう、妊娠届出時に妊婦健診の受診券とともに妊婦歯科健診の受診券について説明をする。両親教室や妊婦等包括相談支援事業等、他の事業とも連携した啓発を実施し、今後も継続して行う。	【令和6年度】 1,428,570円 【令和7年度】 1,284,426円
富田林市	富田林市不育症治療費助成事業	R6・R7	不育症治療を受けた夫婦に対し、当該治療等に要する費用の一部(上限30万円)を助成することにより、当該夫婦の経済的負担を軽減し、もって次世代育成支援に寄与することを目的とする。	広報や市のホームページ等に不育症に関する情報を掲載し事業の周知に努めた。申請者の経済的負担を軽減し、もって次世代育成支援に寄与することができた。	今後も本事業の啓発と、電話相談等への丁寧な対応により利用しやすい環境を整えていく。	【令和6年度】 38,060円 【令和7年度】 456,903円
河内長野市	認定こども園での配慮が必要な子どもへの支援事業	R6	保育士不足により保育士の雇用が厳しく、派遣を使うなど園の費用も増加しており、加配保育士の配置が難しくなっていることから、補助を行い、確実に配置し、支援の充実を図る。	審査会を経て必要とされた発達障がい児全てに加配保育士を設置することができた。	加配保育士の配置は今後も必要になると思われることから、今後も当事業を継続していく。	【令和6年度】 7,141,058円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
河内長野市	地域活動事業	R6・R7	【R6・R7】 すべての家庭が不安や負担を抱え込むことなく子育てできるよう、様々な地域活動への参加や育児相談などの役割を市内保育所、幼稚園、認定こども園が担うことで、保護者の育児負担の軽減を図る。	【R6】保育園については、事業開始年度より前から既に地域活動を実施していた園が多く、全園で申請された。他方で、認定こども園の申請は10園に留まった。 【R7】保育園については、事業開始年度より前から既に地域活動を実施していた園が多く、全園で申請された。他方で、認定こども園の申請は11園に留まった。	【R6・R7】 各園が地域住民との交流を深めることで、保育を実施する上での地域住民の理解や相互支援を得ることができ、保護者の育児負担軽減の効果が期待できることから、今後も当事業の啓発に努めていく。	【令和6年度】 17,000,000円 【令和7年度】 17,300,000円
河内長野市	乳児保育促進事業	R6・R7	【R6】 入園率の上昇、共働き世帯の増加により、0歳からの入園希望が増加している。そこで0歳児を受け入れている施設に対し、補助を行うことで、受入枠の増加を促し待機児童の解消をめざす。(0歳児の枠が増えることで、待機の多い1歳児の拡充にもつながる。) 【R7】 共働き世帯の増加により、0歳児からの入園希望数が高止まりしている。過年度における本事業実施の効果により、0歳児を受け入れる施設が増加したものの、年度途中には待機児童が発生している。今後も0歳児を受け入れる施設に対し補助を行うことで、受入枠の増加を促し、待機児童の解消を目指す。	【R6・R7】 0歳児の受入枠を増加させるべく補助制度を継続し、人口減少による出生率低下等の影響を受ける中で0歳児受入枠数は前年度と比較し減少した。	【R6・R7】 待機児童の解消や1歳児枠の拡大にも貢献した、今後も当事業を継続し、待機児童の解消及び保育の充実を図る。	【令和6年度】 14,120,000円 【令和7年度】 13,270,000円
河内長野市	手つなぎ登園推進事業	R7	市内の教育・保育施設が実施する、紙おむつ等のサブスクリプションサービス利用等に対して補助を行うことで、通園児童に係る登園時の荷物を減らすことによる保護者の育児負担及び経済的負担の軽減を図る。	保育園については、7園中、6園から申請された。他方で、認定こども園の申請は13園に留まった。	各園が本事業を利用することで、保護者の育児負担軽減の効果が期待できることから、今後も当事業の啓発に努めていく。	【令和7年度】 19,175,237円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
河内長野市	子育て支援情報発信事業	R6・R7	【R6・R7】 子育て世代が情報交換や情報収集をしながら、主体的に地域で子育てネットワークを形成することを目標とする。また、地域に対しては、子育て情報を通じて、地域全体で子育てを支援する基盤整備を総合的に行っている。	【R6】 子育ての情報のみならず、他課からの情報やイベント情報などLINEで配信することで市民の利便性を高めた。 【R7】 食料品等物価高騰対策支援事業でクーポン券の配布に伴い、市公式LINEに登録が促進され、登録者数の急増につながった。	【R6】 今後も利用者、登録者にとっての利便性を図りながら継続して実施していく。 【R7】 登録促進に向けた周知強化に加え、対象者に応じた情報発信の工夫や紙媒体等との併用するなど、より多くの市民に情報が届くように改善を図る。	【令和6年度】 3,409,448円 【令和7年度】 4,328,260円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
松原市	子育て支援保育士事業	R6・R7	地域の子育て家庭に対し、必要な相談、指導、助言等を行い、以下の事業を行う民間保育所に補助する。 (1)施設内外で定期的に行う子育て相談・指導等 (2)地域交流事業 (3)定期的な印刷物の発行等の情報提供 (4)地域の子育て家庭を対象とした事業で市が認める事業	市内全園で園庭開放等、定期的に保育相談を行えた。	市内全園で園庭開放等、定期的に保育相談を行えているため、今後も継続して行う。	【令和6年度】 22,310,795円 【令和7年度】 20,447,456円
松原市	子育て情報提供事業	R6・R7	本市の子育て情報をまとめた情報誌「子育て応援ブック」の作成及び本市の子育て情報に特化したホームページ「まっばら子育てネット」を作成し、子育て情報を発信し、子育て世代の方が子育てに必要な情報を容易に入手できる環境を整えることを目的とする。	情報誌やホームページを作成し、子育て情報を発信することで、子育て世代の方が子育てに必要な情報を容易に入手できる環境を整えることができた。	今後も市民に必要な情報発信をし、よりわかりやすく充実した内容を作成することを心掛けたい。	【令和6年度】 418,000円 【令和7年度】 449,900円
松原市	子育て応援講演会事業	R6・R7	未就園の子どもと在宅で子育てしている保護者を対象に、子ども連れでも参加できる会場を構築し、子育てに役立つ内容も含んだ観劇を楽しむことによって日頃の疲労感を解消してもらい、子どもには歌やダンスを保護者と共に楽しんでもらうことを目的としている。	親子で身体を動かし楽しむことで気持ちを発散し、また親子間同士の相互交流を深めることに繋がった。	また参加したいという声も多く申込数も多いことから次年度も継続して実施したい。	【令和6年度】 1,895,300円 【令和7年度】 1,908,500円
松原市	子育て応援ポイント事業	R6・R7	幼稚園、保育所等のサービスを利用することなく、児童を養育している保護者及び対象児童に対し、子育て支援センターやひろばなどへの興味を喚起し、積極的に参加してもらうことにより、子育てに対する不安などを解消し、児童の健全育成に資することを目的とする。	子育て世帯に対して子育て応援ネット等を通じて、講座や事業を案内し、継続した支援センター・ひろばの利用につなげることができた。	子育て世帯に対して子育て応援ネット等を通じて、講座や事業を案内し、今後も継続した支援センター・ひろばの利用につなげていきたい。また、利用者の利便性の向上に努めていきたい。	【令和6年度】 1,991,419円 【令和7年度】 2,074,630円
松原市	異文化理解子ども絵本講座	R6・R7	英語を母国語とするネイティブスピーカーによる英語の絵本の読み聞かせや英語の歌をうたったり、ゲームをして楽しく遊ぶことで英語に触れるきっかけづくりを行う。子供の「創造性」「感性」を豊かにし、また幼少の頃から自然に外国人と触れ合うことで異文化に関心を持ちグローバルな視野を持つ人間育成を目的とする。	ゲームや遊びを取り入れ楽しく学ぶことができ、子ども達の興味を持つことができた。	令和2年度から小学校の英語授業が全面に実施になったことにともない、早期に楽しく英語に触れることが大切になるため、引き続き事業を実施し、子ども達に興味を持ってもらえるよう努めていく。	【令和6年度】 128,000円 【令和7年度】 114,000円
松原市	子育て応援大使事業	R6・R7	吉本興業所属の高井俊彦氏に「子育て応援大使」に就任してもらい、歌やダンス、お話しなどのテーマでイベントを開催することで、イベントに参加する親子がリフレッシュし、日頃の育児の負担感の軽減を図るとともに、参加者に「ひろばアンバサダー」となってもらい、活動をホームページやSNSを通して市内外に発信し、松原市の子育て支援について興味・関心をもってもらう。	イベントを通じてリフレッシュ、日頃の育児の負担感の軽減を図ることができた。	イベントを通じて子育て中の親子に育児の負担感の軽減を実感してもらうとともに、今後も松原市の子育て支援について興味・関心を持ってもらいたい	【令和6年度】 303,600円 【令和7年度】 304,068円
松原市	交通安全推進事業	R7	自転車を利用する児童生徒等の自転車用ヘルメット着用を促進し、事故被害による頭部受傷の軽減を図るために、7歳以上18歳以下を対象に自転車用ヘルメット購入費の一部を助成する事業。	小学生99個、中学生53個、高校生22個、合計174個の申請があり、高校生の申請が想定より多かった。	令和8年度より自転車への青切符制度も開始されることから、自転車のマナーアップに向け、引き続き補助制度の周知・啓発を行う。	【令和7年度】 318,300円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
松原市	母子手帳アプリの運営管理	R6・R7	既存のアプリケーションを使用し、妊娠中の記録・乳幼児健診等の子どもの成長記録や、予防接種のスケジュール管理が簡単にでき、市が配信する妊娠・子育て等に関する情報等が適時に得られる妊娠期から子どもを持つ世帯をサポートするためのスマートフォン向けアプリケーションを運用している。	事業開始から年数を経過するごとに、登録者数が増加している。	引き続き妊娠期からの登録を促し、出産・育児に役立つ情報発信をおこなう。	【令和6年度】 660,000円 【令和7年度】 660,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
大東市	子育て情報誌活用事業	R6・R7	子育てに関する不安解消と、子育て世代が安心して働き、生活することができる環境づくりの一環として子育てガイドブックを作成し、保育所・幼稚園や公共機関、訪問事業等を通じて配布し、子ども・子育てに関する取り組みの周知を図る。	子ども・子育て関連部署と連携し、毎年内容を更新することで、子育て世代に最新の情報を提供することができた。	今後も引き続き事業を実施する。	【令和6年度】 654,885円 【令和7年度】 435,600円
大東市	子育て支援情報発信事業	R6	妊娠・出産・子育てに関する情報発信の充実を図るため、スマートフォン普及率の高い子育て世代にとって利便性の高いスマートフォンアプリ及びWebポータルサイトによって行うことにより、住民サービスの向上を図る。	子育て世代包括支援センターとの連携により、出生者のダウンロード数については目標を達成することができた。	今後については、大東市公式LINEとの情報ツール一本化のため、令和7年3月31日でアプリの配信サービスを終了する。	【令和6年度】 2,069,100円
大東市	法人立保育所等運営費補助金(保育所地域活動事業実施補助事業)	R6・R7	地域の子育て家庭に対して、法人立・公立保育所で実施する様々な行事や遊びに参加してもらうことで地域の子育てを支援する。以下の全ての事業を実施する法人立保育所には補助金を交付する。 ①育児相談②地域交流事業③育児情報提供事業④施設開放⑤家庭支援事業 対象:(R6)南郷保育所、野崎保育所、ひらりす保育園、津の辺保育園 (R7)南郷保育所、野崎保育所、津の辺保育園 R6補助額: 法人立保育所…1園あたり1,600千円 公立保育所…地域活動に伴う事業費(2園で 261,104円) R7補助額: 法人立保育所…1園あたり1,600千円 公立保育所…地域活動に伴う事業費(2園で246,254円)	公立保育所においては、予算措置を講じることにより、法人立保育所においては必要経費に対する補助金を交付すること等により、積極的に事業実施に取り組むことができたため。	事業実施している保育所に対して、その水準を向上させるため、情報提供に努めるとともに、必要に応じて実施回数を増やすよう依頼を行った。	【令和6年度】 3,461,104円 【令和7年度】 1,846,254円
大東市	親子教室	R6・R7	【目的】 発達に遅れや問題をもたらす可能性や、社会性・精神発達に何らかの影響を及ぼす可能性のある児を中心に集団の場を設定し、遊びや育児に対するフォローを行う。 【内容】 親子で一緒に保育に楽しく参加しながら、親子の信頼関係を確立し、子どもの成長、発達を促す。保護者にはこの教室を通して、具体的な子どもとの関わり方や子どもと触れ合っ て遊ぶ楽しさを学び、不安が解消されるようにアドバイスを していく。発達状況により適切な進路を見極め、必要な親子 は幼児発達支援センター等へつないでいく。	【令和6年度】 対象児のうち実質参加割合80% 【令和7年度】 対象児のうち実質参加割合78%	親子教室に参加することで親子の信頼関係を築き、親が親であることの自信を持て、子どもの成長・発達も促される。親子教室の必要性について親に理解してもらうようにすることで、実績値の増加が見込まれる。	【令和6年度】 5,784,779円 【令和7年度】 6,314,741円
大東市	離乳食体験会	R6・R7	【目的】離乳初期の形態について、すりつぶし体験と試食を通して学び、さらに、子どもの月齢に応じた食品の選択・調理法等について伝えることで、離乳食全般についての知識を身に着ける機会とするため。 【対象】離乳期の子どもがゐる保護者(児同伴参加可能) 【内容】説明(講義)→体験・試食→質疑応答(1.2部来所型、3部オンライン) 【場所】保健医療福祉センター	【令和6年度】167名 【令和7年度】142名	講座後アンケート「とても参考になった」が80%と評価は高かった。 今後、周知方法を拡充し、家庭訪問やネウボランドだい とう等でも配布する。	【令和6年度】 165,573円 【令和7年度】 153,131円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
大東市	2歳6カ月歯科教室	R6・R7	【目的】2歳6か月になる児の口腔衛生の保持増進のため 【内容】 口腔衛生指導・集団指導 対象:2歳6か月になる児	【令和6年度】受診率76% 【令和7年度】受診率71.8%	歯科医師を増員し口腔衛生に重点的に取り組むことにより親子で口腔衛生への知識を高め、3歳6カ月健診でう歯のない者の割合を増やす。	【令和6年度】 1,239,434円 【令和7年度】 1,296,560円
大東市	居場所づくり事業	R6・R7	家で1人で食事をとる、夜遅くまで1人で過ごすといった環境にある子どもたちを対象に、食事の提供を行い、地域で子どもだちを見守る「子ども食堂」を運営する団体を支援する。	格差や孤立が広がる中、子ども食堂運営団体は増加傾向にあり、子どもたちの居場所づくりを進めることができた。	今後も子ども食堂の運営を通して、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりや地域社会との交流を支援するため、現事業者の継続維持と新規事業者の参画に向けた周知を行う。	【令和6年度】 1,443,000円 【令和7年度】 2,035,600円
大東市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	【目的】妊婦および産婦の口腔衛生の保健指導。 【内容】健診・歯ブラシ指導・歯面清掃。	【令和6年度】232人 【令和7年度】202人	妊婦および産婦の口腔衛生の保健指導を行うことにより口腔衛生の意識・理解を高め、生まれてくる子どもの歯科健診受診や自身の成人歯科受診へと繋げ、う歯のない者の割合や歯周疾患をもつ者の割合を減らす。	【令和6年度】 1,368,800円 【令和7年度】 1,191,800円
大東市	不育症検査・治療費助成	R6・R7	【目的】 不育症の検査、治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため 【内容】 助成対象となる不育治療に係る検査費、治療費、薬剤費のうち、自己負担額の1/2を1年度あたり30万円を限度に助成	【令和6年度】1件 【令和7年度】3件	不育症検査・治療費助成を行い、精神的、経済的な負担を軽減することで出産に至る可能性を高め、出産数の増加につなげる。	【令和6年度】 62,564円 【令和7年度】 165,615円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
和泉市	療育施設への支援	R6・R7	児童発達支援センターにおける療育内容の充実を図るため、指定基準以上の機能訓練士(理学療法士等)その他の専門職の配置に必要な経費を補助する。	身近な地域で安心して療育を受けることができる環境の整備と障がい児の支援の充実につなげることができた。	今後も機能訓練士等の配置による専門的な療育の実施を継続し、多様化する障がい児支援の充実を図る。	【令和6年度】 22,901,000円 【令和7年度】 25,134,000円
和泉市	薬物乱用防止教室推進事業	R6・R7	薬物乱用防止教育について、各校で指導計画を策定し、学校教育活動全体を通じて取り組むよう、また、薬物乱用防止教室を年1回以上開催するよう各学校に対して指示を行い、各学校における薬物乱用防止教育の充実を図る。また、講師を学校薬剤師等に依頼し、視聴覚機器を活用し、児童生徒にわかりやすいものとするとともに、啓発リーフレットを作成し、児童生徒及び保護者、地域住民への啓発に向けた取組みを行う。	薬物乱用の有害性・危険性の啓発を継続し、地域の実情や児童生徒等の発達段階をふまえ、大麻やMDMA等の合成麻薬の有害性・危険性に関して理解させるとともに、医薬品等の正しい知識・服用の仕方についても理解させるよう指導することで、薬物乱用の防止につなげた。 【令和6年度】 予定していた10校で、学校薬剤師と連携して薬物乱用防止教室を実施することができた。 【令和7年度】 講師との調整の結果、9校において学校薬剤師と連携した薬物乱用防止教室を実施することができた。	今後も、薬物乱用の有害性や危険性について啓発を続けるとともに、地域の実情や児童・生徒の発達段階に応じた指導を行う必要がある。とりわけ、大麻やMDMA等の合成麻薬がもたらすリスクや恐ろしさ、加えて、近年増加している医薬品の過剰摂取の危険性について、正しい知識や服用方法を児童・生徒に啓発する。	【令和6年度】 135,000円 【令和7年度】 164,940円
和泉市	子育て支援保育士事業	R6・R7	市内民間保育所・認定こども園で、地域に密着した児童福祉施設として、保育や療育を通じて蓄積された子どもの育ちや子育てに関する知識、技術等を生かし、地域の子育て家庭に対し、必要な相談、指導、助言等を行い、子育てへの不安の解消や負担の軽減等を図ることにより、地域における子育て支援機能を充実する。	子育てへの不安の解消や負担の軽減、地域社会の子育て力の向上に寄与できた。	保育施設が安定して事業を行えるよう補助金だけでなく、その他のサポート方法について検討していく。	【令和6年度】 7,896,000円 【令和7年度】 7,897,000円
和泉市	特別支援児保育事業	R6・R7	市内民間保育所・認定こども園・小規模保育事業所が、特別支援児を受け入れ、保育を行うにあたり、特別支援児の健全な発達支援のために配置した保育士の人件費等に補助を行うもの。	特別支援児について、障がいの程度や発達段階に応じた保育の内容を充実できた。	引き続き事業を実施していくことで保育施設の負担を軽減していく。	【令和6年度】 12,120,000円 【令和7年度】 9,780,000円
和泉市	心身障がい児訓練事業補助事業	R6・R7	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会が実施する障がい児を対象とした作業療法士等の専門の訓練士によるリハビリを通して日常生活動作の改善と自立の促進を図ることを目的とする事業を円滑に実施できるよう補助金を交付する。	障がいの程度や発達段階に応じた訓練を提供することで、自立や社会参加に繋がり、障がいや発達に遅れのある子どもやその家族の支援となった。	引き続き機能訓練の実施と制度の周知を行うことで、障がい児のQOL向上と、保護者の負担軽減につなげていく。	【令和6年度】 1,967,697円 【令和7年度】 1,932,410円
和泉市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊娠届出時に受診票を交付し、委託歯科医療機関(和泉市歯科医師会)において妊婦歯科健康診査を受診(妊娠期間中に1回)し、その費用を公費負担する。	妊娠期の歯周病は低出生体重児のリスク要因ともなっているため、妊婦のう蝕、歯周疾患を早期発見することにより、妊婦の健康管理及び胎児の健全な発育につなげた。	令和7年度、受診率は目標達成ができた。引き続き、妊婦歯科健診の必要性を周知すると共に、受診勧奨や産科医療機関への啓発を行い、妊娠期からの口腔ケアに努める。	【令和6年度】 1,967,385円 【令和7年度】 1,859,760円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
箕面市	箕面学力・体力・生活状況 総合調査事業	R6・R7	小中学校9年間を通じて継続的かつきめ細かく子どもたちの学力・体力・生活の状況を把握することで、子どもたちの「生きる力」(学力・体力・豊かな心の総合力)の育成を進めるため、箕面学力・体力・生活状況総合調査「箕面子どもステップアップ調査」を市立全小中学校で実施する。	学力調査において、全ての教科が全国トップの都道府県の平均正答率とほぼ同値であった。 体力調査における小学校の記録は、全国平均を上回った記録が多く見られた。	少人数指導加配教員や専科指導教員を活用しながら、子どもたちの実態に応じた指導形態できめ細やかな指導に取り組んでいく。	【令和6年度】 26,165,460円 【令和7年度】 29,381,563円
箕面市	民間保育所運営費補助事業	R6・R7	子育て支援等保育士の配置及び活動に要する費用と市の補助基準額2,900,000円とを比較して少ない方の額を限度として支給する。	地域の子育て交流の一環として園庭開放等を行い、地域の子育て家庭が気軽に相談等が行える機会が作れた。	今後も地域の親子が園に来る機会を増やし、来園時に育児相談等をより積極的に行う等、子育て支援保育士の活用に努める。	【令和6年度】 8,700,000円 【令和7年度】 5,800,000円
箕面市	子育て支援センター事業	R6・R7	「35歳初産ママ集まれ」「プレママひろば」「親子の絆づくりプログラム」など、子育て家庭同士のつながりを作ったり、情報交換をしたりする場を提供することで、妊娠期から出産・育児期にわたり、子育て世帯の様々なニーズに応じた支援を実施する。	母親・父親同士が同年代ならではの共通の話題で話することで、子育て仲間を作るきっかけとなり、孤立化防止につながった。また、初めての子育てをする母親が子育てに必要な知識を得る場となり、子育て不安の軽減につながった。	広報やHP等で周知に努めているが、周知しきれていない面もあり、他機関や他室との連携をより深めるなどして、周知の方法を工夫する	【令和6年度】 366,620円 【令和7年度】 396,070円
箕面市	不妊・不育治療費等助成事業	R7	保険適用の有無を問わず、医師が必要と認めた不妊症及び不育症の治療、検査に関する費用(ただし、大阪府等が実施する他制度の対象治療等を除く)を対象に5万円を上限に助成するもの。	不妊症及び不育症の治療等を受ける夫婦の経済的負担を軽減	子どもを持つことを希望されている夫婦に対して、適切な治療等を受ける機会を支援するため、事業を継続していく。	【令和7年度】 5,522,638

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
柏原市	公立認定こども園等自園調理推進事業	R6・R7	令和2年度から自園調理を実施している公立認定こども園1園に加え、公立認定こども園3園および公立保育所1か所において、令和6年4月から自園調理を開始。当事業にて、栄養士・調理員を配置し、できたての昼食やおやつを提供を行うことで、子どもひとりひとりの健康や発達に適した食事の提供や食育活動を実施することを目的とする。	子どもの発達状況に応じた柔軟な食事の提供を行うことで、アレルギー等への配慮や栄養面等での質の確保を行うことができた。	今後も事業を継続し、子ども一人ひとりの健康や発達に応じた食事の提供および食育活動を行うことで、保育環境のさらなる充実を図る。	【令和6年度】 140,764,800円 【令和7年度】 140,764,800円
柏原市	公立認定こども園 ICT運用事業	R6・R7	児童の出欠及び時間外保育時間の管理など煩雑な事務について、ICT(登降園等管理システム)を用い、適切な運用が維持できるよう保守することで、職員の業務負担の軽減を図り、働きやすい職場環境を整備することを目的とする。	保護者の利便性の向上に加え、職員の業務負担の軽減及び働きやすい職場環境の整備を行った。	システムを活用し、さらなる業務負担の軽減を図っていく。	【令和6年度】 1,584,000円 【令和7年度】 1,584,000円
柏原市	認定こども園等駐車場借上事業	R6・R7	公立施設に駐車スペースが無いことから、駐車場を借上げ、低年齢児や兄弟入所の保護者等に、送迎用駐車場として利用させることにより、送迎時の保護者の利便性、安全性の向上を図ることを目的とする。	送迎時にかかる保護者の利便性・安全性の向上	保護者等の負担軽減のためにも、今後も継続して実施する。	【令和6年度】 1,188,000円 【令和7年度】 1,188,000円
柏原市	柏原市妊婦歯科健康診査事業	R6・R7	妊娠中のホルモンバランスの変化やつわりに起因する虫歯・歯周病を予防し、また、妊産婦と子どもの健康な口腔環境を維持することを目的として、母子健康手帳の交付を受けている妊婦に対し、市内歯科医院において妊娠期間中1回歯科健康診査を実施する。 歯科健診の内容:問診、現在歯・損失歯及び歯周組織の検査、清掃状態、歯科保健指導、結果の説明	妊娠期に歯科健診を実施することにより、歯と口腔内における健康管理の意識の向上	妊娠届出時に、受診券を渡しているが、受診していない人が半数以上であることから、妊娠期の歯科健診の重要性を周知啓発し、受診率向上に向けた取り組みが必要である。	【令和6年度】 795,000円 【令和7年度】 765,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
羽曳野市	子育て支援保育士事業	R6・R7	私立保育施設と通園施設において、園庭開放や親子教室を実施し、子育てに不安を抱える保護者が相談できる機会を提供し、児童虐待の早期発見、支援につなげる。	園庭開放や親子教室等を実施することで、子育てに不安を抱える保護者に対してフォローすることができ、児童虐待の早期発見や支援へ寄与することができた。	子育てに不安を抱える保護者の不安解消や児童虐待等の疑われる家庭の早期発見のため、今後も本事業を継続して実施する。	【令和6年度】 16,000,000円 【令和7年度】 17,600,000円
羽曳野市	障がい児保育地域支援事業	R6・R7	障がいのある子どもがいる家庭に対して、保育施設等利用調整業務における利用施設の決定に際し、「保護者の保育に欠ける状況」だけで決定するのではなく、様々な関係団体と協議の上、障がいのある子どもに対して保育施設の利用が、家庭への支援にとって大変重要であることを踏まえて、心理士・看護師・保育士が配慮が必要な子どもの状況を把握するため、個別面接を行い、調整を行っている。また、保育するうえでも、必要な人員を配置し、子ども一人ひとりの個性や能力を最大限に発揮しながら、安心して教育・保育が受けられるよう努める。	市内認可保育施設全施設において障がいのある子どもを受け入れることで、地域や施設で偏ることなく、一丸となって家庭への支援ができた。	障がいのある子どもが保育施設を利用することにより、地域社会へのステップとして捉え、且つ、保護者が安心して子育てを行う環境づくりを支援し、多様な家庭への支援策を図るため、今後も本事業を継続して実施する。	【令和6年度】 96,435,834円 【令和7年度】 118,325,893円
羽曳野市	【令和6年度】 公立保育園リフレッシュ事業 【令和7年度】 公立保育園・公立認定こども園リフレッシュ事業	R6・R7	乳幼児の安全性を確保するため、劣化等によって修繕が必要な機器の更新や軽微なバリアフリー化等の施設改善を進める。	・公立保育園の老朽化した備品等を入れ替えることにより、安全面が向上した。 ・公立保育園・公立認定こども園の老朽化した備品等を入れ替えることにより、安全面が向上した。	・公立保育園だけでなく、公立認定こども園でも修繕が必要である。今後は公立認定こども園も対象として施設改善を進める。 ・公立保育園だけでなく公立認定こども園も対象としたことで、対象園数が増えた。今後本事業を継続して実施する。	【令和6年度】 721,634円 【令和7年度】 1,788,721円
羽曳野市	子ども読書活動推進事業	R6・R7	①子どもが読書に親しむための環境整備 ②家庭、地域、学校園、行政が連携し、市全体として取り組みを推進 ③子どもの読書活動への理解と関心を深めるため、啓発・広報活動を行う	市内学校園等との更なる連携を図り、電子図書館を含むあらゆる図書館サービスを知ってもらい、利用を促進した。また、子どもの読書活動に対する理解と関心を高めることができた	個人貸出・団体貸出とも目標を超えることはできなかったものの、R6は団体への1日あたりの貸出冊数がR5より増加し、R7は個人への1日あたりの貸出冊数がR6より増加した。 引き続き子どもたちの豊かな読書活動のための環境整備として、新鮮で魅力ある資料を提供するための児童用資料の購入を行う。	【令和6年度】 166,689円 【令和7年度】 161,521円
羽曳野市	マタニティスクール事業	R6・R7	妊産婦及びその家族に対して、安心して妊娠・出産・育児ができるよう知識の普及や妊婦体験、沐浴実習を実施。また、仲間作りを目的として参加者同士だけでなく、先輩ママとの交流も実施。	妊婦・その家族に対し知識の普及・交流の場となっている。各回の父親の参加希望が増加しており、父親の家事育児参加のため内容の充実を図った。	【令和6年度】 公式LINE等での啓発やオンライン申請等を取り入れ、参加者数の増加を図る。 【令和7年度】 オンライン申請を導入したことで参加者の増加に繋がった。より多くの妊婦やその家族が参加しやすいよう、実施内容・時期などを検討していく。	【令和6年度】 483,205円 【令和7年度】 339,637円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
羽曳野市	離乳食講習会(あそびの教室併設)	R6・R7	4か月児健康診査受診後から生後8か月までの乳児の保護者を対象に前期の離乳食講習会、生後9か月から12か月頃の乳幼児の保護者を対象に後期の離乳食講習会を実施。離乳食の作り方や進め方についての講話と実際の離乳食の試食を行い、育児支援につなげる。また、講話と試食の前後に、乳児とのふれあい遊びについて実演し愛着形成を促す他、質疑応答や相談の時間を設け、保護者の不安解消に繋げる。	父親の教室参加もあり、父親の育児参加が窺えた。試食や体験を実施することにより、保護者の理解を深められた。	【令和6年度】 今年度より開催した後期の講習会も定員を上回る参加があったため、次年度は開催回数を1回増やし、より多くの方に参加してもらえるようにする。 【令和7年度】 Web申込みを開始し、前期参加者には個別に後期申込みのQRコードを渡すなどしたが、前期・後期ともに参加者数は少なかった。前期・後期ともに参加者のニーズに合っているのか検討し、より多くの方に参加してもらえるようにする。	【令和6年度】 417,922円 【令和7年度】 444,400円
羽曳野市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊娠期における適切な時期に、市内の歯科医院にて口腔内検査及びブラッシング指導を受けることにより、知識の普及および、歯科疾患の予防を図り、生涯を通じた健康づくりの基礎を築く。妊娠期間中1回費用助成。	【令和6年度】 妊娠届出時に受診勧奨をするのに加え、定期的に市公式LINEなどで啓発を行った。 【令和7年度】 妊娠届出時や定期的に市公式LINEなどで受診勧奨するのに加え、受診啓発のポスターを作成し、歯科医院へ掲示依頼を行った。	【令和6年度】 受診率が目標の37%には及んでいない為、受診啓発のポスターを作成し、歯科医院へ掲示依頼を行う。 【令和7年度】 受診率が目標の37%には及んでいない為、妊娠届出時などに公式LINEの登録をすすめ、LINEと連携しているホームページを見やすいようにリニューアルする等工夫していく。	【令和6年度】 1,047,753円 【令和7年度】 842,206円
羽曳野市	ブックスタート事業	R7	子どもが絵本とふれあうことは豊かな心を育み心身の成長に繋がることから、4か月児健診を終えた赤ちゃんに絵本をプレゼントするとともに赤ちゃんや保護者に読み聞かせを実施する。	本事業をきっかけに、子どもたちに読書をする習慣が芽生えることで将来的な読書活動の推進につなげることができた。	引き続き本事業をきっかけに、子どもたちに読書をする習慣が芽生えることで将来的な読書活動の推進に努める。 また、4か月児健診を受診していない赤ちゃんとその保護者についても、保健センターと協力のうえフォローをしていく。	【令和7年度】 448,574円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
門真市	地域子育て支援事業	R6・R7	安心して子どもを産み、育てることができる地域社会の実現を目的として、地域子育て支援担当の保育士等が、公立こども園等の園庭開放や、公共施設において親子であそべる場所を開放する「あおぞら保育」等を実施している。	あおぞら保育等・園庭開放ともに実施回数の目標を達成し多くの親子に参加いただけた。	子育て支援者や子育て中の親子同士の交流の場を設けたことで、育児不安の軽減を図ることに寄与できた。今後も取り組みの更なる充実を図る。	【令和6年度】 67,915円 【令和7年度】 116,465円
門真市	子育て支援保育士事業	R6・R7	民間保育所等に補助を行うことで、当該施設が保育や療育を通じて蓄積された子どもの育ち及び子育てに関する知識・技術等を活かし、地域に密着した児童福祉施設として、子育て支援保育士が必要な相談・指導・助言等を行い、地域の子育て家庭への不安の解消及び負担の軽減等を図る。	目標数値と同様の施設で事業を実施することにより、子育て支援機能を充実させ、子育てへの不安解消及び負担軽減を図ることができた。	子育てに関する不安や負担感を抱える子育て家庭が増大しており、今後も他の子育て支援施策との連携を図りつつ、市全体としての取り組みの更なる充実を図る。	【令和6年度】 27,497,000円 【令和7年度】 25,749,000円
門真市	教育課程事業	R6・R7	ALT(外国語指導助手)5名を以下のとおり配置し、小学校においては児童のコミュニケーション能力の素地を養うとともに、児童の興味・関心が高まる取組の強化を図り、中学校においては、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 小学校13校:月1～2回 中学校6校:隔週で週5日間	実践的なコミュニケーション能力の向上につながった。	英語によるコミュニケーション活動について、消極的な姿がまだまだ見られる傾向があるため、学習指導要領が目指す「聞く」「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」「読む」の4技能5領域を向上させ、児童による積極的なコミュニケーション活動をさらに推進していきたい。	【令和6年度】 22,780,834円 【令和7年度】 22,364,835円
門真市	門真市めざせ世界へはばたけ事業	R6・R7	本市在住の中学1、2年生を対象として門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストを開催し、このコンテストで最優秀賞及び優秀賞等を受賞した生徒を対象に中学生海外派遣研修を実施し、令和6年度は、最優秀賞、優秀賞及び奨励賞を受賞した生徒を対象に英語体験学習を、令和7年度は、市内小学5・6年生及び中学1年から3年生を対象に英語体験学習プログラムを実施する。	「グローバル」な人材の育成等につながった。	国際社会において、本市から世界に通用する「グローバル」な人材を育成するため、ALTによる英語教育を推進するとともに、「めざせ世界へはばたけ事業」では、英語体験学習プログラムを実施するなど、実践的なコミュニケーションの向上に努めた。	【令和6年度】 4,894,207円 【令和7年度】 6,059,206円
門真市	児童虐待発生・再発防止支援対応事業	R6	児童虐待の対応件数が年々増加している中、虐待の早期発見・早期介入が重要となる。虐待の発生予防、早期発見し重症化防止の観点から、市において児童虐待防止に向けた啓発の取り組みを促進する。 ・虐待防止に向けた児童へのロールプレイを含む啓発授業及び保護者に親支援プログラムの実施(小学校区での実施) ・児童虐待防止を目的とした啓発物品の作成及び配布	・児童や保護者、地域支援者等へ虐待防止に向けた啓発を行ったことにより、子どもの権利擁護に対する意識が向上した。 ・家庭の養育力・教育力の向上につなげることができた。 ・支援が必要な世帯への早期介入・重篤な児童虐待の予防につながった。	・今後は、より多くの児童や保護者、支援者への啓発ができるように、実施方法を検討する。	【令和6年度】 227,540円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額（円） （一般財源等含む）
門真市	MR予防接種2期延長、成人用MR予防接種助成事業及び予防接種個別案内通知事業	R6	MR2期延長の当該年度対象者に接種勧奨を強化するとともに、前年度対象の未接種者に対しては、8月31日までの間に、R6年度の2期末接種者に対しては、任意接種であるが、全額公費負担とし、個人の負担を軽減することで接種しやすい環境を整備し、麻しん及び風しんの撲滅を目指す。また、成人用麻しん風しんワクチン等の予防接種では、妊娠を希望する女性及びその配偶者と妊娠している女性の配偶者を対象に予防接種の費用を助成する（抗体検査は不要）。女性の自己負担額はMRワクチンと風しんワクチン接種いずれも自己負担3,000円（MRワクチン7,065円助成、風しんワクチン3,523円助成）、男性はいずれのワクチンも自己負担1,500円（MRワクチン8,565円助成、風しんワクチン5,023円助成）にて接種（接種回数は1回）。次に予防接種個別案内通知事業については、本市において実施している定期予防接種の対象者に個別通知を行い、予防接種の種類、期日、期間及び場所等を周知し、予防接種率の向上を図る	MR2期の接種期間を延長し、未接種者への勧奨を行い、費用全額助成により、過去3か年においては、R4年度は12人、R5年度は12人、R6年度は8人が接種している。事業実施の継続により、接種率の向上を図り、発症時のまん延を防ぐ。	麻しん及び風しんの届出数の増加がみられる昨今で、感染拡大防止につながる予防接種の役割は重要である。麻しん風しん混合ワクチン95%を達成することで、集団内の流行を抑制し、まん延防止につながるので、今後も継続して接種勧奨を行っていく。個別通知と合わせて電話での接種勧奨をしているが、不在や留守電等連絡が取れないことがあるので、今後そのような方へどうアプローチしていくのが課題であり、引き続き接種率100%に近づけるよう努力していく。	【令和6年度】 2,246,685円
門真市	妊婦歯科健診事業	R6・R7	妊娠中に歯の健康を守り、歯周疾患を予防することは、妊婦の健康管理のためにも重要であり、また早産や低体重児出生のリスク軽減及び出生後の子どもの虫歯の発生予防にもつながることを踏まえるとともに、妊娠中の歯科健診にかかる費用助成により経済的負担の軽減を図る。	妊娠中の歯科健診受診率の向上を図ることにより、健康管理に対する意識の醸成を促すとともに、生まれてくる子どもの虫歯の発生予防にもつなげた。	平成29年度からの事業開始以来、徐々に受診者の増加が見られるようになった。妊娠届出時の全数面接において、妊婦健診受診の必要性とともに、歯科健診の重要性も併せて周知するなど、引き続き受診率の向上に努める。	【令和6年度】 1,398,120円 【令和7年度】 1,231,405円
門真市	ブックスタート事業	R6・R7	市域に在住するすべての赤ちゃんに、4か月児健康診査の機会において、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動で、行政と市民が協働する事業。	絵本を使って赤ちゃんと保護者が触れ合い、楽しくあたたかい時間を持つきっかけとなり、親子で一緒に楽しむことの大切さを広めた。	ブックスタートに関心を示されない保護者もいることから、関係団体の協力を得て絵本の読み聞かせイベントなどを図書館で行い、本の楽しさに触れる機会の充実を図り、親子で一緒に楽しむことの大切さを広めていく。	【令和6年度】 466,997円 【令和7年度】 500,982円
門真市	成人用MR予防接種助成事業	R7	妊娠を希望する女性及びその配偶者と妊娠している女性の配偶者を対象に、MR予防接種の費用を助成する（抗体検査は不要）。	【令和7年度接種者】 MR（女性）35人、MR（男性）8人、風しん（女性）3人、風しん（男性）3人	医療機関にポスター掲示等を依頼し、市民周知を行った。接種者数は目標値を下回ったが、事業実施の継続により、市内接種者数を増加し、先天性風しん症候群の発生を防いでいく。	【令和7年度】 344,667円
門真市	HPV予防接種助成事業及び予防接種個別案内通知事業	R7	HPVの当該年度対象者に接種勧奨を強化するとともに、定期接種の未接種者に対しては、適切な時期に個別通知を行い、個人の負担を軽減することで接種しやすい環境を整備し、HPV感染を防ぐとともに、子宮頸がんの発症及び死亡の減少を図る。また、平成9年から平成21年生まれ的女子で、キャッチアップ接種期間中の3年間の間に1回接種している者については、接種期間が令和8年3月31日まで延長されたことから、再度、接種勧奨を行うものとする。次に予防接種個別案内通知事業については、本市において実施している定期予防接種の対象者に個別通知を行い、予防接種の種類、期日、期間及び場所等を周知し、予防接種率の向上を図る。	個別通知や広報などを通じて、HPVワクチンの接種率の向上を図ることにより、HPVの感染及び持続感染を防ぎ、子宮頸がんの発症及び死亡の減少を図る。	HPVワクチンの接種率については、他のワクチンと比較すると低調である。HPVワクチンの積極的接種勧奨の控えやメディアによる負のイメージも少なからず影響していると考えられる。接種勧奨通知の内容や用紙の色、封筒などにHPVワクチンの接種勧奨通知であることを明記するなどし、また、適切な時期にHPVワクチンの個別勧奨を行い、特に高1の未接種者に対しては、定期接種期限内に接種できるよう、年度の当初に送付し、引き続き接種率の向上に努めていく。	【令和7年度】 1,160,781円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
摂津市	障害児相談支援事業	R6・R7	①生活支援・相談支援(ケアマネジメントの実施等) ②情報提供・周知及び啓発(講演会の開催等) ③関係諸団体との連携(社会福祉協議会との連携等) ④児童虐待に係る未然防止、早期発見及び迅速な対応への協力	すべての相談に対して、支援方針を示し、必要なサービスへの案内を行うことができた。	すべての相談に対して、支援方針を示すことができた。 今後も発達に課題のある児童への支援を継続する。	【令和6年度】 10,638,206円 【令和7年度】 12,116,974円
摂津市	子育て支援コーディネーター事業	R6	こども家庭相談課内に子育て支援コーディネーターを配置し、育児に関する不安と問題などを抱えている世帯を親子教室などの支援策に繋ぎ、養育支援訪問事業などの育児フォロー事業との連携を図る。	育児に関する不安や問題などを抱えている世帯について、コーディネーターが丁寧に保護者の不安を聞き取り、支援策に繋ぐことができた。	今後も引き続き、不安を抱えている世帯をきめ細やかに支援していく必要があると考える。	【令和6年度】 1,504,370円
摂津市	英語教育推進事業	R6	小学校の外国語(英語)教育の充実のため、外国語活動支援員を市内小学校へ派遣する。外国語活動支援員が外国語及び外国語活動の授業について、各校の授業担当者へ助言を行う。コミュニケーションを行う目的や場面、状況等の設定を明確にするとともに、4技能5領域のバランスのとれた授業を展開する等、市内各校の教育内容の標準化を図る。	市内全児童を対象としたアンケート結果において、5・6年生の「英語を話せるようになりたい」という項目への肯定的回答率が88.2%であった。	外国語及び外国語活動の授業において、外国語活動支援員が補助的役割を担い、英語を用いた指導についての模範等を示すことで、児童の関心・意欲が高まる授業が展開できた。ICTを効果的に活用した授業実践や好事例を市内教職員へ拡充するとともに、言語活動の充実を図る授業改善に引き続き注力していく。	【令和6年度】 609,000円
摂津市	学力向上推進事業	R6・R7	全国学力・学習状況調査より、本市の児童生徒の課題として家庭での学習時間の短さ、学習習慣の未定着などが挙げられる。本事業は基礎的・基本的な学習内容が定着していない児童生徒を対象に学習塾(「摂津SUNSUN塾」)を開催し、学力向上をめざすとともに、家庭での学習時間の増加、家庭学習での学習習慣の定着を図る。	事後テストの平均正答率において、中学生の全学年で入塾時(7月)のスコアを上回った。 特に中学3年生は当初から大きく得点を伸ばしたほか、令和7年度においては、中学1年生・2年生については、昨年度の最終実績をも超える良好な成果をあげた。	継続して実施予定である。	【令和6年度】 22,102,300円 【令和7年度】 19,356,700円
摂津市	学習サポーター派遣事業	R6・R7	退職教職員や地域人材、学生などで構成する、学習サポーターを各小中学校へ派遣し、授業中や放課後、長期休業期間を含め、学校における児童生徒の学習を支援する。	学習サポーター派遣事業と学力向上支援事業を統合して以降、支援人材をより活用しやすくなった。 特に、支援が必要な児童・生徒の学校生活全般において、学習サポーターの存在が大きくなっており、状況に応じた適切な人員配置が不可欠である。	子どもの学習意欲の向上及び心理的な面においてサポートができ、学校生活の一助となっている一方で、学校から支援人材や活用時数の増加を希望する声があり、安定した人員確保が課題となっている。学校メールの活用や大学との連携など、さらなる募集策を講じていく。	【令和6年度】 11,777,000円 【令和7年度】 12,783,000円
摂津市	学校教育相談員配置事業	R6・R7	いじめ、不登校、暴力行為等の様々な学校現場の課題に対応するにあたり、学校OB(管理職)の職員を配置する。学校からの相談・報告に対応し、適宜、学校訪問を実施するなどして生徒指導体制の強化を図る。	日々の学校からの相談・報告への対応に加え、機を捉えた学校訪問を実施した結果、学校および児童生徒の課題解決を後押しすることができた。	不登校をはじめ様々な学校現場の課題に対応するため、今後も引き続き、学校教育相談員を配置していく。	【令和6年度】 3,593,713円 【令和7年度】 3,815,188円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額（円） （一般財源等含む）
摂津市	小中学校就学援助事業	R6・R7	経済的理由により、義務教育の就学が困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、子どもの教育を受ける権利を保障するために実施している。 就学援助の費目の内訳としては、学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、医療費などとしているが、平成24年からこれらに加え、国の基準よりも手厚い支援を行うため、PTA会費（小学校・中学校）と生徒会費（中学校）を新たに追加し、25年度には支給金額を約2倍に増額して制度を拡充した。	経済的理由により、義務教育の就学が困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。	引き続き、子どもが安心して学校生活を送れるよう、経済的に厳しい家庭の保護者の負担を軽減する。	【令和6年度】 4,490,730円 【令和7年度】 3,686,250円
摂津市	3歳6か月児健康診査・歯科健康診査事業	R6・R7	3歳児健康診査は母子保健法に規定されており、当市では3歳6か月児を対象に一般健康診査及び歯科健康診査を実施している。また、当該法定健診に加え、医師による児の聴覚健診や専門職による育児相談、栄養相談及び歯科保健指導を実施し、児の健康診査とともに保護者の心身の健康を確認し、適切な保健指導及び育児支援を行うことにより、児の健全な育成を図れるよう、実施体制を整える。	3歳児健康診査の受診率は、令和6年度は97.2%、令和7年度は95.8%となっている。未受診者へは受診勧奨を継続して行い、疾病や発達障害の早期発見については医師等のスタッフと連携を取りながら多様化している保護者の相談に充分対応できるよう体制を整えた。	法定健診である1歳6か月児、3歳6か月児のほか、4か月児健診、2歳6か月児歯科健診を行い、乳幼児の発育状況の確認を行う。 児と保護者が安心して受診できる体制づくりを行うとともに、引き続き受診率の維持をめざす。	【令和6年度】 3,288,934円 【令和7年度】 3,515,838円
摂津市	地域子育て支援保育士事業	R6・R7	民間保育所等に対して、園庭開放や親子教室、子育て相談、地域交流事業を実施する際に係る人件費の一部を補助することにより、地域の子育て家庭が抱える子育てへの不安の解消や子育て中の親と子の遊びと交流を支援する。	子育てに関する不安や負担感の軽減・解消が図れた。	引き続き、民間保育所等への支援を実施することで、地域における子育て支援の充実に寄与する。	【令和6年度】 13,455,900円 【令和7年度】 11,506,400円
摂津市	妊婦歯科健康診査事業	R6・R7	妊娠中に悪化しやすい歯肉炎やう触を、予防・改善すること。 また、早期発見や治療開始に繋げることで、歯肉炎やう触の進行によりリスクの高まる、早産や低出生体重児の減少につなげることを目的とする。 妊娠届を提出した妊婦が、妊娠期間中1人1回のみ、市内受託医療機関で歯科健診を受診できる。	母子健康手帳の交付時に保健師、助産士の専門職による全数面接を実施した。	受診率向上のため、対面による勧奨に加え、対象者にはがきを送付するなど受診勧奨を検討する。	【令和6年度】 2,085,440円 【令和7年度】 1,926,536円
摂津市	不育症治療費助成事業	R6・R7	不育症治療を受けた夫婦に対し、不育症治療を受けた夫婦の経済的及び精神的負担を軽減することを目的に国内の医療機関で受けた、医療保険適用対象外の不育症治療費に係る費用の一部を助成する。	不育症治療を受けた夫婦に対し、経済的及び精神的負担を軽減した。	今後も継続して周知を行うとともに、医療機関等に情報提供を実施することにより、関係機関との協力・連携の強化を図り、当該事業の利用者を増やしていく。	【令和6年度】 366,000円 【令和7年度】 0円
摂津市	離乳食講習会事業	R7	こどもが基本的な生活習慣を身につけるため、乳幼児期から家庭での適切な食習慣の習得及び不安解消を目的とし、保護者に対して前期離乳食講習会及び後期離乳食講習会を実施する。	乳幼児期から家庭での適切な食習慣の習得を図り、保護者に対し育児不安解消を行った。	参加者数を勘案し、後期離乳食講習会の実施回数について、検討を行う。	【令和7年度】 651,382円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
高石市	障がい児保育事業	R6・R7	私立認定こども園9園の2号、3号認定の障がい児を受け入れ保育する園を対象として、児童に対する補助以外にフリー保育士1名を配置できるよう補助金を加算することで障がい児の受入環境を整える。公立保育所だけでなく、私立認定こども園でも実施することで、市内全園で障がい児の受け入れを行うことで、地域格差を無くし、保護者の選択肢を増やすことにもつなげる。 また、高石市障がい児保育実施要綱に基づき、概ね4歳以上で集団保育が必要な児童についても公立・私立問わず受け入れる。	各園において人員配置を行うことができた。	今後も引き続き障がい児の受け入れ体制を確立するため、補助事業を継続していく。	【令和6年度】 15,480,000円 【令和7年度】 24,768,000円
高石市	保育所等児童健診補助事業	R6・R7	私立保育所等において、既定の健康診断内科健診・歯科健診に加えて、公立保育所と同様の耳鼻科健診・眼科健診を実施するにあたり、健診事業委託料(嘱託医報酬)経費を私立保育所等に対して補助する。	眼科・耳鼻咽喉科の健診による病症の早期発見により、プール行事等による症状悪化の発生件数の減少を図り、市内保育所等の保育の充実・均一化を図った。	多くの園で実施することができ、保護者満足度も高い状況にあるが、引き続き全園での実施をめざしていく。	【令和6年度】 1,141,000円 【令和7年度】 1,141,000円
高石市	1歳クラス保育士配置基準補助事業	R6	私立保育所等において、1歳児クラスの職員の配置について、公立保育所と同様の配置基準(5対1)にするための保育士を配置するために必要な経費を私立保育所等に対して補助する。 この事業により、育児休業明けの保護者がより一層安心して子どもを預けることができるようになり、施設間格差がなくなる。	市内の私立施設8園で実施し、市内保育所等の保育の充実・均一化を図った。	市内の民立施設全9園で1歳児クラスの配置基準5対1の実施をめざしていく。	【令和6年度】 3,500,000円
高石市	食育の推進事業	R6・R7	食を取り巻く環境が大きく変化する中、妊娠期から乳幼児期及び学童期における食に関する課題を解決するため、食に関する学習の機会や情報提供を行う。 妊婦教室:年4回、離乳食教室:年12回、幼児対象教室:年1回、学童対象教室:年2回	妊娠期から乳幼児期及び学童期における食育推進事業の充実を図ることができた。	今後も教室の参加者を増やす等、引き続き食育の推進に努める。	【令和6年度】 279,945円 【令和7年度】 171,389円
高石市	妊産婦歯科健康診査事業	R6・R7	妊娠中はホルモンバランスの変化やつわりなどにより嗜好の変化や歯磨きの困難などがあり、歯肉炎や虫歯になりやすい状態にある。また、妊婦自身が歯肉炎や虫歯の初期症状に気づきにくいことも多い。そのため、出産後1年までの間に歯科健康診査1回分を公費負担し、妊産婦の虫歯や歯周病予防に努める。	受診率は、令和5年度35.6%、令和6年度34.2%、令和7年度36.4%となっており、妊産婦の虫歯や歯周病予防に効果が認められていると考える。	今後も本事業の周知、受診勧奨、妊娠中の歯の健康に関する啓発に努める。	【令和6年度】 569,900円 【令和7年度】 568,139円
高石市	紙おむつ処分費補助事業	R6・R7	私立認定こども園9園の使用済みの紙おむつを園で処分する際に必要な経費を補助する。新型コロナウイルス感染症の拡大防止を含めた衛生面の改善、保護者及び保育士の負担軽減を図るため、保護者が持ち帰って処分していた使用済み紙おむつを令和4年6月から公立保育所では施設で処分することを始めるにあたり、市内の全保育施設での実施を推進するため必要な経費を補助する。市内全園で実施することにより、市内の施設に通う全保護者の負担軽減を図り、少しでも子どもを産んで育てやすい環境を整える。	市内の私立施設全9園で使用済み紙おむつを施設で処分を行い、感染症の拡大防止を含めた衛生面の改善、保護者の負担を軽減できた。	今後も引き続き、当該事業を継続していく。	【令和6年度】 2,015,400円 【令和7年度】 1,718,100円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額（円） （一般財源等含む）
藤井寺市	発達障がい児療育支援事業	R6	発達障がい児については増加傾向にあるため、二次障がいの予防、早期発見を図ることを目的に、大阪府発達障がい児療育拠点の持つ専門性の高い療育を活用し、大阪府発達障がい児療育拠点において、個々の特性に応じた個別プログラムによる専門療育が円滑に実施されるよう、利用者数に応じた費用負担を行う。	発達障害児に対する専門性の高い療育を提供することができた。	引き続き、継続利用に繋がるよう広報等の周知活動を行う必要がある。	【令和6年度】 170,000円
藤井寺市	親子教室事業（カンガルー教室）	R6	簡単な制作遊びや親子で一緒にできる手遊び等の交流を通して子どもとの関わりを知り、保育士や心理相談員等のスタッフが保護者と一緒に考えて、子どもへの理解を深めてより良い関係を築き、親子ともに豊かなちからを育てていけるように支援する。 また、子どもの発達の程度に応じて、12回コース（3回/月）と8回コース（2回/月）の2つのクラスに分け、各クラスの子どもに合った手遊びや制作遊びを設定し子どもの発達を促すとともに、子どもの進路で悩んでいる保護者には専門的な視点から助言し、親子にとって最善な進路を選べるように支援する。	事業を利用した家庭に対しては、専門的な助言による親支援と、遊びを通じた発達支援の場を提供し、より適切な支援や進路の選択に繋いでいくことができた。	必要な家庭に事業が案内されるよう、情報提供方法についての検討が必要。	【令和6年度】 1,297,702円
藤井寺市	保育の質向上推進支援事業	R6・R7	市内の保育所、認定こども園及び幼稚園における幼児教育・保育の質向上のため、保育教諭、保育士、幼稚園教諭に対しての研修を実施する。学識経験者を活用し、集合研修、保育所・幼稚園・こども園での園内研修を行う。	多様なニーズに応え、質の高い幼児教育・保育を提供できる保育教諭、保育士、幼稚園教諭を育成する研修を行い、市内幼児教育・保育の質向上が図れた。	次年度以降も研修を続けていく。	【令和6年度】 540,000円 【令和7年度】 570,000円
藤井寺市	登降園等補助業務	R6・R7	幼保連携型認定こども園の園児の登降園時における安全確保のため、送迎の混雑する時間帯において門扉電子錠の開閉補助や送迎の見守りをシルバー人材センターに委託した。	登降園時の安全確保ができた。	今後も園児の安全確保のため実施する。	【令和6年度】 1,191,672円 【令和7年度】 1,242,912円
藤井寺市	障害児障害者ふれあい支援事業	R6・R7	障害児に対し、他者との交流の機会を提供し、介護者の介護負担の軽減を図る。市民総合会館別館3階で実施し、木曜及び年末年始以外を開所日として、10時～20時まで開所。（夏休み等に関しては、9時～20時まで）希望者には、送迎を実施。 また、地域住民との交流会を年1回実施。	障害児に機会の提供を行うことで、他者との交流を増やすことができた。 発達検査については増加の傾向にあり、ニーズに応えられた。	児童の利用者数の低減、利用者の減少傾向が課題である。一方で発達検査については増加の傾向にあった。今後の対応としては、事業周知を行うこと、また支援の幅を広げることで利用者数の増加を目指していくことを検討している。	【令和6年度】 10,032,000円 【令和7年度】 10,243,198円
藤井寺市	みんなで育てる花いっぱいプロジェクト	R6・R7	プラグ苗を地域の小学生がポット苗へ植え替え、1カ月程度学校内で育てた後、プランターへの植え替えを小学生と地域の方が一緒に実施する。駅前通り等にプランターを並べ、小学生から地域の方に水やり等の管理を引き継いで育てていただく。	小学生が育てた花苗を駅前等の公共空間の緑化に利用することを通して、地域の方と子どもたちとの交流と植物に対する愛着の心を育てた。	プランター設置後の維持管理及び地域の方々への協力依頼が課題と考えている。 今後も引き続き、見回りと協力依頼を継続していく。	【令和6年度】 159,362円 【令和7年度】 164,682円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
藤井寺市	親子発達相談支援教室事業	R7	言葉の遅れ、落ち着きのなさ、友達との関わり方など、子どもの発達について心配事がある保護者とその子どもを対象に、親子で一緒にできる手遊びや制作遊び等を通して子どもの発達を促すとともに、保護者にも子どもとの関わり方を知ってもらう。 また、心理発達相談員や保育士、養育支援事業推進員等の専門的な知識をもつスタッフを複数名配置することで、保護者の抱える心配事に対しての相談対応を行う。	子どもの発達が気になっていたり、子どもとの関わりが分からないといった不安など、子育て中の保護者の抱える心配ごとに対しての相談支援体制を確保できた。	教室への入室希望者が年々増加しているため、希望者全員を受け入れられるよう、さらなる体制の充実を図る必要がある。	【令和7年度】 9,046,656円
藤井寺市	子育て家庭支援対策事業	R7	世代間交流・郷土文化伝承・異年齢児交流・食育推進・子育て相談・園庭開放等、多様な取組を行う民間保育施設に対し、実施に必要な経費の補助を行う。	民間保育施設で多様な取組を実施することに対して補助を行うことにより、子育て家庭の多様なニーズに応え、また、子どもたちの豊かな成長を促す一助となった。	引き続き補助を行う。	【令和7年度】 1,847,178円
藤井寺市	就学援助事業	R7	経済的な理由によって就学が困難と認められる小中学生の保護者に対して、学用品費の一部や給食費等の必要な援助を行う。 支給費目として学用品費、通学用品費、給食費、校外活動費、修学旅行費、医療費、小学校入学準備金、中学校入学準備金があるが、令和3年度よりタブレットを用いた自宅学習に対応するため、オンライン学習通信費を新たに設置し、制度を拡充した。	就学援助を必要とする児童生徒に行き渡るよう周知に努めた結果、受給率を上げることができた。	引き続き、就学援助の対象となる児童生徒へ行き渡るよう周知を行うとともに、分かりやすい案内を行うことに努める。	【令和7年度】 4,043,500円
藤井寺市	乳幼児口腔衛生管理業務事業	R6・R7	1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児歯科健康診査受診者全員に、市内の委託歯科医療機関において歯科保健指導、フッ素塗布を受けることができる無料受診券を送付し、う蝕等の歯科疾患の予防を図る。	歯科保健指導、フッ素塗布を行うことによって、う蝕等の歯科疾患の予防が図れた。	今後、より一層啓発を行い、受診率の向上を図り、さらにう蝕等の予防を図る。	【令和6年度】 1,564,200円 【令和7年度】 1,697,850円
藤井寺市	子育て応援ヘルパー事業	R6・R7	産後の母親等が、家事又は育児を行うことが困難で家族等の家事等の協力が得られない場合に、その家事又は育児を支援する者を派遣することにより、産後の母親等及び乳児の生活の安定を図ることを目的とする。 生後1年未満の乳児を育てている養育者で、家族等の家事又は育児の協力が得られない方に対し、家事支援や育児支援を提供することで、養育者の精神的な安定や休息時間の確保を図るとともに、乳児にとってより安定した養育環境が整えられると期待する。	利用時間数の拡充、ヘルパー派遣事業者の増加などにより、利用者の選択肢が拡充したことで、より多くの利用に繋げることができた。	今後は、利用者と事業者のマッチングなど、利用者の意向に沿った円滑な事業推進体制の確保が必要である。	【令和6年度】 188,470円 【令和7年度】 451,723円
藤井寺市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊娠中は体調や生活習慣の変化で、歯周疾患に罹患しやすくなるため、歯科健康診査を行い、予防や早期発見・早期治療を図る。	妊娠中は体調や生活習慣の変化で、歯周疾患に罹患しやすくなるため、歯科健康診査を行い、予防や早期発見・早期治療を図ることができた。	今後は、妊娠中の歯科健康診査の重要性を今以上に啓発し、受診率の向上を目指し、歯周疾患の予防等を図る。	【令和6年度】 897,600円 【令和7年度】 871,200円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
泉南市	家庭支援推進保育所事業	R6・R7	家庭環境に配慮を要する入所児童及びその家庭に対する支援事業 ・家庭支援推進保育士による家庭訪問、支援を必要とする家庭への対応、育児相談 ・保育環境の整備、保護者対象の支援活動を企画・実施し保護者の実態と課題を把握、担任保育士と連携して支援を提供する 在宅の子育て家庭に対する支援活動 ・所庭開放の実施、市や地域主催の子育て支援事業への参加、在宅家庭への訪問・育児相談・地域での出前保育の実施、関係機関との連携 配置保育士 2名	関係機関(子育て支援センター・地域サロン)連携をおおむね月1回以上行った。 地域の関係機関と連携しながら事業を共催し情報を共有しながら支援につなげることができた。	相談業務については、家庭の抱えている問題が複雑化・多様化の傾向にあり、専門的な知識や関わりが求められていることが課題である。そのためにも、関係機関の連携強化及び支援者の資質の向上や共通した支援の提供と情報収集をするとともに、保護者のニーズに即した支援を提供する。	【令和6年度】 6,423,286円 【令和7年度】 8,623,536円
泉南市	障害児相談支援事業	R6・R7	泉南市子ども総合支援センターにおいて、障害児や発達に課題のある子どもを対象に、適切な助言や支援を行う。 ① 子どもの発達に関する発達相談員等による相談(発達相談)の実施 ② 公認心理士等の心理職等による発達検査の実施	・発達相談については、電話、面談など継続しての相談ケースが半数だった。発達検査については、行動観察や相談にて関係機関とも連携し、検査をとらずとも支援につながったケースもあった。	・未就学園、小学校、中学校等、子どもや保護者と関わりのある機関と連携し相談、検査につながることで教職員や保護者の発達理解や支援につなげる。	【令和6年度】 5,685,380円 【令和7年度】 6,353,636円
泉南市	障害児通所支援事業	R6	国補助制度(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく補装具費の支給)及び大阪府難聴児補聴器交付事業の対象とならない軽度の難聴児に対しての支援を実施することにより、軽度難聴児の言語及び生活適応訓練を促進する。	補聴器が必要な軽度難聴児への補聴器交付を実施することにより、軽度難聴児の言語及び生活適応訓練の促進につながった。	今後も継続して実施。	【令和6年度】 57,364円
泉南市	子ども遊び広場事業	R6・R7	(R6・R7とも)未来を担う子どもたちを健やかに育むために学校・家庭・地域・行政が連携協力し、地域住民等の参画による教育支援活動を支援・提供するとともに、それらの活動を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育む。 さらに、地域社会全体の教育力向上を図り、地域の教育コミュニティの活性化を推進する。 上記目的に向けて、長期休業中等の学校休業日や放課後の子どもたちの居場所を確保し、その居場所の中で多様な経験・体験ができるよう下記取組を行う。また、本事業の周知や参加を通して、常設型の居場所事業へつなげる。 ・青少年センター、図書館、埋蔵文化財センター、人権国際教育課による出前居場所づくり事業 ・就学前児童の居場所事業 ・青少年センター、市民交流センターでの常設型居場所事業	(R6) 市内全10小学校で実施:対象児童2771中延べ参加人数177人 出前保育事業44回実施、延べ365人参加 常設型居場所2か所開設延べ578日開設延べ13079人参加 (R7) 市内全10小学校で実施:対象児童2615中延べ参加人数215人 出前保育事業26回実施、延べ378人参加 常設型居場所2か所開設延べ575日開設延べ13349人参加	(R6・R7とも)市内在住の全ての小中学生が一人でも安全で安心な居場所に参加できるよう、全ての小学校区にて実施場所を小学校とした。参加者の96%が楽しかったと肯定的なアンケート結果だった。また就学前児童の居場所事業として安全安心な遊び場の提供を行うと共に、ボランティアにより絵本の読み聞かせや貸出も行い、絵本による遊びを通した良好な親子関係の構築を推進した。常設型居場所は2か所開設し、安全で安心な居場所として機能した。 今後も継続して、来館者・利用者とは、傾聴・共感の姿勢で関わり、心理的安全性に満ちた環境を構築し、安全で安心な居場所事業を実施する。	【令和6年度】 2,090,630円 【令和7年度】 1,687,776円
泉南市	難聴児補聴器購入等助成事業	R7	国補助制度(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく補装具費の支給)及び大阪府難聴児補聴器交付事業の対象とならない軽度の難聴児に対しての支援を実施することにより、軽度難聴児の言語及び生活適応訓練を促進する。	補聴器が必要な軽度難聴児への補聴器交付を実施することにより、軽度難聴児の言語及び生活適応訓練の促進につながった。	今後も継続して実施。	【令和7年度】 250,644円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
泉南市	ブックスタート事業	R6・R7	あかちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを実施し、家庭で絵本を介して心ふれあうきっかけをつくる子育て支援事業。保健センターの4か月児健診に、関係機関や市民ボランティアが協力し、絵本やガイドブック、市内の子育て情報パンフレットを手渡す。またボランティアの養成講座を実施。	絵本の楽しさや市内の子育て機関等の情報を伝えることができ、図書館や地域子育て支援センター等へ出かけるきっかけ作りとなった。	すべてのあかちゃんと保護者に支援が充分届けられるよう事業の継続と地域の市民ボランティアとの協力が課題。今後も関係機関の幅広い協力を得て子育て支援のさらなる充実を図る。	【令和6年度】 300,000円 【令和7年度】 299,990円
泉南市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	・つわりやホルモンの変化により口腔の清潔が保ちにくく、う歯や歯肉炎になりやすい妊娠時に「妊婦歯科健康診査受診券」を交付し、歯科健康診査受診のための費用を負担することで、妊婦の歯の健康保持を支援する。	・妊産婦健康診査受診票と一緒に渡すことで歯科健康診査を意識してもらうことができた。	・妊婦歯科健康診査では安定期に入る16週以降を推奨しており、妊娠届け出時は週数浅く、受診につながりにくい。	【令和6年度】 484,128円 【令和7年度】 356,314円
泉南市	母子健康手帳アプリ運用	R6・R7	・妊娠期から子育て期の健診や予防接種の記録をしたり、必要な情報や知識を提供し子育てを支援する。 ・健診データをグラフ化したり、予防接種や健診の予定管理が可能で、自治体の子育て情報を積極的に発信できる基盤となるもので、災害時の復旧も可能で、多面的に子育てをサポートできる。	アプリを使用することで、携帯で気軽に健診や予防接種の管理をスムーズに行え、把握することができた。	健診や予防接種管理のみでなく、泉南市の子育てに関する情報提供のツールとして活用し、子育て世帯への支援につながるよう、引き続き周知に努める。	【令和6年度】 660,000円 【令和7年度】 660,000円
泉南市	不妊不育治療費助成事業	R7	不妊症及び不育症のために子どもに恵まれない夫婦等に対し、不妊及び不育の治療および検査に要する費用の一部を助成することにより、当該夫婦等の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境の確保を図る。	当事業に関する認知度も上がり、助成件数は年々増加傾向。医療機関とも連携していることから、治療後勧奨を行い申請する流れもできている。	・年度末の申請が多く、申請漏れのないよう引き続き周知をしていく。 ・妊娠に至っても流産するケースもあり、フォローの場の把握・情報提供、また地区担当保健師とのつながり等を強化する。	【令和7年度】 1,945,500円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
四條畷市	子育て支援保育士事業	R6・R7	地域の保育所等と関係機関が連携し、各保育所等の蓄積された子どもの育ちや子育てに関する知識、技術等を活かし、地域の子育て家庭に還元する。具体的には、相談、指導、助言等を行い、子育て家庭が抱える子育てへの不安の解消や負担の軽減等を図ることにより、地域における子育て支援機能を充実する。	実施した2園は、園庭の解放や地域交流会、子育て相談の実施など、地位系における支援機能の充実に関与できた。	周知を努め、対象園を増加させていく。	【令和6年度】 2,992,000円 【令和7年度】 3,119,815円
四條畷市	保育特別対策事業	R6・R7	本市では、民間保育園等の入所選考にあたり、年度途中の育児休業明け保育を希望する児童(主に未出生児、0歳児が対象)の内定枠を設けており、それに対応するため、運営費交付基準に定める職員数を超えて配置する保育士の人件費に補助を実施している。年度当初から対象児の保育が開始されるまでの間の補助を実施し、もって育休明けの保護者の円滑な職場復帰につなげる。	育休明けの保護者の円滑な職場復活に寄与している。	今後も実施個書数を10園として努めていく。	【令和6年度】 6,820,000円 【令和7年度】 7,975,000円
四條畷市	ファミリーサポートセンター利用支援事業	R7	母子家庭の母及び父子家庭の父が就活、就業、就学や疾病等により、ファミリーサポートセンター事業を利用する場合に、1時間あたりの利用料を半額に減免し、ファミリー・サポート・センターの利用を促進し、保護者の就労等に対する支援、育児負担の軽減及び経済的負担の軽減を図る。	母子家庭の母のファミリー・サポート・センターの利用を促進し、就労等に対する支援、育児負担の軽減及び経済的負担の軽減に寄与することができた。	昨年度から引き続き利用されている方に加え、新たにひとり親となられた方の利用に繋がり、保護者の就労等に対する支援、育児負担の軽減及び経済的負担の軽減に寄与することができたと考える。今後もひとり親の依頼会員に周知を行い、利用を促進していく。	【令和7年度】 50,630円
四條畷市	不育症治療助成	R7	不育症で悩まれている方を適切な治療及び出産につなげ、不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るために、保険適用されている不育症に関する治療を保険診療として実施している医療機関において実施した保険適用対象外の検査・治療(混合治療は除く)に要した金額の一部を助成する。	不育症の治療にかかる経済的負担の軽減を図るために、保険適用対象外の検査・治療に要した金額の一部を助成するものであるが、対象者はいなかった。	妊娠期、出産時、新生児期および乳幼児期を通じて、子どもや母親、保護者の健康が確保するため、妊婦健康診査、乳幼児健診等において、不育症に悩む方の早期発見に努める。	【令和7年度】 0円
四條畷市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	第3期四條畷市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てしやすいまちづくりをめざして、妊婦の心身の安定や、出生後の子どもの歯の健康保持を進めるため、妊婦の方に歯科医師が歯の状況、歯周組織の状況、口腔内清掃状況などの歯科健康診査や歯科保健指導を妊娠中に1回実施する。	妊婦歯科健康診査の受診率は、R5.35.7%⇒R6.35.0%⇒R7.30.6%と減少しているが、妊婦の口腔衛生を保持することで妊婦の歯周病、虫歯を予防するとともに、乳児の歯の健康維持につなげることに寄与している。	今後はさらに妊産婦の歯の健康保持をすすめるとともに、子育て期のニーズを把握しさらなる子育て支援を実施していく。	【令和6年度】 898,580円 【令和7年度】 822,668円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
交野市	子育てマップ作成・子育てアプリ	R6・R7	子育てマップを作成し、地域の子育て支援サービス、就学後の教育資源等の多岐に渡る情報を一元化し、子育てに関する幅広い最新情報を提供する。 乳児家庭全戸訪問事業時に配布し、個別のニーズにあった情報提供を行う。また、転入時に配布することで、子育て世帯にもれなく情報を提供する。 関係機関の支援者が冊子を常備することで、情報を必要とする子育て家庭に対して随時情報を提供する。 手軽に利用できる子育てアプリ「おりひめすこやかナビ」で、予防接種情報や子育てに必要な各種申請等、子育てに関する情報発信をする。	〈子育てマップ〉 地域の子育て支援サービス、就学後の教育資源等の多岐にわたる情報を一元化し子育てに関する幅広い最新情報を提供した。 関係機関の支援者が、子育てマップを常備することで、情報を必要とする子育て家庭に対して随時案内を行った。 〈子育てアプリ〉 手軽に利用できる子育てアプリ「おりひめすこやかナビ」で、予防接種情報や子育てに必要な各種申請等、子育てに関する情報発信を行った。	今後も引き続き新しい情報を提供できるよう子育てマップや子育てアプリを更新し内容を充実させる。 登録者数を増やすため、周知方法を検討していく。	【令和6年度】 790,132円 【令和7年度】 774,312円
交野市	子育てサークル活動支援	R6	市域で活動する子育てサークルに対して、活動場所の確保・援助を行う。 市内の既存施設の有効活用だけでなく、子育て当事者の力を発揮できるような場の提供、必要に応じた連携、育児不安の軽減につなげる。	サークル会員数を増やすため、子育てサークルに関する情報が必要な保護者に届くよう、効果的な情報発信に努めた。	子育てサークルの活動を広げ、保護者が参加しやすい環境を作る。	【令和6年度】 39,100円
交野市	子育てネットワーク事業	R6・R7	子育て支援団体等をつなぐ研修会、交流会を開催する。 子育て支援団体等が交流、情報交換、事業連携等を行うことにより、子育て中の保護者等への支援の充実を図る。	子育て支援団体が交流することで情報交換、事業連携、子育て中の保護者の支援につなげることができた。	今後も引き続き支援者交流会を実施する。	【令和6年度】 152,798円 【令和7年度】 113,110円
交野市	わくわく子育て教室	R6・R7	就学前親子を対象に、市立認定こども園において教室を開催する。 地域の親子を公募し、市立認定こども園の人的・環境的な資源を活用して計画的継続的に通年プログラムを提供することで、在宅親子の育ちを支えるとともに、地域の資源(地域の民生委員児童委員、主任児童委員、地域の認定こども園、育児相談窓口、園開放、園の地域行事等)を伝え、子育て支援を実施する。	地域の資源を活用し在宅親子の支援を実施できた。	今後も引き継ぎ事業を実施する。	【令和6年度】 122,242円 【令和7年度】 124,363円
交野市	私立認定こども園等子育て支援事業	R6・R7	私立認定こども園が施設において教育・保育や療育を通じて蓄積された知識や技術等を活かし、子育て世帯に対して、必要な相談、指導、助言等を行い子育てへの不安の解消や負担の軽減等を図ることにより、子育て支援の充実を図ることを目的とする。 事業内容としては、園庭開放や親子体操、一日動物園等の実施	私立認定こども園において、子育て世帯に対して、子育ての不安の解消や負担を軽減等を図る事業を行い、子育て支援の充実を図ることができた。	今後も引き継ぎ事業を実施する。	【令和6年度】 1,730,000円 【令和7年度】 1,993,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
交野市	障がい児保育補助金事業	R6・R7	私立認定こども園等の障がい児を担当する職員の人件費を私立認定こども園等に補助し、配慮が必要な子どもに対して必要な教育・保育を提供できる対応を整えることを目的とする。 ※障がい児保育に係る経費については、地方交付税により措置されていますが、加配保育士の配置については概ね障がい児2名に対し、保育士1名が標準となっています。本市では、障がいの程度や職員の配置上1対1の配置も実施しています。 また、地方交付税措置のない幼稚園型認定こども園に対しても障がい児保育に対する加配保育士の補助を実施しています。 以上のことから、交付税措置の基準を超える部分について、交付金の請求を行う。	多くの園において2:1を超える加配配置が実施された。	今後も引き続き補助を実施し、園における加配配置の充実を図る。	【令和6年度】 32,897,250円 【令和7年度】 26,968,000円
交野市	保育環境の整備	R6・R7	認定こども園の老朽化により、天井の修繕、軒天補修、扇風機の購入等を行い、子どもが快適で安全に過ごせるように環境の整備を行う。	雨漏修繕、厨房扉取替、園庭フェンス張替等の環境整備を行った。	今後も引き続き整備を実施する。	【令和6年度】 2,017,400円 【令和7年度】 5,353,942円
交野市	私立幼稚園子育て支援事業	R6・R7	私立幼稚園において、保育や療育を通じて蓄積された知識や技術等を活かし、子育て世帯に対して必要な相談・指導・助言を行う。	保育や療育を通じて蓄積された知識や技術等を活かして子育て世帯に対して必要な相談・指導・助言を行った。	今後も引き続き事業を実施する。	【令和6年度】 800,000円 【令和7年度】 600,000円
交野市	認定こども園等研修費補助金	R6・R7	市内認定こども園等に研修費補助金を交付することにより、各種研修会への参加を促し、安心して子どもを預けられる認定こども園等を目指すとともに、就学前教育や幼児期の学校教育・保育の質の向上を目指すことが事業目的である。	R6年度297名、R7年度174名に対して補助を実施した。	今後も引き続き補助を実施し、保育人材の確保等に努める。	【令和6年度】 2,262,700円 【令和7年度】 1,666,900円
交野市	自然保育推進事業	R6・R7	保育施設において豊かな山地自然を活用した自然体験活動に対して交付金を交付することにより、子どもたちが自然に触れ、体験する機会を増やすことで、子どもが本来持つ自ら学び成長する力、豊かな感性を醸成する等、市内保育施設における教育・保育の質の向上を図ることを目的とする。	目標値を達成できなかったが、子どもたちが自然に触れ、体験する機会を増やす上で一定の効果はあった。	今後も引き続き事業を実施する。	【令和6年度】 1,859,000円 【令和7年度】 2,046,000円
交野市	待機児童緊急対策事業	R6	認定こども園等において、保育士人材の不足等で定員おりの児童受入ができないことがあるため、保育士人材の確保など保育体制整備し、定員が満たされるよう積極的に児童を受け入れる認定こども園及び保育所に対して補助を実施し、待機児童の解消を図る。	定員が満たされるよう保育士人材の確保等の保育体制整備のための補助を行い、待機児童の解消を図った。	今後も引き続き事業を実施する。	【令和6年度】 3,600,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
交野市	かたのこどもしよくじチャレンジ	R6・R7	目的:将来の生活習慣病の予防につなげるため、幼児期から野菜を摂取することの必要性を啓発する。 親子でチャレンジに取り組むことで、子どもが野菜について興味を持ち、少しでも偏食の改善につながるよう支援し、保護者にも食に関心を持つ機会となるように伝える。 内容:家庭で2週間の間、朝食・昼食・夕食に野菜を食べられたらチャレンジカードに色をぬるか、家庭にあるシールをはる。 取り組み後に園や健康増進課へ提出し、賞状およびシールを記念品としてお渡しする。	取組後のアンケートでは、「野菜を食べるようになった」「親子で食について考えるきっかけになった」などの感想が多くあった。	今後も取り組みを継続し、食育推進に繋げていく。	【令和6年度】 156,778円 【令和7年度】 139,725円
交野市	学習支援員派遣事業	R7	市立学校に在籍する外国にルーツのある児童・生徒及び保護者に対して、円滑な学校生活の適応と学習支援を図るため、言語通訳を兼ねた学校支援員派遣する。 派遣対象の児童・生徒は、学校からの申請を踏まえ、市教育委員会で協議の上決定する。 支援員は、授業等において必要に応じて言語通訳を行うことにより、児童・生徒の理解促進を図るとともに、学校からの連絡がある場合や懇談等の場面において保護者等への言語通訳による支援を行うことで学校と保護者の円滑なコミュニケーションを促進する。	外国にルーツのある児童・生徒に対して支援員を派遣することにより、学校生活の適応及び学びを支えていくことができた。保護者への言語通訳による支援を行うことで学校と保護者の円滑なコミュニケーションを進めていくことができた。	今後も引き続き事業を実施する。	【令和7年度】 2,268,000円
交野市	園庭遊具等の購入	R7	児童発達支援センターの大型園庭遊具の老朽化により、通園児の安全の保障のため5種類の遊具を撤去。そのため、新しい遊具等を購入し、安全な環境で遊具を使っでの通園児の「バランス感覚」、「筋力」、「柔軟性」、「協応動作」、「空間認知能力」を育むもの。	児童の年齢に合った新しい遊具の導入により、安全管理のもと、児童が遊びの中で、「バランス感覚」、「筋力」、「柔軟性」、「協応動作」、「空間認知能力」を育むことができるようになり、職員の安全配慮に対する危機感も育ちつつある。	今後も、定期的に遊具点検を行い、必要時は修繕・交換を行い、安全な環境整備の確保に努めたい。	【令和7年度】 2,527,800円
交野市	ICTの取組みにかかる事業	R7	ICT導入により、児童発達支援センターにて関わる児童に関する記録(入退室・療育内容・支援計画・国保連請求等)を一元管理し、ケースの進行記録、保護者との連絡調整、職員間の情報共有など事務作業を効率化することで、職員の負担を軽減し、療育や相談支援に集中できる環境づくりと保護者へのサービス向上を図るもの。	ICT導入により、児童の入退室管理や保護者との連絡調整、記録などの一元管理による事務量の軽減と共に、児童の療育内容をタブレットにて撮影し、児童への振り返りや、評価に役立てることができた。	今後もクラウドアプリの機能を利用して、療育現場に活かせるようにしていく。	【令和7年度】 1,070,344円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
交野市	不育症治療費助成事業	R6・R7	不育症治療に係る経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ることを目的に、不育症に悩む夫婦に対し、予算の範囲内で不育症治療に要する費用の一部を助成する。 対象者：以下に掲げる要件を満たしているものとする。 (1)医療機関で治療の必要があると診断され、不育症の原因を特定するための検査又は治療を開始した日からその妊娠に関する出産、流産又は死産に伴い治療が終了（以下「治療期間」という。）していること。 (2)治療期間において、夫婦が交野市において住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第5条に規定する住民基本台帳に記載されていること。 (3)申請日及び治療期間において、法律上の婚姻をしていること。 対象となる治療：国内の医療機関で受けた不育症治療及びその治療に係る検査に要した保険適用対象外の治療とする。 助成金額：助成金の額は、治療に要した費用の額とする。 ただし、1回の治療期間につき30万円を限度とし、同一年度に複数回の助成の申請をする場合において、同一年度の申請に係る助成金の合計額は、対象者ごとに30万円を限度とする。	経済的負担の軽減及び少子化対策の充実を図れた。	不妊症と不育症を同時に行っていることがあり、基準が明確でないことが課題である。それぞれの治療とその効果を理解し、医療機関と連携しながら取り組んでいく。	【令和6年度】 420,232円 【令和7年度】 47,784円
交野市	妊産婦歯科健康診査事業	R6・R7	目的：妊娠によるホルモンバランスの変化やつわりなどで歯周病や歯のリスクが高くなることが分かっている。歯周病は痛みなく進行するため、放置していると早産や低体重児のリスクが高まることが分かっており、むし歯菌は母子感染の可能性が高く、妊産婦の口腔衛生状態を良好に保つことで子どもの歯の減少効果が期待できることから実施するものである。 内容：市内実施歯科医院での問診、口腔内診査、口腔衛生指導及び助言（費用：無料）	母親の口腔衛生状態が良くなれば子へのむし歯菌の伝播はおさえられる。近年乳幼児健診でのむし歯児は減っており、その効果が伺える。	今後も引き続き事業を実施し、受診率の向上に努める。	【令和6年度】 1,278,012円 【令和7年度】 1,331,085円
交野市	乳幼児期の子育て充実事業（就学前親学び事業）	R6・R7	乳児期に子どもが育つ土台づくりを学び、子どもの健全育成を目指す「親学び」連続講座を実施する。 家庭と地域がともに養育力を高める仕組みの構築として、既存の事業に連携して実施することにより、多様な保護者の子育てに関する不安の解消と安心して子育てができる、親の育ちを応援し、子育て環境の充実を図る。	保護者の子育てに関する不安の解消と安心して子育てができる親の育ちを応援し、子育て環境の充実を図ることができた。	今後も引き続き事業を実施する。	【令和6年度】 512,300円 【令和7年度】 486,009円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金(市町村計画枠) 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
交野市	妊産婦タクシー利用支援事業	R6・R7	【目的】令和7年度から対象を「妊婦」から「妊産婦」に拡大し、切れ目ない支援の一環として、妊産婦健診や乳幼児健診、産後ケア事業利用時等に安心して目的地に出向くことができるよう、タクシー運賃を助成し、妊産婦の精神的負担及び経済的負担の軽減を図る。また既存の子育て支援アプリを活用して電子クーポンを交付することで、利便性・サービスの向上につなげる。 【内容】 対象者:①妊娠中の方 ②産後1年未満で妊娠中に未申請の方(産後転入の方も含む) 助成額:1回の妊娠・出産期間 妊産婦の方:1人10,000円(500円×20枚) 多胎妊産婦の方:胎児1人10,000円(500円×20枚) (例)双子の場合20,000円 利用期限:①の対象者:出産予定日から1年になる前日 ②の対象者:出産日から1年になる前日 交付方法:電子クーポン又は紙クーポン	妊娠届出時の電子クーポン発行率は高く、下半期の利用は紙クーポンを上回っている。	今後も、電子クーポンの利用促進を図る。	【令和6年度】 990,000円 【令和7年度】 2,337,945円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
大阪狭山市	発達障がい児支援事業	R6・R7	発達障がい児等が円滑に日常生活や学校(園)生活が送れるように、発達障がい等のある幼児・児童とその保護者に対して、専門的な相談や療育の場を提供する。	療育児童と保護者に対して、安心感につながる療育事業を実施することができた。また、多岐にわたる保護者からの相談への丁寧な対応が実施できた。	今後も学校園と協力しながら療育事業の充実に努める。	【令和6年度】 9,899,368円 【令和7年度】 10,946,609円
大阪狭山市	子育て支援保育士事業	R6・R7	民間保育園の子育てに関する知識や技術を活かして、地域の子育て家庭に対し、子育て相談や親子教室、園庭開放、地域交流会などを行う民間保育園に、子育て支援保育事業として補助する。	地域の子育て家庭が地域との交流や、子育ての不安を相談する機会を提供しすることができた。また、子育てに関する情報提供を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。	今後も、地域の子育て家庭に対し、必要な相談・指導・助言・情報提供等を行う民間保育園との地域交流事業をより一層充実させていく。	【令和6年度】 4,800,000円 【令和7年度】 4,800,000円
大阪狭山市	認定子育てサポーター事業	R6・R7	子育てや保育の経験を有する市民等を「子育てサポーター」に認定し、認定子育てサポーターは、市内の公園など身近な地域で子育て支援活動や子育て講座を展開する。また、子育てサポーターの育成や円滑な活動を行うための指導・助言を行うコーディネーター(保育教諭)を配置する。	子育てサポーターが身近な地域で子育て支援活動に取組むことで、参加者同士が交流を図り、子育てを支援する環境づくりを進め、地域の子育て支援の充実を図ることができた。	参加者の少ない会場もあるため、参加者の増加につながるように周知方法や実施方法を検討する。	【令和6年度】 5,983,803円 【令和7年度】 6,338,739円
大阪狭山市	病後児保育事業	R6・R7	病気の回復期で保育所等に通うことができず、また、保護者の就労等で家庭での保育が困難な場合、医療機関と連携し、病後児を保育する認定こども園に病後児保育業務を委託する。	保護者の就労と子育ての両立を支援することができた。	今後も各園を通じ本事業の周知を図っていく。	【令和6年度】 618,787円 【令和7年度】 575,883円
大阪狭山市	食育推進事業	R6・R7	小学生等を対象に、野菜摂取の推進や食事マナーの啓発を図ること、また調理実習を通じて食への関心や、自分で調理する力を養うことなどを目的に、食育教室を開催した。	教室実施後のアンケート調査の結果、いずれのテーマも目標とした習得度を上回った。	今後も内容や対象者を工夫しながら継続して実施していく。	【令和6年度】 216,664円 【令和7年度】 187,113円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
阪南市	保育所環境改善事業	R6・R7	在園児に質の高い保育を提供できることを目的として、保護者との連携や情報共有に向けた保育施設内の機器等の整備、子どもたちの健やかな成長に向けた保育に資する遊具や運動用具整備、天候・気候に合わせた子どもたちへの対応のための設備の整備等を行う。	質の高い保育を提供し、子育て世帯が安心して子どもを産み育てることができる環境を整えるため、備品の購入に努めることができた。	施設の老朽化も著しい中、今後も計画的に備品等の環境整備を行っていく。	【令和6年度】 2,103,886円 【令和7年度】 1,969,101円
阪南市	保育所安全対策事業	R6・R7	保育所に通う子どもの保護者のほとんどが車を利用し送迎を行っているが、送迎時には車の通行や駐車問題を巡り近隣住民とトラブルが発生している。保護者の登・降所時の子どもや保護者の安全確保と車の通行や駐車場の混雑緩和を図るために車の通行や駐車場の誘導を行う。	子どもや保護者の登・降所時の安全が確保できるとともに近隣住民とのトラブル解消の効果があつた。	今後も子どもや保護者の安全確保と車の通行や駐車場の混雑緩和を図るために継続していく。	【令和6年度】 2,257,975円 【令和7年度】 2,379,509円
阪南市	子育て支援保育士事業	R6・R7	子育て中の親と子が身近なところで子育て支援ができるような下記事業を実施している市内民間5認定こども園に対して補助を行う。 【対象事業】①施設内外の相談・指導 ②地域交流事業 ③情報提供 ④市が行う事業への協力	計画通りの開催数を実施できなかったが、参加者を確保することができた。 児童の同年齢児との交流の場を提供し、また、親と子が地域との交流を図る場を提供することができた。その中で、子育ての情報提供も行い、親の育児不安等の解消を図ることができた。	今後も計画通りの開催数を実施できるよう努めるとともに、参加者を確保していく。	【令和6年度】 8,000,000円 【令和7年度】 8,000,000円
阪南市	子育て支援推進事業	R6・R7	地域の子育て支援事業の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行うことを目的に地域支援活動を実施する。 ・園庭開放・・・保育所(園)に行っていない子どもの遊び場の提供と交流の促進 ・育児相談・・・子育てに悩んでいる親の相談援助の実施 ・講習等・・・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施	計画通りの開催数を実施することができ、遊び場や同年齢の友達作りや、保護者の育児不安等の解消の手助けができた。	参加者の駐車場の確保ができていない状況のため、今後さらなる参加者数の増加のため駐車場の確保が課題である。	【令和6年度】 16,311,564円 【令和7年度】 19,395,351円
阪南市	不妊不育症治療助成事業	R6・R7	少子化対策の一環として、不妊症及び不育症のため子どもに恵まれない夫婦に対し、不妊治療及び不育治療に要する費用の一部を助成することにより、当該夫婦の経済的負担を軽減することで、子どもを産みやすい環境の確保を図る。	助成目標に達成しなかったが、不妊症や不育症の夫婦の経済的負担を軽減し、子どもを産みやすい環境の確保を図ることができた。	目標値には達していないため、今後も助成対象者が利用しやすくなるための制度拡充や、多くの方に助成事業を周知啓発する。	【令和6年度】 1,933,680円 【令和7年度】 1,653,250円
阪南市	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊婦の口腔内の衛生状態を健全に保ち、胎児の健全な育成を図るとともに、妊婦及び出生後の子ども歯科衛生につなげる。	助成目標に達成しなかったが、妊婦及び子どもの歯科衛生につなげることができた。	目標値には達していないため、今後も助成対象者が利用しやすくなるための制度拡充や、多くの方に助成事業を周知啓発する。	【令和6年度】 264,000円 【令和7年度】 224,000円
阪南市	妊娠・子育て世代包括支援事業	R6・R7	核家族化等によるつながりの希薄化や子育てに対する不安・孤立感を軽減し、安心して子どもを産み、育てることができる意識を醸成するため、子育てアプリを活用した啓発を行う。	目標啓発数を達成でき、妊娠している方や子育てをしている方の不安を軽減し、安心して子育てができるようになった。	目標件数は達成しているが、引き続き啓発を行っていく、核家族化等によるつながりの希薄化や子育てに対する不安・孤立感を軽減し、安心して子どもを産み、育てることができる意識を醸成することに努める。	【令和6年度】 330,000円 【令和7年度】 330,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
島本町	支援保育事業	R6・R7	国の基準よりも手厚い町の職員配置基準に基づき、認可保育所等においても要発達支援対策児童の受入および保育内容の充実が図れるよう、要発達支援対策児童保育職員の加配に要する経費を町単独事業として助成する。	認可保育所等においても要発達支援対策児童の受入および保育内容の充実が図れた。	今後支援対象者が増えていくことが予想されるため、同補助金の増加が予想され、予算確保が課題となる。	【令和6年度】 56,299,318円 【令和7年度】 79,261,457円
島本町	支援保育等にかかる観察・検討等	R6・R7	支援保育(教育)対象児童決定のため、支援が必要な児童を観察(試行保育)及び検討会を実施し、助言を得る。	専門家の意見及び助言を受けることにより、充実したきめ細やかな保育の実施につながった。	引き続き、専門家の意見及び助言を受けることにより、充実したきめ細やかな保育を実施する。	【令和6年度】 238,440円 【令和7年度】 214,750円
島本町	保育所体育指導業務	R6	保育所の児童を対象として、体育指導を専門とする業者等への委託・講師の招聘により、楽しい体育・体操教室の事業を実施するもの	同事業は指導内容が非常に充実しており、子どもの成長に大変有効であった。	保護者と子どもと一緒に楽しめる遊びや親子体操の受講を通して共感性を養い、子どもの健やかな成長のための環境づくりの支援を今後とも実施したい。	【令和6年度】 423,500円
島本町	保育所育児担当研修	R6・R7	保育所での保育士研修を拡充し、乳児及び幼児の育児担当制についての実践講座等を行い、それぞれの保育の仕方についての研修を受講する。	児童の行動などの事例から、実際の保育現場で活かすことができる技能や知識の習得につながった。	引き続き、実践に役立つ研修を実施し、職員の能力向上を図る。 また、対面での研修は受講するうえで職員の拘束時間等、負担が大きいものであったことから、今後はオンデマンド形式の研修を導入する。	【令和6年度】 150,000円 【令和7年度】 60,000円
島本町	学童保育室の安全確保のための防犯・防災対策事業	R6・R7	学童保育室において保護者へのメール一斉配信を行うことにより、防犯・防災に係る情報について即時に情報提供し、児童等の安全を確保する。	学童保育室において児童や家庭に対し、防犯・防災上の情報を即時に提供することで、児童等の安全を守ることができた。	引き続き、学童保育室において児童や家庭に対し、防犯・防災上の情報を即時に提供することで、児童等の安全を確保する。	【令和6年度】 52,800円 【令和7年度】 52,800円
島本町	乳幼児療育支援事業	R6・R7	乳幼児の療育について支援を行う。 ・発達支援指導員、言語聴覚士による個別相談の実施 ・発達相談員による発達相談の充実 ・小グループによる母子分離での療育事業(R6)	発達に課題をもつ乳幼児の保護者から相談があった場合、乳幼児療育支援事業につながることができた。	発達に課題をもつ乳幼児の保護者から相談があった場合、乳幼児療育支援事業につなげる。	【令和6年度】 2,656,051円 【令和7年度】 1,166,301円
島本町	幼児教室等子育て支援事業	R6・R7	■軽度発達障害などの発達に関する育児不安等に対応する親子の教室(幼児教室)の実施。また、親子教室(幼児教室)を卒業した保護者に対し保護者支援事業を実施。 ■乳幼児の保護者対象に、発達への理解を深めるための講座を行う。 ■子育てに関する知識、技術的な面への不足が精神面への負担につながることから子育て中の保護者を対象として子育て講座を開催する。 ■支援や配慮を必要としている就学前の保護者を対象に、子への理解を深めたり、子育てに役立つ情報共有の場として教室(カンガルー教室)を実施。	軽度発達障害児童の増加傾向から、従来から開催する親子教室(幼児教室)の開催回数を増やすことで、より多くの育ち等に不安を抱える家庭への子育て支援を進めることができた。 また障害児を持つ乳児の親への講座を行うことで、障害児保育のあり方について、保護者が理解を深めることができた。一般の子育て中の保護者に対する子育て講座の回数等を増し、子育て支援の拡充を図ることができた。	軽度発達障害児童の増加傾向から、従来から開催する親子教室(幼児教室)の開催回数を増やすことで、より多くの育ち等に不安を抱える家庭への子育て支援を進める。 また障害児を持つ乳児の親への講座を行うことで、障害児保育のあり方について、保護者が理解を深める。一般の子育て中の保護者に対する子育て講座の回数等を増し、子育て支援の拡充を図る。	【令和6年度】 1,233,736円 【令和7年度】 1,624,287円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
島本町	保育付き女性相談事業	R6・R7	コロナ禍以降女性へのDV並びに子どもへの面前暴力等の増加から被相談者の若年齢化の傾向にあり、保育付きの相談の需要が高まっている。そのため、年に4回保育付きで相談を実施することとする。	保育付き相談を実施することにより、子どもがいても相談しやすい環境を作ることができた。 DV事案に関する相談件数は横ばいであるが、相談者の年齢層は若干、上がっている。	潜在的な需要はあると考えられるので、今後は事業の更なる周知に努める。	【令和6年度】 435,600円 【令和7年度】 72,600円
島本町	男女共同参画講座配信事業	R6・R7	就業年齢層は平日の講座参加は難しく、また、子育て世代もなかなか対面講座の参加に繋がらない。そこでそれらの世代に啓発を働きかけるため、男女共同参画講座の録画配信を行う。録画配信を行うことで、自分の都合の良い時間帯に、何時でも、何度でも視聴することができるため、啓発効果の促進を狙うものである。 交付金申請額については、人権啓発活動委託費の対象外となる講座講師謝礼分である。	【令和6年度】 実践型の連続講座であったため、対面実施での参加者は11名であった。実践指導型の講座は参加者数が限られるため、動画配信を活用することでより多くの方に講座内容を知ってもらうことができた。 【令和7年度】 講座への申込者の半分以上が動画配信希望者であった。対面実施と配信で実質的に2回講座を開催したと同様の効果が得られたと考えられる。	数値目標も回数のみならず人数換算での設定も必要である。今後も動画配信を含め多様な開催形態で講座を実施する。	【令和6年度】 113,000円 【令和7年度】 183,000円
島本町	こんにちは赤ちゃん出合いの絵本事業	R6・R7	こんにちは赤ちゃん事業として、生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育てに役立つ情報の提供や相談支援を行う際に絵本を配付する。	こんにちは赤ちゃん訪問事業を通じて、保健師等の支援につなげることができた。	引き続き、こんにちは赤ちゃん訪問事業を通じて、保健師等の支援につなげる。	【令和6年度】 203,895円 【令和7年度】 217,415円
島本町	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊娠届出の際に妊娠中の口腔内の変化と歯科健診の重要性について説明したうえで、妊娠中の女性に対する歯科健診を実施する。	妊娠中に歯科健診を受診することで、出産後の子どもの口腔内への関心を高めることができた。	今後も、出産後の子どもの口腔内への関心が高まるように、妊娠中に歯科健診を受診することを促す。	【令和6年度】 597,212円 【令和7年度】 620,488円
島本町	産前・産後ヘルパー派遣事業	R6・R7	産前・産後の体調不良等のため家事・育児が困難な世帯に産前・産後ヘルパーを派遣し、家事・育児の支援を行うことで、母親の心身の健康の維持を図る。	核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなっていることから、産前・産後ヘルパーを派遣することにより、妊娠・出産期の妊産婦の不安や負担の軽減を図ることができた。	核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなっていることから、今後も、産前・産後ヘルパーを派遣することにより、妊娠・出産期の妊産婦の不安や負担の軽減を図る。	【令和6年度】 1,410,374円 【令和7年度】 1,913,870円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
豊能町	SC(スクールカウンセラー)活用事業	R6・R7	いじめ・不登校の児童や要保護児童・家庭支援の必要な家庭等への適切な支援を行うために、心理面に関する専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、支援策を検討する。また、保護者からの相談内容によっては、各関係機関との連携を充実させる役割も果たす。	児童生徒及び保護者の相談業務の多くのケースを学校と連携して取り組むことができた。このことにより、保護者の不安の解消につながったケースも多くみられた。	支援・援助活動のニーズが増加することで、事案への対応が遅れることが懸念されることから、町に専門的知識を有した講師による研修を行うなど、相談に対するスキルの向上を図る。また、常日頃の情報収集に努め、SCだけに任せるのではなく、関係者・関係機関が連携して今後も取り組む。	【令和6年度】 1,472,540円 【令和7年度】 1,404,000円
豊能町	いじめ問題等対策推進事業	R6・R7	いじめ防止推進法に則り、いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のため、学校・幼稚園・保育所や当該児童・生徒及びその保護者への支援を行い、重大な事案が発生しないよう、また、重大な事案とならないようその未然防止に取り組む。 人間関係づくりの難しさやいじめ事案への不安を抱く子どもたちが安心して学校・所・園生活が送れるような環境整備や、支援体制を期待する子どもや保護者のニーズに対応する。	不登校児童生徒への学習支援、相談対応への支援を行うことにより、個々に応じた丁寧な指導・支援ができた。	個々の事案につき課題が多岐に渡ることから苦慮する面もあり、支援指導員に頼るだけではなく、教員も事案により適切に対応できるよう引き続き研修等を行う必要がある。事案の早期発見、早期解決に向けて学校・所・園・保護者・町が連携し、また、地域や関係機関とも情報交換を図りながら取り組んでいく。	【令和6年度】 1,579,534円 【令和7年度】 1,607,120円
豊能町	保幼小中一貫教育推進事業	R6・R7	令和8年度に町立小・中学校を東西計2か所の義務教育学校に再編することを受けて、町内の保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校の教職員に対し、町内在住の幼児、児童、生徒に社会を生き抜く力を育む保幼小中一貫教育の実現に向けた知識の醸成を図るため、専門家を招聘した研修を実施する。	保幼小中一貫教育の推進は、本町の最大の教育目標である。0歳から15歳の学びと育ちをつなぐ保幼小中一貫教育の重要性について理解が深まった	本町の最大の教育目標である、保幼小中一貫教育の推進を図るため、今後も研修を実施し、専門家の意見を聴きながら推進する。また、保育所、幼稚園、認定こども園、義務教育学校の保育士と教諭の交流を図り、現場の状況を踏まえた対応を行っていく。	【令和6年度】 1,030,200円 【令和7年度】 2,290,292円
豊能町	子育て支援環境の充実事業	R6・R7	子どもと子育て家庭を応援する町づくりを目指し、毎月19日を「育児の日」と定め、夫婦・家族協働の子育てを推進すると共に、妊娠期から子育て期・中高年期の幅広い世代が交流する場を創出し、催しを実施する事で次世代子育てネットワークの体制整備を行う。	イベントを他機関と連携する事や多岐にわたる内容を取り入れる事で、子育て世代以外の幅広い参加が見込まれ、「地域ぐるみの子育て」に取り組めた。	イベントを他機関と連携する事や多岐にわたる内容を取り入れる事で、「地域ぐるみの子育て」が育まれているが、ネットワークの構築につながっていないので体制整備が必要	【令和6年度】 616,440円 【令和7年度】 591,260円
豊能町	子育て支援地域交流充実事業	R6・R7	保育所・幼稚園・認定こども園の子育て支援コーディネーターと子育て支援センターすきっぷとが連携をしながら、地域のすべての子育て家庭を対象に育児相談をはじめ未就園児との交流活動や「親育て」を目的とした集い・講座を実施する。また、育児に対する不安や負担を軽減するために、必要に応じて家庭訪問をするなどして、家庭における子育て環境が整えられるように支援する。	保育所・幼稚園・認定こども園が行う地域交流事業の「親育て」を目的とした育児講座を園の行事や参観と兼ね合わせて企画するなど工夫し、保護者の参加を促すことができた。その結果、参加者が増え、保護者の癒し、子どもの発達に関する知識の習得、運動不足の解消などを図ることができた。	保育所・幼稚園・認定こども園が行う地域交流事業の「親育て」を目的とした育児講座を引続き、保護者の癒し、子どもの発達に関する知識の習得、運動不足の解消などが図れるよう、所・園の行事や参観と兼ね合わせて企画するなど工夫を重ね継続実施に努める。	【令和6年度】 634,355円 【令和7年度】 608,863円
豊能町	図書館地域子育て支援・拡充事業	R6・R7	第3期豊能町子ども・子育て支援事業計画(とよの・すくすくプラン)等に基づき、当該交付金を活用して、子育て支援用資料の充実を図るとともに、学校図書館や幼稚園、保育所との連携を推進することにより、子どもたちの学習支援環境、読書環境の向上を目指す。 また、図書館の講座において、新たに子育ての支援となるような内容を実施し、家庭での子育ての支援を目指す。	子育て支援資料の新調および充実が叶ったことにより図書館利用者のニーズを満たすと同時に学習支援・読書環境の向上に貢献できた。	地域における読み聞かせ環境の拡充と、職員の技術向上が課題となる。地域施設等と連携しながら、職員の連翳を高めていく。	【令和6年度】 708,913円 【令和7年度】 720,225円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
豊能町	障害のある児童・生徒へのサポート相談事業	R6	発達障害のある児童・生徒に関する専門知識・経験を有する巡回相談員を保育所、幼稚園、小中学校等に定期的に派遣し、発達障害のある児童・生徒に対する指導内容や支援方法について助言を受ける等、早期発見支援及び特別支援の推進を図る。	保幼小中での支援が必要な児童・生徒及び家庭に対し、専門知識や経験を有する相談員を派遣し、意見や指導を受けることで適切な支援を行うことができた。	関係機関との一層の連携強化を図り、支援が必要な児童・生徒に適切な支援を行う。	【令和6年度】 958,420円
豊能町	幼児教育・保育の充実事業	R6・R7	保育士・教諭の資質向上と専門性を高めるための研修を実施する。 特色のある豊能町の就学前保育・教育充実のための研究を行う。	各園所の現状や課題から研究テーマを設定し、学識経験者の協力を得た上で研修の実施計画に沿って研究保育を実施することで、保育士・教諭の資質向上を図ることができた。	今後も保育士・教諭の資質向上と専門性を高めるために研修や研究を行っていく。	【令和6年度】 587,700円 【令和7年度】 643,400円
豊能町	子育てのための家庭支援事業	R6・R7	保育所、幼稚園、こども園に保育士資格を有するものを1名配置して、就学前児童を持つ家庭を対象に育児指導や支援相談を行う。各施設において月に15日程度活動する。ケースによっては家庭訪問も実施する。	専門の職員を配置し、子育て家庭が抱える育児に関する不安を解消することで、養育放棄や児童虐待の未然防止や早期対応を図った。	今後も育児指導や支援相談を行うことで養育放棄や児童虐待の未然防止や早期対応を図っていく。	【令和6年度】 8,264,053円 【令和7年度】 10,270,372円
豊能町	図書館活動振興事業	R7	図書館事業の展開により、図書館を含む地域コミュニティや言語活動の活発化、子育てに関する意識の発揚を目指す。 ●実施事業 ①授乳室の導入 ②紙芝居制作講座の開催 ③世代間・多言語間コミュニケーションを目的とした催事の設営 ④一時保育サービスの試験運用 ⑤子育て世帯向け読書活動支援	①授乳室については授乳ほかおむつ交換や簡易な休憩場所としてなど多用途に利用されている。 ②紙芝居制作講座において完成した作品を使用し、発表会として催事化(事業③)、公開スペースのため入れ替わりはありつつも20名程度の観覧者を集めた。また、映画会も開催。 ④一時保育サービスは広報不足もあり当初利用が伸びなかったが、徐々に浸透しつつある。 ⑤読み聞かせ資料の導入により、館外出張読み聞かせの幅が広がり、事業全体を通じて地域における図書館の利用の間口を広げることに繋がった。	実施した事業の内容はいずれも好評であったが、事前の周知・広報活動に不足を感じた。普段図書館を利用しない層に届く周知方法を模索していきたい。	【令和7年度】 824,118円
豊能町	「まち活」とよのリビングラボ事業	R6・R7	池田泉州銀行との包括連携協定に基づき、銀行店舗の一部を借り受け、子どもの見守り等の様々な地域の課題解決に取りくむ事業。 令和6・7年度も前年度に引き続き、未就学児とその保護者が集まり、お互いに交流や情報交換ができる場の提供や子育ての負担の軽減を図るため、育児情報の提供および専任の職員による子育て相談等を実施した。	令和6・7年度ともに、前年度に引き続き、未就学児とその保護者が集まり、お互いに交流や情報交換ができる場の提供や子育ての負担の軽減を図るため、育児情報の提供および専任の職員による子育て相談等を実施した。	引き続き、地域の課題解決に取り組めるよう対策を講じたい。	【令和6・7年度】 2,640,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
能勢町	英語教育推進事業	R6・R7	英語教育支援員を配置し生徒が授業等で学んだ表現等を使って、コミュニケーション活動を行う際に支援を行うとともに、普段の英語学習成果を試す機会として、大阪大学の留学生等を招いて児童生徒との英語での国際交流を実施し、英語でのコミュニケーション能力をめざす。 また、国内の英会話教室等で英語指導の実績がある外国人で、高い指導スキルをもつALT (AssistantLanguageTeacher)を民間事業者から招致し、児童生徒の英語学習への意欲を引き出す。 さらに、英語力の向上の確認の手段として5年生から9年生に対して、英語能力試験を実施し、生徒自らが主体的に学ぶ意欲の向上を図る。	英語教育支援員との英会話のほか、ネイティブ英語に触れる機会として大学生の留学生と交流を持つデイキャンプを実施した。	今後、さらにネイティブスピーカーの英語に触れる機会を増やし、「話す・聴く」の技能向上を目指す。	【令和6年度】 6,316,101円 【令和7年度】 5,506,460円
能勢町	義務教育学校(後期課程生徒)での給食提供	R6・R7	平成28年度の学校開校に伴い、後期課程生徒(中学生)に対する学校給食の提供を実施している。 本事業では、成長期にある生徒に対し、栄養バランスに配慮した昼食を継続的に提供することで、健康維持及び健全な心身の発達を支援している。 また、学校生活の中で安全かつ適切な食事を提供することにより、生徒が安心して学習活動や学校生活に取り組むことができる環境の確保を図っている。	能勢ささゆり学園の後期課程生徒に対し、安定的な給食提供を実施することで、成長期に必要な栄養摂取の機会を確保することができた。 また、全ての生徒に対して均質な給食を提供することにより、家庭環境等に左右されることなく、昼食を確保できる環境が整備され、安心して学習活動や学校生活に取り組むことができる教育環境の充実につながった。 さらに学校給食を通じて規則正しい食生活や食に対する関心を育む機会の確保にも寄与している。	学校給食は、生徒の健康保持及び健全な成長を支える基礎的な教育活動の一つであり、学校生活を送るうえで欠かすことのできないものである。 近年は食材価格や運営経費の上昇など、給食運営を取り巻く環境が変化していることから、今後も効率的な事業運営に努めるとともに、衛生管理の徹底及び安心・安全な給食提供体制の維持を図る必要がある。 引き続き、後期課程生徒に対する給食提供を実施し、生徒が良好な教育環境のもとで学校生活を送ることができるよう取り組んでいく。	【令和6年度】 8,227,733円 【令和7年度】 11,661,825円
能勢町	黄色いハンカチ事業	R6・R7	児童生徒の登下校時における安全確保を目的として、地域住民や事業者等を対象に「しあわせ守り隊」を募集し、登録制による見守り活動を実施した。 登録隊員に対しては、黄色いハンカチ、帽子、自動車用ステッカー等は無償貸与し、登下校時にこれらを着用又は掲示しながら、日常生活や事業活動の範囲内で見守り活動を行う体制を整備した。 また、不審者情報や緊急時の注意喚起情報等について、メール等を活用した情報提供を行い、地域全体で児童生徒を見守る取組を推進した。	地域住民、事業者及び行政が連携した見守り活動を実施することにより、児童生徒の登下校時における見守りの機会が確保され、地域ぐるみで安全を支える体制の充実が図られた。 また、隊員の活動により、通学路における防犯意識の向上や犯罪抑止効果が期待されるとともに、児童生徒が安心して通学できる環境づくりに寄与した。 さらに、地域住民と学校とのつながりを深める機会となり、地域全体で子どもを見守る意識の醸成にもつながった。	本事業は地域住民及び事業者の自主的な協力により成り立つ取組であり、活動の継続には見守り活動を担う隊員の確保が重要である。 一方で、少子高齢化や人口減少の進行に伴い、地域における担い手の減少が見込まれることから、隊員数の維持・拡大は今後の課題となっている。 今後も制度の周知を継続し、新規隊員の確保に努めるとともに、現在活動している隊員が無理なく継続して活動できる環境づくりを進めていく必要がある。 そのため、見守り活動に必要な物品の整備等の活動支援を行うことで、隊員の負担軽減及び活動意欲の維持を諮り、地域ぐるみによる見守り体制の維持・充実に努める。	【令和6年度】 202,020円 【令和7年度】 160,936円
能勢町	子育て応援事業	R6・R7	子育て講演会、ふれあいフェスタ(社協主催の同時開催)など子育て世帯を中心に人形劇や講演会等を企画・開催する。家族のふれあいや外出の機会を作る、地域交流ができるよう子育て世帯を中心に支援し、家族そろっての育児機会の創出を目的に開催している。	地域の子育て世帯を中心に日曜日にイベントを開催することで、休日の過ごし方の一つになり、遠出をせず家族で楽しめる機会が提供できた。フェスタは大人も子どもも楽しめる場となった。	地域交流の機会として参加してもらうことで、子育て世帯の孤立化の防止につながっていることから、引き続き事業を行っていく。	【令和6年度】 606,600円 【令和7年度】 677,550円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
能勢町	子育て家庭支援保育士配置事業	R6・R7	町立保育所にフリー保育士(会計年度任用職員)を配置し、在宅子育て家庭支援や配慮を要する入所児童家庭支援を担当する。地域との交流事業や在宅子育て家庭向けの親子教室の企画・運営を行うとともに、さまざまな家庭環境にある入所児童の家庭支援を実施する。	在宅子育て家庭に対する子育て支援施策の情報提供により、目標値以上の一時預かり事業の利用者となった。	事業利用者の声から在宅子育て家庭の抱える課題の掘り下げや関係機関の連携により更なる子育て家庭の支援に努めたい。	【令和6年度】 3,195,081円 【令和7年度】 3,577,615円
能勢町	認定こども園等在籍児童保護者実費負担給付金	R6・R7	町内に住所を有し、認定こども園、認可外保育施設等に在籍する児童の保護者が、児童の在籍する施設に支払う実費負担額に対して給付金を支給することで、保護者の経済的負担の軽減に資すること並びに円滑な特定教育・保育の利用を図りもってすべての子どもの健やかな成長を支援する。	特定教育・保育施設等利用時の経済的負担を軽減することで、幼児教育・保育の利用促進につながり、子どもの健やかな成長を促進することができた。	引き続き実費負担額に対する給付を行い、幼児教育・保育の利用促進及び経済的負担の軽減により子育てを支援する。	【令和6年度】 3,233,510円 【令和7年度】 2,689,150円
能勢町	子ども支援対策推進事業 (スクリーニング)	R7	児童生徒の学校生活や家庭訪問の状況から、支援が必要な児童生徒をスクリーニングにより抽出し、ケース会議を経て早期に適切な支援につなげる。 ケース会議の結果を学校・福祉課・子供家庭センター・SC・SSW等と共有し、いじめ・不登校・問題行動・虐待等に対応する事で子供たちの豊かな人間性をはぐくみ、安心して生活を送ることができる環境の維持を目指す。	ケース会議の結果を学校・福祉課・子ども家庭センター・SC・SSW等と共有し課題解決のため個別支援に活かされた。	スクリーニングによって支援が必要な児童生徒が抽出でき、ケース会議を経て早期に適切な支援につながり、引き続き、関係機関と連携して必要な支援を継続して行っていくことが必要と考える。	【令和7年度】 263,000円
能勢町	ブックスタート事業	R6・R7	ブックスタート事業:乳児前期健康診査を受診した親子に絵本の読み聞かせを行い、親子で絵本を介してふれあう時間をもつきっかけ作りや、親子のふれあいの大切さをイメージとして伝え、絵本を1冊プレゼントする。 ブックプレゼント事業:就学前児童を対象に誕生月前後に誕生日カードとともに1冊の絵本をプレゼントし、親子でふれあう時間の大切さを伝える。子どもの成長段階に合わせた絵本を紹介する。絵本のプレゼントは幼稚園、保育所を通じて行うが、在宅子育て家庭には支援センターに取りに来てもらうか配達をする。その際、子育ての状況や子育て相談にも応じる。町の図書室の司書及び絵本読み聞かせボランティアと連携し、親子で絵本に親しめる機会を作る。	アンケート等では、プレゼントの本に興味をもち、読み聞かせの時間を催促されるようになった、自分から絵本を手取るようになったとの声があった。読み聞かせの時間を持つことにより、親子の時間を過ごしてもらえていると感じた。	絵本を通して親子の触れ合いの大切さを、図書司書とも連携し伝えていく。	【令和6年度】 243,460円 【令和7年度】 242,779円
能勢町	子育て情報誌	R6・R7	子育て情報誌を発行することにより、本町で安心して子育てができるよう、妊娠期から就学前までに必要な子ども、子育てに関する情報を掲載し、提供(配布)する。 子育て支援カレンダーは、町内にある各機関の子育てに関するイベント等の情報を掲載し、幼稚園、保育所、保健センターなど子育て家庭に提供(配布)する。	都市公園等、子育て支援施設に関する資源が少ない本町において、きめ細やかな情報や事業内容を配信することにより、子育て支援を行った。	今後も、能勢町での子ども・子育てに関する情報を子育て情報パンフレットにまとめ、出産から就学前までに必要な情報を提供する。	【令和6年度】 81,800円 【令和7年度】 70,749円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
能勢町	子育てつながり支援事業	R6・R7	予防接種のスケジュール支援や乳幼児健診、育児支援教室等の案内をSNS(のせっ子未来応援ナビ)を活用し発信するもの。	登録者数について、目標値を達成することができている。予防接種スケジュール管理の他、乳幼児の参加できる事業について案内を行うことで、保護者同士、行政や子育て支援センターとつながるサポートがなされている。	現在の配信を継続したうえでより効果的に活用するための検討を進めていく。	【令和6年度】 264,000円 【令和7年度】 264,000円
能勢町	妊婦歯科検診事業	R6・R7	妊婦に歯科検診受診の機会を提供し、妊婦と出生する児の歯科疾患を予防するもの。	継続して実施することで、受診したことのない妊婦が歯科医療機関を受診し、歯科口腔保健の向上に繋がっている。	他市町村でかかりつけ医を持っている妊婦もいるため、今後も個別での勧奨を続けていく。	【令和6年度】 68,508円 【令和7年度】 24,948円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
忠岡町	こども園における安全対策事業	R6・R7	公立こども園において、子どもたちが安心して過ごせるように、忠岡町シルバー人材センターに委託し、安全要員1名を配置する。安全要員は、こども園への来訪者の受付・施設内の巡回・登降園時の校門での出迎え及び見送り等を行う。	安全要員を配置することで子どもたちが安全に園生活が送れる態勢づくりができた。 【令和6年度】警戒員配置時間1,784時間(年)配置1カ所累計、警戒員配置293日(年) 【令和7年度】警戒員配置時間1,828時間(年)配置1カ所累計、警戒員配置292日(年)	活動(アウトプット)指標で示す数値を参考に、今後も配置時間数や時間帯の見直しを行い、子どもたちの安全確保に務める。	【令和6年度】 2,167,073円 【令和7年度】 2,318,568円
忠岡町	子育て支援促進事業	R6・R7	認定こども園において、保育を通じて蓄積された子どもたちの育ちや子育てに関する豊富な知識・ノウハウ等を活かし、地域の子育て家庭に対する支援を推進することを目的に、下記の事業を3つ以上選択し、補助を行う。 ①施設内外で、定期的に子育て相談・指導等 ②地域の子育て親子や子育て支援関係者等が参加する地域交流事業(概ね年2回以上) ③定期的な印刷物の発行等の情報提供 ④町が行う事業への協力及びその他町が認める事業	今後も継続して子育てに関する相談や援助を行い、地域の子育て家庭の不安や悩みを解消し、安心して子育てができるような環境づくりに努めた。また、各関連機関共同のイベントを3回程度(年)実施し、町としての子育て支援の充実化を図った。	今後も継続して子育てに関する相談や援助を行い、地域の子育て家庭の不安や悩みを解消し、安心して子育てができるような環境づくりに努める。	【令和6・7年度】 3,200,000円
忠岡町	障がい児保育事業	R6・R7	認定こども園に対し、町が委託した保育に欠ける障がい児について、できるだけ認定こども園において受け入れを行うことを目的に、認定こども園が配置した保育教諭の人件費として補助する事業。 障がい児の場合、保育教諭1名あたり年間200万円(4名加配) 軽度障がい児の場合、保育教諭1名あたり年間100万円4名加配)	保育に欠ける障がい児について、今年度も可能な限り集団保育で受け入れ、健やかな発達支援に努めた。	保育施設において受入れを行うには保育教諭の確保が欠かせない。人件費高騰も続く中で、引き続き人件費として補助を行い、財政面でのサポートに努める。	【令和6年度】 8,637,000円 【令和7年度】 8,885,638円
忠岡町	就学前施設給食費補助事業	R6・R7	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備を図ることを目的として、町内にある就学前施設に通う3歳児以上の子どもたちについて、主食費、副食費を無償とする。 なお、本事業における交付申請額は、実費徴収に係る補足給付を行う事業の対象外分である。	保護者の経済的負担を軽減し、今後も安心して子育てができる環境整備に努めた。	物価高騰が続く中で、主食費、副食費無償化での経済的負担軽減に努める。	【令和6年度】 13,078,200円 【令和7年度】 12,091,300円
忠岡町	DV被害者支援コーディネーター(DV専門相談員)配置事業	R6・R7	近年、DV問題に対する認知が高まり、全国的にも相談件数は年々増加傾向にあり、DV被害者に対しては相談から保護そして自立まで、綿密な連携やきめ細かい対応が求められ、支援も多様化している中、ケースに応じて関係部署が連携し、対応に当たっている現状です。しかしながら、職員は全員、他の業務との兼務であることや専門知識がないことにより、相談に対して、適切かつ迅速な対応ができていない状況にあります。また、関係機関との連絡調整などについても専門知識がないために支障をきたしており、急を要する相談者にとっては決してよい状態であるとは思えないことから、DV被害者支援コーディネーター(DV専門相談員)を1名配置する。	DV被害に対し相談者として相談を実施し、状況に応じて関係課と連携を図り、適正な対応に努めた。	【令和6年度】 次年度に専門相談員を1名採用予定であり、今後も事業を継続する。 【令和7年度】 今後相談依頼が発生した時に備え、以後も事業を継続する。	【令和6年度】 206,215円 【令和7年度】 3,072,050円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
忠岡町	ベビマクラブ	R6・R7	生後2か月～4か月の乳児と保護者を対象として、親子の愛着形成を高める効果があるといわれているベビーマッサージを取り入れ、助産師によるマッサージの指導を行い、親子が触れ合い、ゆったりとした雰囲気の中で、保護者の育児についての不安や相談、思いなどを集まった保護者同士で話し合う。必要に応じて、保健師(1名)・助産師(1名)などが助言、支援を行う。特に不安が高い母親については継続して支援を行う。また、4か月児健診以降1歳7,8か月児健診までの間、支援を必要とする親子の経過をみていく機会が少ないため、5か月～1歳児を対象に教室を開催する。 生後2か月～4か月の乳児を対象とした教室:年間12回コース(2回1コースの計24回)開催。 生後5か月～1歳児を対象とした教室:年間12回開催。	【令和6年度】 乳幼児と保護者に、親子が触れ合い他者と交流できる場を提供し、ゆったりとした雰囲気の中で育児についての不安や相談などがきるよう、事業の案内を対象となる保護者へ案内し、年間36回の開催をすることができた。 【令和7年度】 乳幼児と保護者に、親子が触れ合い他者と交流できる場を提供し、ゆったりとした雰囲気の中で育児についての不安解消の相談などができるよう、事業の対象となる保護者へ案内した。	【令和6年度】 今後も事業の案内を対象となる保護者へ実施し、事業を実施していく。 【令和7年度】 令和7年度は天候不順等もあり、企画していた年間36回全ての開催はすることはできなかったが、今後も対象となる保護者へ事業案内を行い、事業を展開していく。	【令和6年度】 216,000円 【令和7年度】 204,000円
忠岡町	マタニティ歯科健診	R6・R7	妊婦及び胎児の健康のために、妊娠中から歯の健康について意識を高め、正しい歯のケアを身に付けられるように妊婦歯科健診を行う。	【令和6年度】 妊娠の届出時、全妊婦に周知を実施し、別紙で受診券交付していたものを妊婦健康診査受診券と同じ冊子に綴り目に留まりやすいように変更したことで、前年と比較し目標数値の83%と上昇した。 【令和7年度】 妊娠の届出時、全妊婦に交付する妊婦健康診査受診券と同じ冊子に歯科健診受診券を綴ることで、妊婦の目に留まりやすくなり前年度は受診人数が増加したが、令和7年度は妊婦の母数そのものが前年度に比べて減少したこともあり、目標数値に及ばなかった。	【令和6年度】 今後は事業周知するだけにとどまらず、歯科健診の必要性を伝えるための内容の見直しを実施していく。 【令和7年度】 今後は妊婦の歯科健診の必要性を伝えることに更に注力し、受診人数及び受診率の向上に努める。	【令和6年度】 130,350円 【令和7年度】 89,199円
忠岡町	不育症治療費助成事業	R6・R7	出産を希望する夫婦の不育症治療における経済的及び精神的負担の軽減を図るために、不育症治療を受けた婚姻をしている夫婦又は、事実婚(重婚を除く)の夫婦に対し、不育症治療費の助成を行う。	対象となる方への周知が十分にできていなかった。	次年度は、対象となる方の目にとまるような周知を検討し、必要な方が利用できるように広報していく必要がある。	【令和6・7年度】 0円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額（円） （一般財源等含む）
熊取町	民間保育所等助成事業 （子育て支援保育士事業）	R6・R7	民間保育所において、保育を通じて蓄積された子どもの育ちや子育てに関する豊富な知識、ノウハウを生かし、園庭開放や遊戯室での親子教室（ゲームや手遊び指導）、施設内外でのベテラン保育士による子育て相談（子どもの発達相談や食事相談）、地域交流事業等を実施することにより、広く地域全体の家庭に対する子育て支援を推進するため、当該事業を実施する民間保育所に対し、人件費、消耗品費等の一部を補助金として交付する。 ◎民間保育所への保育事業（子育て支援保育士事業）補助金 R6年度：補助対象園4園 補助総額6,400,000円 R7年度：補助対象園3園 補助総額4,485,000円	子育て家庭は現代において孤立しがちであり、子育てへの不安を常に抱えているため、その家庭に対して支援を行うことで、孤独や不安等の解消には有効であった。	今後も充実した地域の子育て支援を行うべく本事業を継続していく。	【令和6年度】 6,400,000円 【令和7年度】 4,485,000円
熊取町	発達障がい児等支援事業	R6・R7	小学校や中学校、学童保育所の子どもに関わる機関が、発達障がいや愛着障がい等の子どもについて、一人ひとりの特性や家庭背景等を理解し、適切に関わることのできる力量を養うことを目的に、スーパーバイザーや専門職の巡回、事例研究等を行う事業 ●小学校（5校）、中学校（3校）、学童保育所（16クラブ）への定期巡回（SV2名嘱託員）：年3回 ●専門相談・巡回相談（事例研究会含む）：（心理：36回/年）（理学療法士：2回/年）（言語聴覚士：16回/年）（作業療法士：9回/年）（小児精神科医：12回/年）	支援が必要な子どもや家庭の早期発見並びに関係機関との連携により、適切な支援を実施することができた。	今後も早期発見に努め、関係機関との連携により、適切な支援につなげていく	【令和6年度】 1,152,000円 【令和7年度】 1,152,000円
熊取町	ファミリー・サポート・センター事業利用料軽減事業	R6・R7	ファミリー・サポート・センター事業において、利用者（依頼会員）の子ども的人数や世帯所得により利用料の負担軽減を図る。 ・補助基準額（1人1時間あたり）・・・①所得税・住民税非課税世帯：一般料金と減額適用料金の差額分（1人目：450円または550円、2人目以降：100円または150円） ②生活保護世帯：一般料金と減額適用料金の差額分（1人目：600円または700円、2人目以降：250円または300円）	低所得世帯等のファミリー・サポート・センター利用時の負担軽減を図った。	利用登録状況により実績は変わるが、セーフティネットとして、低所得世帯等のファミリー・サポート・センター利用時の負担軽減を今後も図っていく。 併せて継続してPRIに努める	【令和6年度】 450円 【令和7年度】 18,100円
熊取町	子育て学習会	R6・R7	・子育てに関して、生活習慣の大切さなど適切な情報を学ぶ場として、テーマ別に学習会を行う。参加者（支援者）同士の交流や育児相談を行う。 また、必要に応じて、住民も対象とした「子どもの育ち」等に関するイベント等も行う。 学習会開催 年6回 ・障がい児を持つ親が集い、子の将来（就学や就職など）について、意見や情報の交換をし、相談の支援を行う。 年4回	・関係機関のネットワーク形成及び支援者の資質向上を図ることができた。 ・障がい児を持つ親同士の情報共有を図ることができた。	引き続き、支援者向けには、豊かな子どもの育ちネットワークで関係機関のネットワーク形成と支援者の資質向上に努める。また、直接住民向けには、テーマ等工夫し、子育て中の親向けの学習会を実施する。	【令和6年度】 110,507円 【令和7年度】 159,873円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
熊取町	スクールソーシャルワーカー活用事業	R6・R7	児童生徒の問題行動・不登校等の要因をみると、保護者の養育態度や家庭での生活環境が影響しているケースが増加している。また、児童虐待が懸念され、見守りの必要なケースも増加している。これらの課題を解決するためには、児童生徒への支援ももちろんのこと、その背景にある家庭の課題に対するアプローチが重要である。令和7年度も、登校支援や訪問活動、他機関へとつなぐことが必要なケースや保護者からの相談件数の増加が予想される。これらの状況を改善するためには、福祉的視点からの支援が不可欠であり、スクールソーシャルワーカーのアセスメントやプランニング必要である。児童生徒の問題行動や児童虐待、不登校等に対して、専門家による多面的な支援を実施し、課題解決することを目的としている。	連絡会を研修会と位置づけて実施した。連絡会に大阪府SSWSVを8回招き指導助言いただくことで、各校の支援に活かすことができた。また、SSWSVもケース会議に参加するなど支援していただいた。	スクールソーシャルワーカーの福祉的な関わりにより、登校状況が大きく改善され、継続的な登校につなげることができた。 また、児童生徒だけではなく、家庭からの相談も受け、家庭状況の把握に努め、多面的な支援を行うことができている。また、家庭や教員からの相談も受け、家庭状況の把握に努めるとともに、多角的な支援を行うことができた。今後も、福祉部局と連携しながら支援していく必要がある。	【令和6年度】 29,571,789円 【令和7年度】 31,004,308円
熊取町	子どもの権利に関する条例啓発事業	R6・R7	子どもの尊厳を守り、健やかな成長を支えることに関する基本理念等を定めた条例の周知・啓発を行い、地域住民等と共に「子どもの最善の利益の実現」を目指す。	子どもの権利に関する条例の周知・啓発を図り、実行性・実効性を高めることができた。	子どもの権利に関する条例の周知・啓発を図った。さらなる認知度拡大に向けた対策が必要と考える。	【令和6年度】 71,373円 【令和7年度】 21,070円
熊取町	妊婦歯科健康診査事業	R6・R7	熊取町内に居住する妊婦に対し、妊娠中に1回(年度内1回)、歯科健康診査を泉佐野泉南歯科医師会に委託(委託料1件 税込4,000円)して実施する。 健診内容 ・歯科医師による口腔内診査、ブラッシング指導 ・歯周病健診(CPITN)検査 ・健診結果を本人へ説明・指導	当該事業の実施により、妊婦の歯周病による早産や低出生体重児出産という悪影響について啓発、予防に努めることができた。	妊娠届出時に妊婦歯科健康診査について勧奨しているが、引き続き母の歯周病等が出産や生まれてくる児への影響について理解が得られるよう、窓口等で説明及び広報・ホームページでの案内につとめる。	【令和6年度】 244,000円 【令和7年度】 288,000円
熊取町	不妊・不育治療費助成事業	R6・R7	不妊症及び不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減し、治療を受けやすい環境の整備を図ることを目的に、医療機関で受けた不妊症、不育症の治療費及びその治療に係る検査に要した費用の一部を助成するもの。(尚、当該事業には保険適用外部分は含まない) 一般不妊治療(保険適用) 1件@ 50,000円上限(予算は1件20,000円で算出) 生殖補助医療(保険適用) 1件@ 50,000円上限 不育治療 1件@200,000円上限 不妊・不育治療(R7開始) 1件@ 50,000円上限	不妊症及び不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減し、治療を受けやすい環境を整備することができた。	今後も必要な方が申請につながるよう、当該助成事業の広報啓発活動に取り組んでいく。	【令和6年度】 3,682,348円 【令和7年度】 3,191,436円
熊取町	産前・産後ヘルパー派遣事業	R6・R7	体調不良や多胎児家庭など、産前産後に家事や育児を行うことに支障がある家庭に対し、家事や育児の一部を援助するヘルパー派遣を行うもの。 ヘルパー派遣委託料 1時間あたり @2,400円(1回2時間まで)	体調不良や多胎児家庭などに、ヘルパー派遣を行い、養育者の精神的な安定や休息時間の確保、乳児のより安定した養育環境の確保につながった。	利用登録状況により実績は変わるが、今後も引き続き、必要な方に支援が届くよう周知に努める。	【令和6年度】 687,237円 【令和7年度】 147,487円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
田尻町	キッズ・ルーム事業	R6・R7	就学前児童及び学齢児童とその保護者に対し、適切な活動、交流の機会と場所を提供し、児童の自主性や社会性の習得と心身の健全育成を図るとともに、その保護者の交流活動の推進を図る。	子どもの居場所づくり、及び親子・保護者同士の交流の促進	引き続き、他の利用者との関係の中でルールの確認、安全対策の強化、飽きられない施設運営を行っていくとともに、遊具や玩具の消毒、部屋の換気等にも注意を払い、衛生面でも安全に遊べる施設運営を行っていく。	【令和6年度】 2,814,971円 【令和7年度】 3,472,116円
田尻町	国際理解教育推進事業	R6・R7	小学校・中学校において新学習指導要領の全面实施されたことを受け、小・中学校の英語教育における4技能をバランスよく育むための授業改善と、外国人英語指導助手を活用した園小中での国際理解教育の充実に取り組む。また、地域の教育資源を生かし、関西国際空港等での教育活動を推進する。	令和6年度 CEFR A1相当(英検3級)以上の割合:55.6%(府平均:54.1%) 令和7年度 中学校3年生全生徒の中で、英検3級合格相当以上の英語力を有する生徒の割合:国平均以上	令和6年度、令和7年度共に「中学校3年生全生徒の中で英検3級合格相当以上の英語力のある生徒の割合」は目標を一定達成できた。今後も小・中学生が英語でのコミュニケーション活動を通じて異文化理解や国際的な視野を広げることができるよう新学習指導要領に基づいた英語教育の充実を推進する。	【令和6年度】 885,110円 【令和7年度】 841,840円
田尻町	一貫教育推進事業	R6・R7	IKKAN会議(こども園、小学校、中学校、一貫教育推進課による合同検討組織)を設置し、田尻町のめざすこども像実現に向け、ハード・ソフト両面について検討を行う。また、一貫教育推進部会では、こども園、小学校、中学校の教職員が各教科・領域等で一貫した取り組みを実践を行う。	令和6年度 全国学力学習状況調査結果 学力結果 対全国比1.09倍 令和7年度 全国学力学習状況調査結果 学力結果 対全国比1.06倍	保育所、幼稚園、小・中学校が町の中心部に集中して立地する利点を最大限に生かし、様々な分野で一貫性のある教育を実践し、保幼小中一貫教育の推進に努めます。また、子どもたちが、一貫した教育カリキュラムの中で学び・育つ小中一貫校の設置について検討を進める。	【令和6年度】 30,000円 【令和7年度】 391,250円
田尻町	学校ICT環境整備更新事業	R6・R7	小・中学校の授業における学びの理解度、学びやすさの向上を図ることを目的に、教育系システム及び校務系システムの構築及び活用を推進する。 ・学校ICTの積極的な活用のための情報機器の整備 ・学校業務の省力化 ・セキュリティ対応の強化 ・ネットワーク機器の更新	・小中学校での教育系及び校務系システムの活用 PC教室の活用(630h)、普通教室の活用(630h)、セキュリティ対策【個人情報漏洩等】(0件) 中学校:PC教室の活用(280h)、普通教室(280h)、セキュリティ対策【個人情報漏洩等】(0件)	学校における情報通信機器の導入・更新など学校ICT環境の整備に引き続き務める。	【令和6年度】 20,991,960円 【令和7年度】 20,991,960円
田尻町	一般廃棄物処理手数料の減免(乳幼児のいる子育て世代)事業	R6・R7	2歳児未満の乳幼児のいる子育て世帯に対し、経済的負担の軽減を図るため、廃棄物処理の減免の処置を行い町指定の有料袋を配布する。 町に住民登録をしている新生児から2歳未満の乳幼児1人につき、10枚(20リットル袋)／月を満2歳に到達した日の属する月までの月数分を配布する。 紙おむつの廃棄については、可燃ごみとして、配付する指定有料袋に入れ行うため、上記の乳幼児がいる世帯のニーズは高いものと思われる。	令和6年度 支給世帯数:66世帯、支給枚数:14,660枚 令和7年度 支給世帯数:52世帯、支給枚数:11,820枚	町指定有料袋の配布により、子育て世帯の経済的負担を軽減できた。今後も、引き続き、出生及び転入世帯への100%配付を行う。	【令和6年度】 293,200円 【令和7年度】 236,400円
田尻町	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊娠期に1回、歯科健診の費用を助成し、経済的負担の軽減を図る。また、歯科健診の受診を推奨することにより、口腔と歯の健康を考えるきっかけを提供する。	令和6年度 受診件数:11件 令和7年度 受診件数:9件	妊娠届出時に母子健康手帳を交付し、事業の啓発や妊婦相談を実施する。また、妊婦健康診査の公費負担、妊婦の歯科健診の推進及び公費負担など、妊娠中の健康管理に関する事業を進める。さらに、妊婦の就労状況の変化などを踏まえ、対象者のニーズに合った事業の実施方法の検討を行う。	【令和6年度】 122,000円 【令和7年度】 60,200円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
田尻町	不育症治療助成事業	R6・R7	不育症の治療・検査に係る費用を一部助成し、経済的負担の軽減を図る。この助成事業では、一般不妊治療も対象とし、治療の初期段階から高度治療に至るまでの総合的な支援を実施する。	令和6年度 総事業費:0円、申請件数:0件 令和7年度 総事業費:0円、申請件数:0件	不妊治療、不育症治療を行う人への支援体制の充実 不妊(男性不妊を含む)や不育治療に関する助成を行うとともに、不妊や不育に悩む人への相談支援の充実を図る。	【令和6年度】 0円 【令和7年度】 0円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
岬町	家庭支援推進保育所事業	R6・R7	ひとり親や子育て不安など配慮を要する入所児童及びその家庭に対する家庭訪問や育児支援等を行うことにより、地域における保育所機能の一層の地域展開を図る。 ・家庭訪問 ・出張保育(育児講座含む) ・子育て相談 ・園庭遊び(入所児童以外)	入所児童に対して、家庭環境に配慮したきめ細やかな保育の実施を行うとともに、保育所に入所していない児童のいる家庭への支援として、親子遊び教室や育児講座を展開するなど地域に出向いて支援を行い、保育所機能の一層の地域展開が図ることができた。	目標値と同程度の実績となったが、今後も更なる家庭支援に取り組みたい。	【令和6年度】 8,773,472円 【令和7年度】 10,749,035円
岬町	私立幼稚園等給食費補助事業	R6・R7	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備を図ることを目的として、町内外にある就学前施設に通う子どもたちの保護者に給食費(主食費・副食費)を補助する。(公定価格や国補助(実費徴収に係る補足給付を行う事業)の対象外の事業)	子育て家庭の生活の安定及び子どもの健全な育成と子育て支援施策の向上を図った。	目標値と同程度の実績となったが、更なる子育て家庭の生活の安定及び子どもの健全な育成と子育て支援施策の向上に努める。	【令和6年度】 2,830,860円 【令和7年度】 2,726,400円
岬町	緊急時メール配信システム事業	R6・R7	保育所及び学童保育室において、警報や荒天時における注意喚起や対応、子どもの安全に係る不審者情報等を保護者へメールにて一斉配信し、子どもの安全を確保する。	保護者へ一斉に緊急情報を発信することにより子どもの安全を確保した。	引き続き保護者へ緊急情報を発信するとともに、その他の活用方法について検討する。	【令和6年度】 46,000円 【令和7年度】 46,000円
岬町	公立保育所環境改善事業	R7	在園児に保育環境を整えるため、公立保育所において老朽化した箇所の修繕や機器の整備を行う。	老朽化したクロスの張替など保育環境を整備することができた。	今後も継続的な保育環境の整備に努める必要がある。	【令和7年度】 1,227,776円
岬町	公立保育所防犯カメラ設置事業	R7	公立保育所に防犯カメラを設置することにより、保育所児童の安全対策を図る。	在園児の安全対策を図ることができた。	今後も必要に応じて更なる保育所児童の安全対策を図る。	【令和7年度】 440,000円
岬町	乳幼児をもつすべての保護者のための親まなび事業	R6・R7	地域社会の変化等、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、子育て中の親の孤立感や不安感の増大等といった問題が生じている中で、初めての子育てには乳児の接し方がよくわからないなど、不安や悩みが大きい。親同士が繋がり、一緒に子育てをすることにより、仲間意識の形成を図り、乳幼児期からの声かけやスキンシップの大切さなどを学ぶ。親同士の情報交換の「場」の提供等をする。	乳幼児をもつ保護者の育児不安の解消や育児知識の向上を図ることができた。	目標値と同程度の実績となったが、より多くの住民に講座の周知を図り、親同士の情報交換の「場」の提供に努める。	【令和6年度】 740,250円 【令和7年度】 711,250円
岬町	不妊不育治療費助成事業	R6・R7	少子化が進む中、子どもを産み育てたいと望んでいるのにできない夫婦を支援するために、一人100,000円/年度を上限として、1子ごとに通算6回まで治療費の一部を助成し、経済的負担を軽減することで妊娠に向け、必要な治療が受けやすい環境づくりを行う。	【R6年度利用実績】 利用者数14人、支給総額787,440円 【R7年度利用実績】 利用者数10人、支給総額797,630円	利用者数は、R6年度からR7年度では若干下回ったが目標数値は達成された。支給総額は大きな変化はなかった。 経済的負担の軽減を図るという点については一定の効果は達成された。	【令和6年度】 787,440円 【令和7年度】 797,630円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
岬町	妊婦歯科健康診査	R6・R7	妊婦自身の口腔管理及び生まれてくる子どものう歯予防への意識向上のため、妊婦歯科健診及び相談費用1回4,000円の公費負担を行い、受診者への経済的負担を軽減し、妊婦が受診することを支援する。	【R6年度利用実績】 受診券交付数62人、受診件数13件 支給総額51,000円 【R7年度利用実績】 受診券交付数58人、受診件数13件 支給総額52,000円	母子健康手帳の交付時による歯科受診券交付数はR6年度からR7年度では減少したが、受診者数は同数であった。支給総額は大きな変化はなかった。今後も、妊娠期からの口腔ケアの大切さを周知していく。	【令和6年度】 51,000円 【令和7年度】 52,000円
岬町	産前産後ヘルパー派遣事業	R6・R7	妊娠中又は出産後に体調不良等のために、家事や育児を行う事に支障がある世帯を対象に、低額で家事や育児支援を提供することで妊産婦と乳児が安心して過ごせる環境を提供する。	【R6年度利用実績】 利用者数4人、利用回数39回 支給総額78,100円 【R7年度利用実績】 利用者数2人、利用回数3回 支給総額4,700円	利用者数はR6年度からR7年度では減少し、支給総額も大きく下回った。今後も、安心安全に育児ができる環境を提供するために、必要な対象者が利用できるように周知していく。	【令和6年度】 78,100円 【令和7年度】 4,700円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
太子町	子育て支援保育士事業補助金	R6	地域に密着した児童福祉施設として、保育や療育を通じ蓄積された子どもの育ちや子育てに関する知識、技術等を生かし、地域の子育て家庭に対し、必要な相談、指導、助言を行う。	親子で参加できる事業等を実施することで、地域の子育て家庭が気軽に相談等が行える機会をつくることができた。	子育て支援に関する事業、親子で参加できる事業を実施した。また、地域交流事業については、運動会、夏祭り等を通じて地域の人と交流する機会を設ける予定であったが、運動会以外は実施できなかった。今後も子どもたちや保護者が気軽に集える機会をつくり、地域の子育て家庭に対し必要な相談等の支援を行っていく。	【令和6年度】 1,600,000円
太子町	途中入所支援事業	R6・R7	0歳から2歳児に係る児童福祉施設最低基準等の配置基準に規定する保育士のほか、入所安定のための保育士の確保(配置基準を上回る保育士の配置)を年度当初から配置する。(児童の受け入れ体制を確保するための保育士を雇用していて補助要件を満たす民間保育所への保育士人件費補助)	途中入所希望者が増加している中、一定数の児童を受け入れることができた。	年度途中の児童の受け入れ体制を確保するための保育士を年度当初から配置しており、一定数の受け入れはできたが、年度末にかけて想定を超える申込みがあったため結果的に待機児童が発生することとなった。	【令和6年度】 1,200,000円 【令和7年度】 1,200,000円
太子町	地域活動事業	R6・R7	地域における児童福祉の向上を図るため、保育所は地域の需要に応じた幅広い活動を通じて、老若男女の地域住民の主体的な子育て支援活動、交流の促進を行う。 ・世代間交流事業 ・異年齢児交流事業	世代間交流や異年齢児交流を通して、お互いの違いを認め、相手を尊重する思いやりのある心を育てることができた。	保育所の事業を通じて異年齢児交流の取組みを実施し、地域に密着した保育事業の実績を図った。今後もお互いの違いを認め、相手を尊重する思いやりのある心を育てることが促進されるよう事業展開していく。	【令和6年度】 561,781円 【令和7年度】 77,072円
太子町	新規発達教室の開設	R6・R7	健診後のフォロー教室にて経過観察を行った児童のうち、療育が必要と判断された児童に対し、早期療育体制を整備し、児童の発達支援並びに保護者支援を行うことを目的に、障害児療育等支援事業＜ポニー教室＞を実施する。	発達に偏りや遅れがある児童を早期に発見し、早期に療育を実施することができた。	実施委託先とも密に連携を行い、早期に充実した子どもへの療育、保護者への支援を行うことが出来た。今後もより充実した療育が受けられるよう継続して体制整備に努めていく。	【令和6年度】 600,000円 【令和7年度】 600,000円
太子町	療育個別プログラム実施事業	R6・R7	言語や身体機能、社会性等の発達に遅れのみられる児童に対して、作業療法士や臨床心理士により個別プログラムを作成し、発達支援を行うとともに、保護者や所属園に対する助言を行うことで、子どもの発達支援を行う。	発達支援が必要な児童に対して、作業療法士や臨床心理士により個別プログラムを作成し、発達支援を行うことで児童に変化が見られた。	臨床心理士や作業療法士により個別プログラムを作成し、発達支援を行うことによって参加した児童の変化がみられた。今後もより充実した療育が受けられるよう継続して体制整備に努めていく。	【令和6年度】 6,419,014円 【令和7年度】 7,738,874円
太子町	親子が過ごせる居場所の確保	R6・R7	子育て中の親子が孤立することなく、親子ともに成長することが出来る場を提供することを目的として「おひさま広場」を開設する。 おひさま広場では、親子が楽しめる子育て支援プログラムを実施し、保育士等の専門職に気軽に子育ての相談が出来る体制や、親子がゆったりと過ごせる場を提供する。	子育て中の親子が孤立することなく、親子ともに成長できる場を提供することができた。	親子が楽しめるプログラムを開催することで、できるだけ多くの親子に来てもらえるよう工夫している。今後も啓発活動、魅力ある居場所づくりに取り組み、子育て中の親子が孤立することなく、親子ともに成長出来る場を提供する。	【令和6年度】 3,252,612円 【令和7年度】 4,096,968円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
太子町	障がい児等相談支援業務	R6・R7	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	障がい児とその家族の相談や必要な情報提供等を行うことにより、日常生活をより安心・安全な生活を送ること、家族の身体的・精神的負担の軽減をはかることにつながった。	今後はより相談しやすい体制作りや周知PRが必要であり、その方法として発達障がいを抱える児を育てる保護者の会などにもアドバイザーとして参加してもらう予定である。	【令和6年度】 250,800円 【令和7年度】 250,800円
太子町	幼小中連携事業 総合学校支援事業 スクールソーシャルワーカー活用事業	R6・R7	学校は子どもの登校状況や表情、健康状態の変化を日常的に把握でき、虐待の疑いに早く気づける場である。本事業では、学校だけでは対応が難しい事案に対し、社会福祉等の専門性を有するSSWを活用し、学校と行政、関係機関の連携・調整体制を強化することで、早期発見・早期対応につなげるものである。	SSWの活用により、要対協への出席や教職員向け研修会の実施、関係機関との情報共有、校内外の連携を進め、虐待対応への理解と対応力向上につながった。	不登校児童生徒は増加しており継続対応が必要である。今後も未然防止と研修充実を進め、個に応じた支援を強化する。	【令和6年度】 4,057,100円 【令和7年度】 4,115,600円
太子町	幼小中連携事業 総合学校支援事業 学校支援チーム事業	R6・R7	各学校園の相談に応じて福祉機関との多職種連携を進め、支援員が不登校や心のケア、学習課題のある児童を支援する。困難事例にはSSW・SC・弁護士等の専門員や学校支援リーダーを派遣し、課題解決と管理職支援を継続的に行う。	専門家への相談や学校への派遣を状況に応じて行い、子ども支援体制の見直しと事案の未然防止、発生後の早期解決を促進した。	いじめや不登校等の事案が複雑化し、学校だけでは対応が難しいケースが増えている。スクールロイヤーや学校支援リーダーを適切に派遣し、専門的助言を生かしながら、関係機関と連携した効果的な支援体制の構築を進める。	【令和6年度】 756,200円 【令和7年度】 1,007,550円
太子町	学校図書館充実推進事業	R6・R7	各学校を巡回する学校図書司書を配置し、貸出・返却、図書整備、蔵書点検、新規購入、製本作成、読み聞かせ等を学校司書教諭や図書ボランティアと連携して行い、児童生徒の読書への興味・関心を高め、豊かな心を育む。	図書の授業や図書だよりの発行、新規図書登録、分類シールの張り替え等を通して蔵書整備と読書活動の充実が進み、児童生徒が図書に親しむ機会が広がるなど、学校図書室の活性化につながった。	各校の実態に応じた蔵書整備や読書活動の充実が図られており、今後も学校司書等の連携のもと、利用しやすい図書室づくりを進め、授業や日常的な読書活動を通して児童生徒の豊かな心を育む。	【令和6年度】 3,207,737円 【令和7年度】 3,690,787円
太子町	妊婦の歯科健康診査にかかる支援	R6・R7	生活のリズムやホルモンバランスの変化によって妊娠中に起こりやすいむし歯や歯肉炎、重度の歯周病は、早産や低出生体重児の原因となることがあるため、妊婦の歯の健康と赤ちゃんの健康を守るために、妊娠中の歯科健診受診の支援を行う。	妊婦面談にて全員に歯科受診の確認や受診勧奨を行い、令和7年度は昨年より増加した。	妊娠届出時面談で、歯科受診に関する聞き取り漏れがあるため、アンケート項目を追加し、かかりつけ歯科医の有無を確認した。受診していても、契約指定歯科医院でない場合は費用負担対象外だが、引き続き歯周病予防の必要性を説明し、受診勧奨・受診継続を行う。	【令和6年度】 113,476円 【令和7年度】 123,500円
太子町	赤ちゃん会等（離乳食講習会および栄養・歯科相談）	R6・R7	乳幼児の栄養及び口腔および発育に関する不安を解消し、安心・安全に子育てできるようサポートする。週1回乳幼児とその保護者を対象として開催される相談会で、身長・体重を測定するとともに、口腔機能や身体発育に不安のある保護者に対して管理栄養士や歯科衛生士が栄養・口腔ケア指導を実施する。また、離乳食講習会を年4回開催し、1歳6か月未満の子どもと保護者を対象に、栄養士が離乳食についての講座・相談を実施する。	新規参加者も増え、新興住宅地の参加者同士のつながりや交流もできた。専門職によるアドバイスで不安の軽減につながり、継続利用者の参加も安定している。	妊娠届、出生数も減少傾向であるため、新規の方も参加しやすい雰囲気づくりや、子育ての悩みや不安解消につながるようなプログラム内容や母子工夫を配慮していく。	【令和6年度】 1,880,456円 【令和7年度】 2,706,332円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額(円) (一般財源等含む)
河南町	地域療育支援事業	R6・R7	小集団における療育教室(親子)の開催と訪問等による相談及び支援が必要な児童の把握を行い、早期の療育を実施するとともに、専門的な相談により親の支援も含めて、児童の療育を実施した。 南河内郡(2町1村)で実施している事業 前期・後期の2期で実施(名称:ポニー教室)	対象となる児童の早期療育と保護者の理解を高め、児童への接し方を学び、自立支援を図った。 令和6年度:前期2名×20回、後期3名×20回 計100回 令和7年度:前期2名×20回、後期2名×20回 計80回	町が主催している支援児に対するフォローアップ教室にて本事業への参加を促し、目標どおりの人数を確保できた。 令和6年度 前期2名、後期3名 令和7年度 前期2名、後期2名	【令和6年度】 600,000円 【令和7年度】 600,000円
河南町	地域療育充実事業	R6	早期の段階で療育を実施し、スムーズな就園、就学につなげることを目指す。支援が必要な児童に対して療育を実施し、親子とも自立を目指す。南河内6市2町1村の小学2年生までの児童を対象に64名定員で療育を行う。	広報や事業、相談窓口で周知するとともに、保護者有志による申請を促した。 4名(月2回×12ヵ月×4名=96回)	個別対応による療育方法で、対象となる児童の早期療育と保護者の理解を高め、児童への接し方を学び、自立支援を図る。広報や事業、相談窓口で周知するとともに、保護者有志による申請を促した。 令和6年度実績 4名	【令和6年度】 680,000円
河南町	障がい児保育事業	R6・R7	こども園で配慮を要する子どもの受け入れを行うため、公私連携幼保連携型認定こども園に対し、加配保育士と介助員に係る報酬を補助する。	配慮を要する子の支援体制の充実 保育士 令和6年度:4名 令和7年度:4名	保育士を雇用することが困難になっている状況下で、予定通り人員を雇用できた。今後も、支援を必要とする園児等への対応を行うため事業実施が必要となる。	【令和6年度】 10,939,344円 【令和7年度】 11,659,344円
河南町	不育症治療費助成事業	R6・R7	不育症治療を受けた夫婦に対し、当該治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、次世代育成支援をする。	不育症治療費助成申請者 令和6年度 0件 令和7年度 1件	令和7年度に1件の申請があった。今後も引き続きホームページ等で周知していく。	【令和6年度】 0円 【令和7年度】 6,710円
河南町	妊産婦歯科健康診査	R6・R7	妊産婦への切れ目のない保健対策を目指す。 妊娠、出産における歯への影響を知り、口腔に関する関心を深める。	妊婦歯科健診申込件数 令和6年度 44人、令和7年度 27人 産婦歯科健診申込件数 令和6年度 57人、令和7年度 33人	令和6年度は妊婦歯科健診11人、産婦歯科健診10人、令和7年度は妊婦歯科健診14人、産婦歯科健診10人が受診。 妊娠届出時の面接の際や赤ちゃん訪問時に周知と受診勧奨を行った。妊娠中は働く妊婦も多く、また体調がすぐれない日も多いため、受診に至っていない可能性がある。産後は育児に追われているため、受診に至っていない可能性がある。受診した妊産婦については、口腔衛生の意識向上やかかりつけ歯科医の確保につながったと思われる。受診勧奨時は歯科健診の重要性を伝え、今後も周知・勧奨していく。	【令和6年度】 173,272円 【令和7年度】 191,928円
河南町	新生児聴覚検査	R6・R7	母子保健法の規定により実施される乳児健康診査の一層の徹底を図り、また聴覚障がいの早期発見・早期治療を図る。	新生児聴覚検査受診率の向上、新生児聴覚検査に関する知識の向上 新生児聴覚検査受診者 令和6年度 43人、令和7年度 41人	新生児聴覚検査受検票は、母子手帳別冊として妊婦健診受検票等と一緒にいるため、全員が入院中に受検している。精密検査となった児についても、赤ちゃん訪問や4ヶ月健診等で結果を把握している。今後も受診率向上に向けて周知していく。	【令和6年度】 207,000円 【令和7年度】 203,000円

令和6・7年度 大阪府新子育て支援交付金（市町村計画枠） 事業一覧

市町村名	事業名称	実施年度	事業の内容	事業の効果	事業実施後の課題及び今後の対応	事業費総額（円） （一般財源等含む）
千早赤阪村	食育推進事業	R6・R7	村民や関係団体などと協働しながら食育活動に取り組む。 また、村特有の地産地消の確立や、小中の一環した教育等、健康・産業・教育・福祉（保育）の各分野が相互に連携を図りながら、村の特徴ある食育を推進するため、管理栄養士を雇用し、効果的な事業の展開を図る。	学校、地域、関係機関との協働で、教室やイベントを行い、若い親世代への食育の啓発、郷土食の伝承ができた。	今後も継続する。	【令和6年度】 4,639,981円 【令和7年度】 2,775,770円
千早赤阪村	入所児童健康管理対策事業	R6・R7	入所児童の健康管理を行うために、看護師等を常時1名以上配置し、入所児童の健康管理・衛生管理等の保健的な対応を行う。また、保育中に体調不良となった場合において、特定教育・保育施設に保護者が迎えにくるまでの間、緊急的に継続して医務室等において児童を預かる事業を実施し、かつ、国の病後児保育事業の要件を満たさない特定教育・保育施設に対して月額240,000円を補助する。	入所児童が保育中に体調不良となった場合の緊急的な対応や入所児童の健康管理・衛生管理等の保健的な対応を行うことで、安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上が図れた。	今後も継続する。	【令和6年度】 2,880,000円 【令和7年度】 2,880,000円
千早赤阪村	子育て応援出産お祝い事業	R6・R7	○村内に住所を有し、平成21年4月1日以降に出生した子と保護者を対象に村が実施する4か月児健診の会場で絵本と育児書を手渡しにより贈呈する。 ○村内に住所を有し、令和5年4月1日以降に出生した子を対象に、村が実施する新生児訪問時に、育児用品を手渡しにより贈呈する。	【令和6年度】 絵本を介して暖かなぬくもりの中でやさしく語りかけることの大切さを知る具体的なきっかけをつくり、心安らぐ子育ての時間をもってもらうことや子どもの健やかな成長を応援することができた。 【令和7年度】 絵本を介して暖かなぬくもりの中でやさしく語りかけることの大切さを知る具体的なきっかけをつくり、心安らぐ子育ての時間をもってもらうことや子どもの健やかな成長を応援することができた。また、おしりふきの贈呈により乳児の衛生環境の向上が図られた。	今後も継続する。	【令和6年度】 102,764円 【令和7年度】 108,914円
千早赤阪村	母子保健事業に係る環境改善事業	R6・R7	母子保健事業や乳幼児健診において、保護者や対象児が安心して相談・受診できる体制整備を図る。	乳幼児健診や発達相談等で使用する庁用器具を購入し、発達障がい児を早期発見、早期療育につなげることができた。	今後も継続する。	【令和6年度】 121,286円 【令和7年度】 691,512円